

NEC



さあはじめよう
かんたんスタートガイド

PC-9821 Nr15

- 電源をONにするための準備をする
- セットアップする
- 基本操作を覚える

98 NOTE *Lavie* ラヴィ



PC-9821NR15-GA

安全にお使いいただくために






- ・製品を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。
- ・注意事項を守って製品をご使用ください。
- ・このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

指示に従っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定されることを示します。

何に対する注意が必要かを表す記号です。

 毒物注意	毒性の物質による傷害の可能性が想定されることを示します。	 感電注意	感電の可能性が想定されることを示します。
 発火注意	発煙または発火の可能性が想定されることを示します。	 けが注意	けがを負う可能性が想定されることを示します。
 高温注意	高温による傷害の可能性が想定されることを示します。		

この枠の中では、本機を安全に使うための注意事項を説明しています。必ずお読みください。

安全に使うための説明は、絵でも表示しています。



禁止

禁止事項を示します。



電源プラグを抜く

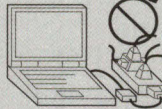
電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

△注意



発火注意

- タコ足配線にしないでください。
電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。



- 電源コードは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
コードをひっぱって抜くと、断線して、火災の原因となります。
- 電源コードやACアダプタのプラグのつけ根部分を無理に曲げないでください。
壁に押しつけて曲がった状態など、プラグのつけ根部分を圧迫するような使い方をすると、発煙、火災の原因となります。
- ACアダプタを布などでくるんだりしないでください。
本機使用時にはACアダプタが発熱するため、布などでくるむとACアダプタが過熱し、火災の原因となります。



けが注意

- ケーブル類は整理してください。
ケーブル類を整理していないと、つまずいたり、引っ掛けたりして、けがの原因となります。

Part 1

電源をONにするための準備をする

※このページは説明用のもので本文とは異なります。

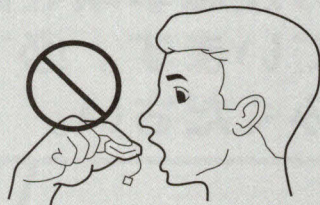
⚠警告



毒物注意

●内蔵のサブバッテリーは、絶対に口に入れないでください。

本機にはサブバッテリーが内蔵されています。サブバッテリーの内部には、人体に有害な物質が含まれています。万一、口に入れたり飲み込んだ場合はすぐに吐き出し、うがいをして、医師に相談してください。サブバッテリーは、廃棄するとき以外は取り外す必要はありませんが、万一、間違っ取り外してしまった場合にも、上記の点に注意してください。



●サブバッテリーは、短絡（ショート）防止対策をしてください。また、他の電池と混ぜないでください。

本機にはサブバッテリーが内蔵されています。本機を廃棄するときにはサブバッテリーを取り外す必要がありますが、端子に絶縁テープを貼るなどの短絡（ショート）防止対策をせずに乾電池など他の電池と混ぜると、化学反応がおこり、内部の液が漏れて皮膚などを痛めることがあります。

●リチウムバッテリーは、短絡（ショート）防止対策をしてください。また、他の電池と混ぜないでください。

本機にはリチウムバッテリーが内蔵されています。端子に絶縁テープを貼るなどの短絡（ショート）防止対策せずに乾電池など他の電池と混ぜると、化学反応がおこり、内部の液が漏れて皮膚などを痛めることがあります。

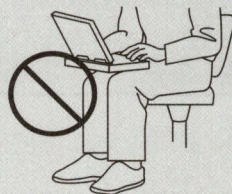


高温注意

●ひざの上で長時間使用しないでください。

使用中、本機底面が熱くなり、低温やけど※を起す可能性があります。

※低温やけどは、長時間にわたり一定個所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑、水泡などの症状をおこすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。





当社は国際エネルギースタートアッププログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートアッププログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや、制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

©NEC Corporation 1996

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

電話回線 : S96-3172-0
専用回線 (帯域品目) : L96-N293-0
専用回線 (符号品目) : M96-N176-0

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

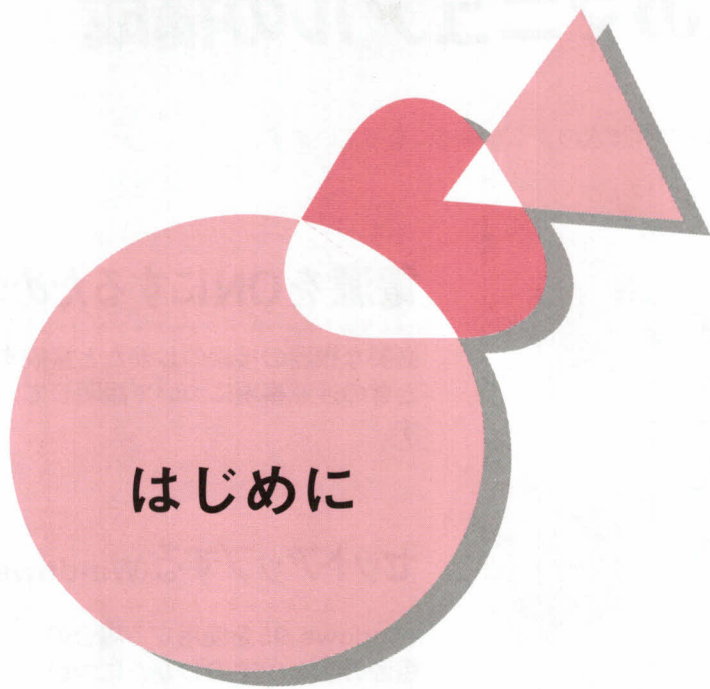
この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準 (JIS・C-6802、IEC825) クラス 1 適合のCD-ROMドライブが搭載されています。



はじめに

このたびは、NECパーソナルコンピュータをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

このマニュアルは、本機を使い始めるにあたって必要な準備や、本機の基本的な操作方法について説明しています。最初から順番に読んでいけば、本機の使い方が理解できるようになっています。

パーソナルコンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、すでにお使いになったことのある方も、必ずはじめからお読みください。

1996年11月 初版

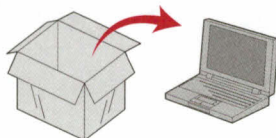
このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような構成になっています。

Part 1

電源をONにするための準備をする

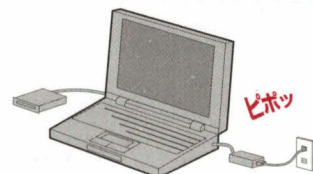
必要な機器の接続のしかたと接続するときの注意事項について説明しています。



Part 2

セットアップする(Windows 95を使用する場合)

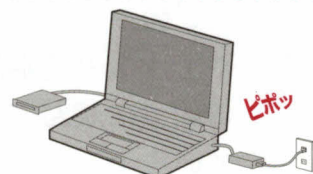
Windows 95を使用する場合の電源のON/OFFのしかたについて説明しています。



Part 3

セットアップする(MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合)

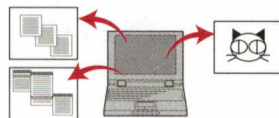
MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合の電源のON/OFFのしかたについて説明しています。



Part 4

基本操作を覚える(Windows 95をお使いの場合)

本機の基本操作を説明しています。ワープロを使って文字を入力したり、絵を描いたりしながら、基本操作を身につけられるようになっています。



Part 5

使いこなすために(Windows 95をお使いの場合)

本機を使いこなせるようになるために知っておいてほしいことを説明しています。



このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には次のような意味があります。



してはいけないことや注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性があります。



参考にしていただきたいことを説明しています。



本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明しています。

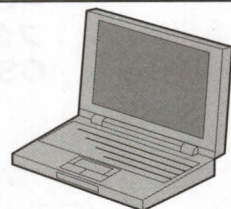


参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

本機

PC-9821Nr 15/S14F、PC-9821Nr 15/S10を指します。



Windows

Microsoft® Windows®95 Operating SystemとMicrosoft®Windows® 3.1の両方を指します。

Windows 95

Microsoft® Windows®95 Operating Systemを指します。

Windows 3.1

Microsoft® Windows® 3.1を指します。

MS-DOS

MS-DOS® 6.2を指します。

[XXX]

[]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[OK] ボタン

ESC

キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

※本文中の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

このマニュアルの構成 vi

このマニュアルの表記について vii

健康のために 1

使用上の注意 3

アフターケアについて 7

Part 1 電源をONにするための準備をする

使用・保管する場所について 12

フロッピーディスクドライブの取り付けかた 14

電話回線の接続のしかた(PC-9821 Nr15/S14Fの場合) ... 16

ACアダプタの接続のしかた 18

フタ(カラー液晶ディスプレイ)の開けかた 21

OSの選択 22

Part 2 セットアップする (Windows 95を使用する場合)

電源をONにする前に 24

電源をONにする 26

電源をOFFにする 44

Part 3 セットアップする (MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合)

電源をONにする前に 48

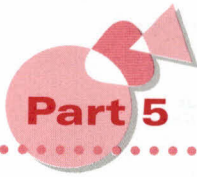
電源をONにする 49

電源をOFFにする 60



基本操作を覚える (Windows 95をお使いの場合)

2回目からの電源のON/OFFのしかた	67
電源をONにする	67
電源をOFFにする	69
アプリケーションソフトを起動する	71
デスクトップの画面	71
アプリケーションソフトを起動する	72
ウィンドウを操作する	74
ウィンドウ各部の説明	74
ウィンドウを移動する	75
ウィンドウのサイズを変更する	75
アプリケーションソフトを終了する	77
文字を入力する	78
ワードパッドを起動する	78
日本語入力システム	79
日本語入力をONにする	79
文字入力の基本	80
文章を編集する	86
入力した文章を保存する	90
絵を描く	92
ペイントを起動する	92
ペイントで絵を描く	93



使いこなすために (Windows 95をお使いの場合)

ヘルプを使う	99
ヘルプを表示させる	99
ヘルプの内容を見る	100
デスクトップを使う	101
Windows 95チュータを見る	101
マイコンピュータで本機の内容を見る	107
ファイルを整理する	108
フォルダとは	108
フォルダを作る	108
ファイルを移動する	109
フロッピーディスクにデータのバックアップをとる	111
フロッピーディスクをセットする	111
フロッピーディスクをフォーマット (初期化) する	112
フロッピーディスクにファイルをコピーする	114
フロッピーディスクを取り出す	115
こんなことがしたい!	116
索引	117

健康のために

コンピュータを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状がおこりがちです。

- ・眼が疲れる
- ・眼が重い
- ・ものがぼやけて見える
- ・疲れやすい
- ・頸から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

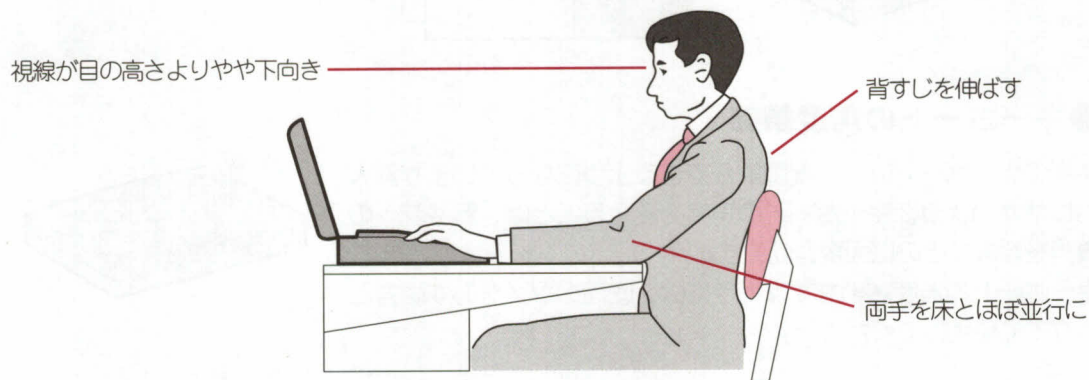
このような症状の感じ方は、作業時間や状況により個人差がありますが、次のことを心がけるようにしましょう。

- ・1時間の作業につき10～15分の作業休止時間をとる。
- ・適度な休憩をとり、軽い体操をするなど、気分転換をはかる。

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

コンピュータを使用する際の基本的な姿勢は、背すじを伸ばして椅子に座り、両手を床とほぼ並行にキーボードに置き、視線が目の高さよりやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。良い姿勢とは、この基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない姿勢です。

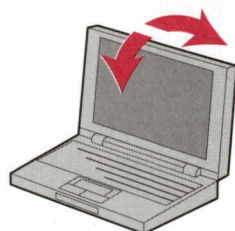


■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、各自にあった状態にこまめに調節してください。

●カラー液晶ディスプレイの角度調節

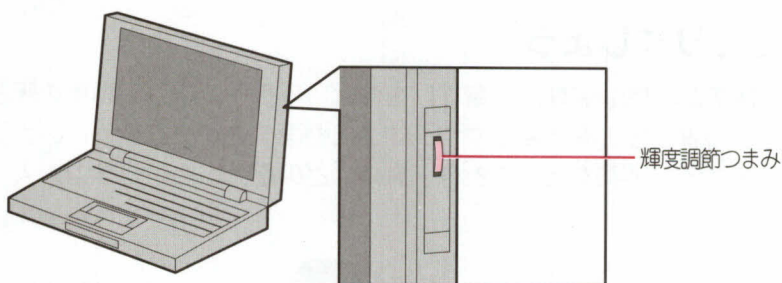
本機のカラー液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、カラー液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。



●画面の輝度（明るさ）調節

年齢や個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度は異なります。そのため、画面の輝度は、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。

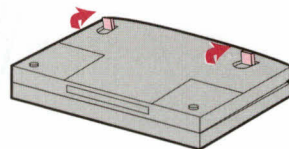
詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「各部の名称と役割一覧」をご覧ください。



●キーボードの角度調節

本機のキーボードは、角度調節ができるようになっています。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。

キーボードの角度調節をするときには、底面のツメを必ず両方も立てて使用してください。



■機器を清掃しましょう

液晶ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因となりますので、定期的に清掃する必要があります。清掃の方法については、『ステップアップガイド』の付録の「本機のお手入れ」をご覧ください。

使用上の注意

⚠警告



毒物注意

●内蔵のサブバッテリーは、絶対に口に入れないでください。

本機にはサブバッテリーが内蔵されています。サブバッテリーの内部には、人体に有害な物質が含まれています。万一、口に入れたり飲み込んだ場合はすぐに吐き出し、うがいをして、医師に相談してください。サブバッテリーは、廃棄するとき以外は取り外す必要はありませんが、万一、間違えて取り外してしまった場合にも、上記の点に注意してください。



●サブバッテリーは、短絡（ショート）防止対策をしてください。また、他の電池と混ぜないでください。

本機にはサブバッテリーが内蔵されています。本機を廃棄するときにはサブバッテリーを取り外す必要がありますが、端子に絶縁テープを貼るなどの短絡（ショート）防止対策をせずに乾電池など他の電池と混ぜると、化学反応がおこり、内部の液が漏れて皮膚などを痛めることがあります。

●リチウムバッテリーは、短絡（ショート）防止対策をしてください。また、他の電池と混ぜないでください。

本機にはリチウムバッテリーが内蔵されています。端子に絶縁テープを貼るなどの短絡（ショート）防止対策をせずに乾電池など他の電池と混ぜると、化学反応がおこり、内部の液が漏れて皮膚などを痛めることがあります。



高温注意

●ひざの上で長時間使用しないでください。

使用中、本機底面が熱くなり、低温やけど※を起す可能性があります。

※低温やけどは、長時間にわたり一定個所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑、水泡などの症状をおこすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。



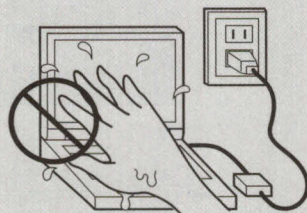
⚠注意



感電注意

●濡れた手で触らないでください。

電源コードがACコンセントに接続されているときに濡れた手で本機に触ると、感電の原因となります。



⚠️注意

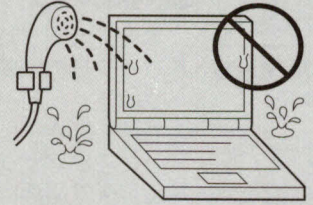


感電注意

- 内部に水などの液体を入れないでください。また、湿気の多い場所で使用しないでください。

風呂場など湿気の多い場所で使用すると感電の原因となります。

万一、液体が入った場合は、電源をOFFにして、ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。



発火注意

- 本機内部に異物を入れないでください。

本機内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入ると、回路がショートして火災の原因となります。



毒物注意

- 液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

液晶ディスプレイ内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。

また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄してください。

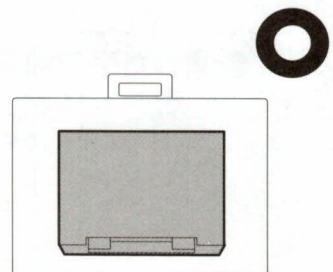
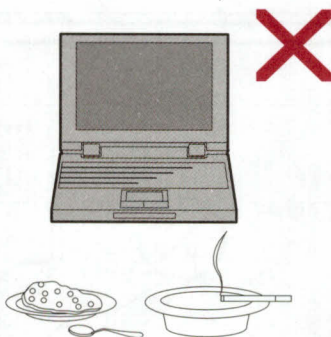


- ・本機のそばで、飲食・喫煙しないでください。

飲食物やタバコの灰が本機内部に入ると、故障の原因となります。また、タバコの灰がフロッピーディスクに付着すると、データの読み書きができなくなったり、フロッピーディスクドライブの故障の原因となります。

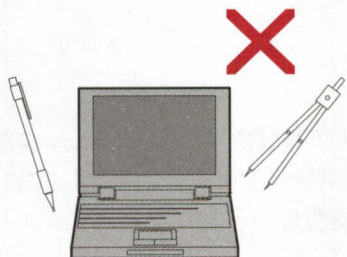
- ・本機を移動するときは、必ず電源をOFFにし、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。

電源をONにしたまま動かすと、本機内部のハードディスクなどの故障の原因となります。また、本機を輸送する場合は、別売のキャリングバッグ（PC-9801N-20、PC-9801N-21など）を使用するか、購入時の梱包箱を使用することをおすすめします。



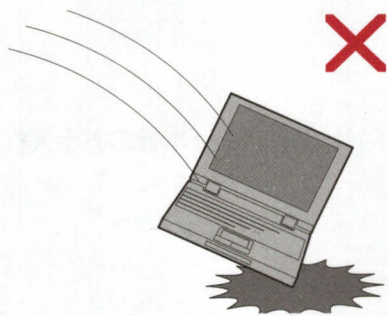
- 先のとがったもので本機を傷つけないでください。

液晶ディスプレイ面および98スライドパッドを、シャープペンシルやコンパスなど、先のとがった物でたたいたり、ひっかいたりすると、故障の原因となります。



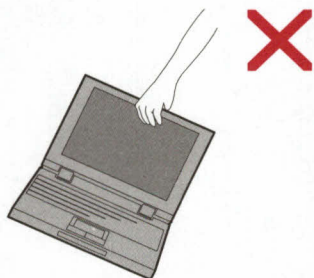
- 本機を落としたり、ぶついたりしないでください。

落としたり、ぶついたりすると故障の原因となります。特に電源がONになっているときは、絶対に振動や衝撃を加えないでください。



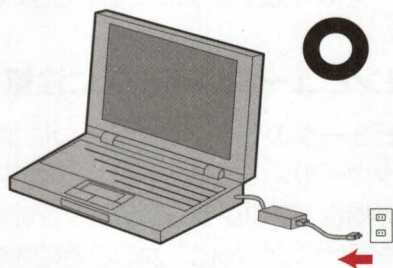
- 本機を持ち運ぶ場合は、液晶ディスプレイ部を持たないでください。

破損や故障の原因となります。



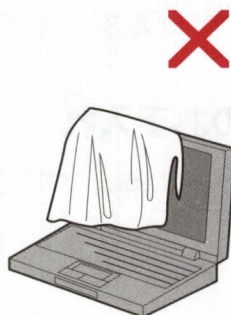
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。

旅行などで長期間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



- ゴムやビニール製品などを、本機に長時間接触させたままにしないでください。

本機の表面が変質したり、塗料がはがれる原因となります。



- 本機を移動するときは、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してください。

本機の故障や、フロッピーディスクやCD-ROMの破損の原因となります。

- 汚れたフロッピーディスクは使用しないでください。

砂やほこり、水などの液体がかかったフロッピーディスクを使用すると、故障の原因となります。

●静電気に注意してください

静電気は、本機の故障の原因となることがあります。静電気による損傷を防ぐため、次のことに注意してください。

- ・増設RAMボードなどの電子部品は、静電気によって破損することがあります。部品に触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

●コンピュータウイルスに注意してください

コンピュータのトラブルのひとつにコンピュータウイルスがあります。コンピュータがコンピュータウイルスに感染すると、突然音楽を演奏したり、異常なメッセージを表示したりします。最悪の場合、プログラムやデータが破壊されるなどの被害を受けることがあります。

被害を受けないために、次のことに注意してください。

- ・重要なデータはバックアップ（複製）を取っておいてください。
- ・ウイルスチェッカープログラムを定期的に利用して、コンピュータウイルスに感染していないかどうか、チェックしてください。

コンピュータウイルスについて詳しくは、『困ったときにお読みください』をご覧ください。

■本機のお手入れ

本機のお手入れの方法については、『ステップアップガイド』の付録の「本機のお手入れ」をご覧ください。

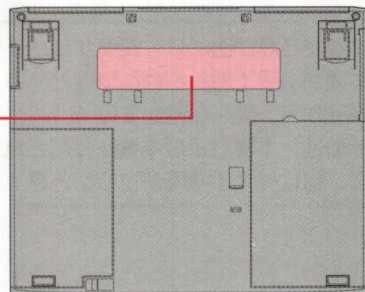
アフターケアについて

ご購入後、まず次のことを確認してください。

●モデル名と製造番号を確認してください

本機のモデル名と製造番号は、本機底面の図の位置に記載されています。製造番号が保証書の番号と同じであることを確認してください。万一違う場合は、ご購入元にご連絡ください。

モデル名と製造番号はここに記載されています。



●お客様登録カードをお送りください

お客様登録カードに所定事項をご記入の上、必ず投函してください。

●保証書について

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■改造をしないでください

本機を改造・修理しないでください。改造・修理された製品に関しては、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

■故障や異常の場合の対処について

本機が故障や異常を起こした場合には、次のようにして対処してください。

- ・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
- ・本機が、手で触れられないほど熱い
- ・本機から、異常な音がする
- ・その他、本機および本機に接続されたコード類に、目に見える故障が生じたとき

- ・画面に、正常でないことを表すメッセージが表示された
- ・キーボードやポインティングデバイスなどからの操作ができなくなった
- ・その他、本機が正常に操作できないとき

すぐに電源をOFFにして、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックも取り外してください。

『困ったときにお読みください』をご覧になり、異常の症状に該当する事例が記載されているかどうかを確認してください。該当する事例がある場合は、記載されている対策を行ってください。

該当する事例がない場合、または対策を行っても症状が直らない場合は、電源をOFFにしてください。

ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

■保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは、『98あんしんサポートガイド』または『困ったときにお読みください』のPart2の「NECのサポート体制について」をご覧ください。

■消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品（有償交換部品）	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても、有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

■添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復、再入手が可能です(有料)。詳しくは、『困ったときにお読みください』のPart1の「その他」をご覧ください。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM
- ・マニュアル 『かんたんスタートガイド』『ステップアップガイド』
マニュアルの紛失に備えて、表紙に書かれているマニュアルの名前と型名を控えておいてください。

■本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、登録内容の変更を行ってください。

●譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

- ①本体に添付されている全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- ②各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ③譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること

●譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へお知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、お客様登録カードが未使用で残っている場合は、そのお客様登録カードをご返送ください。

ご返送いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

- ①本体保証書番号（製造番号）および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」（いずれのソフトも同一）※
※「Serial No.」がない場合は不要です。
- ②以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
- ③あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号
NECパーソナルC&Cマーケティング本部
「お客様登録カードDB係」行

■本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。また、添付のバッテリーパックや内蔵の電池の廃棄方法については、『ステップアップガイド』の付録の「本機の廃棄方法について」をご覧ください。廃棄について詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

Part 1

電源をONにするための準備をする

必要な機器の接続のしかたと接続するときの注意事項について説明しています。

- 使用・保管する場所について
- フロッピーディスクドライブの取り付けかた
- 電話回線の接続のしかた
(PC-9821Nr15/S14Fの場合)
- ACアダプタの接続のしかた
- フタ (カラー液晶ディスプレイ) の開けかた
- OSの選択

使用・保管する場所について

本機を使用または保管する際には、以下のことに注意してください。

△注意

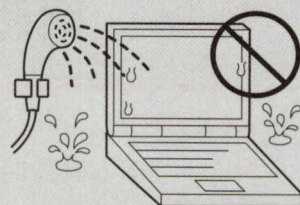


感電注意

●水分や湿気の多い場所では使用・保管しないでください。

風呂場など湿気の多い場所で使用・保管すると、感電の原因となります。

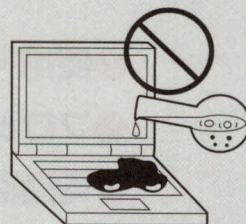
万一、液体が入った場合は、電源をOFFにして、ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。乾いているようでも、本機内部に水分が残っていることがあります。



発火注意

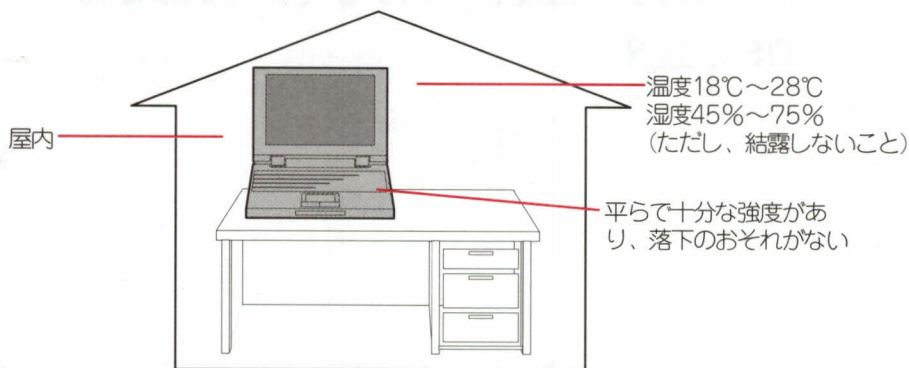
●本機内部に異物や薬品などが入るおそれのある場所では使用・保管しないでください。

本機内部に異物や薬品が入ると、回路がショートして、火災の原因となります。



■使用・保管に適した場所

使用または保管に適した場所は、次のような場所です。



結露とは？

結露とは、空気中の水分が金属の板の表面などに付着し、水滴となる現象です。たとえば、寒い屋外から急に暖かい部屋へ入ったときに、眼鏡がくもるなどの現象が結露です。

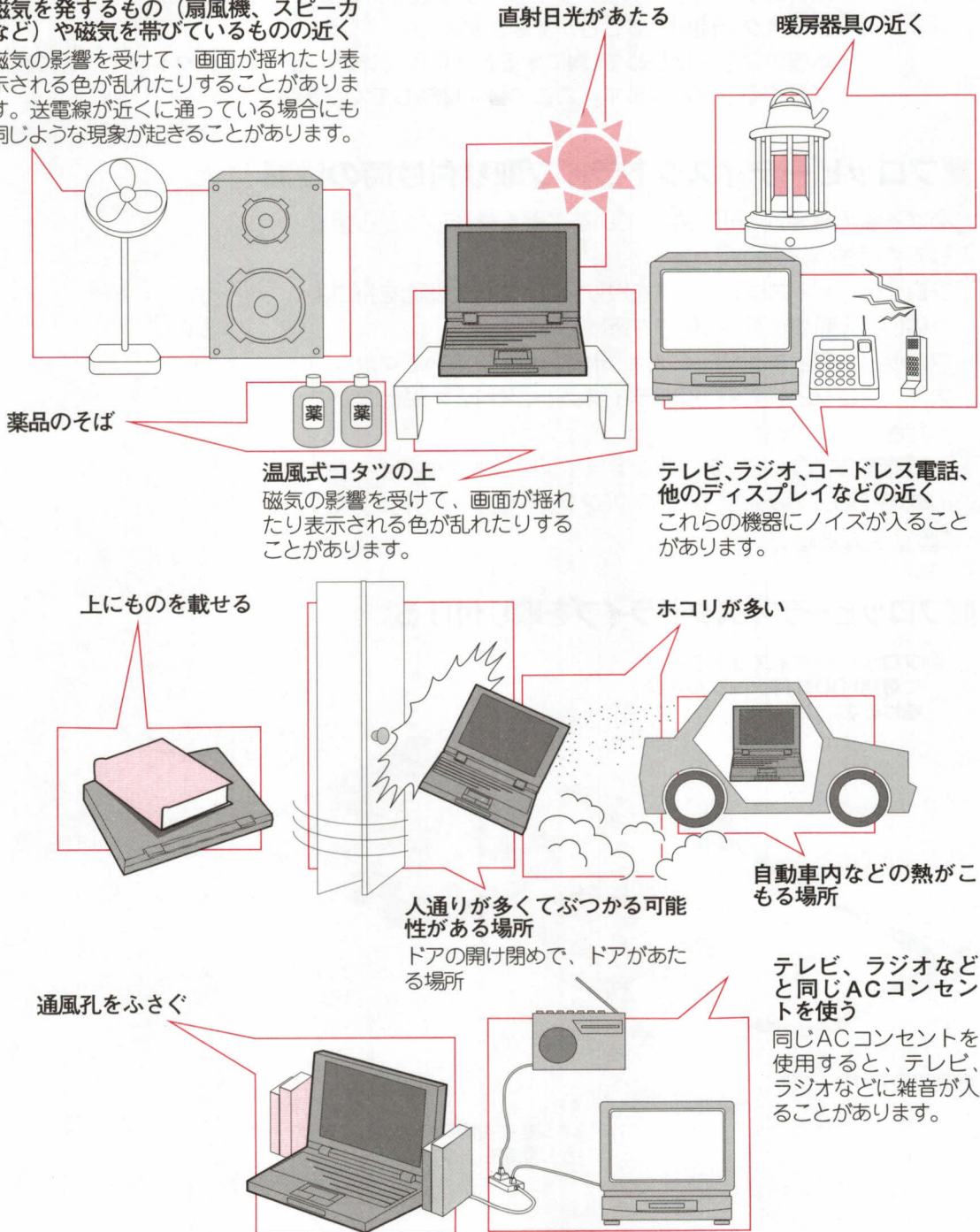
上記の例と同様に、本機の温度が低いまま室温の高い部屋に持ち込んだ場合などには、本機の内部や外部に結露することがあります。

万一、このような温度変化が加わったあと本機の電源がONにならない等の異常が発生した場合は、ご購入元、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

■使用・保管に適さない場所

次のような場所では使用または保管しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

磁気を発するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く磁気の影響を受けて、画面が揺れたり表示される色が乱れたりすることがあります。送電線が近くに通っている場合にも同じような現象が起きることがあります。



フロッピーディスクドライブの 取り付けかた

添付のフロッピーディスクドライブを取り付けることにより、本機でフロッピーディスクを使用することができます。

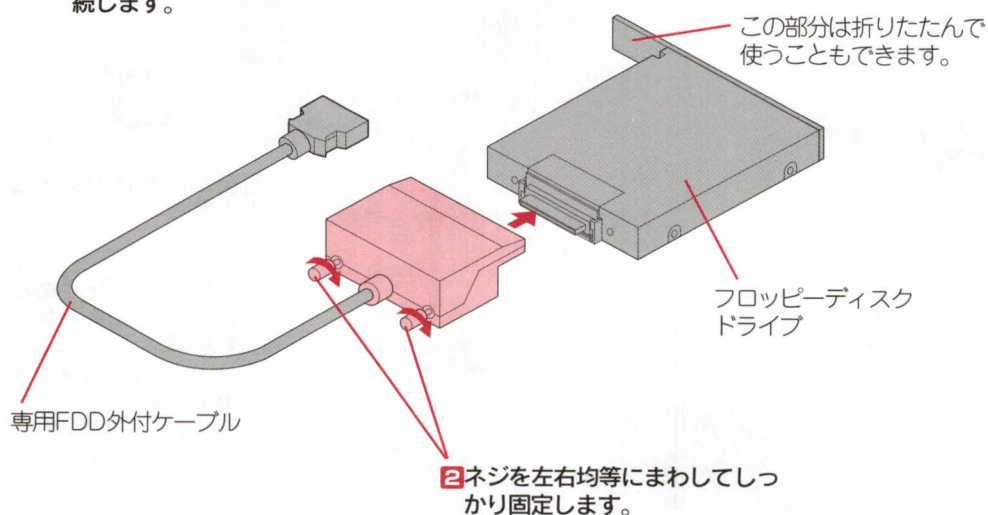
本機の電源をはじめてONにするときには、フロッピーディスクドライブを接続しておく必要があります。ここで必ず接続してください。

■フロッピーディスクドライブ取り付け時の注意

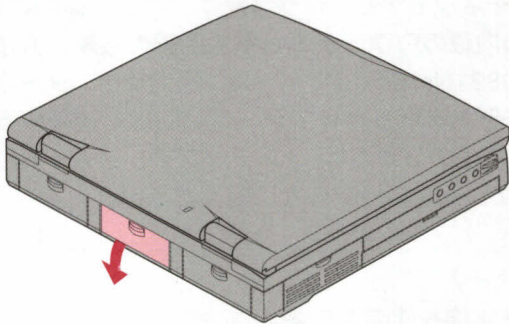
- ・必ず本機の電源がOFFになっていることを確認してから接続してください。
- ・フロッピーディスクドライブを取り扱うときは、側面を持つようにし、天面や底面への圧迫を避けてください。
- ・フロッピーディスクドライブは、水平な場所に置いてください。また、フロッピーディスクドライブの上に物などを載せないでください。
- ・本機背面のフロッピーディスクドライブ用コネクタには、添付の専用FDD外付ケーブル（PC-9821NB-K01）以外は接続しないでください。

■フロッピーディスクドライブを取り付ける

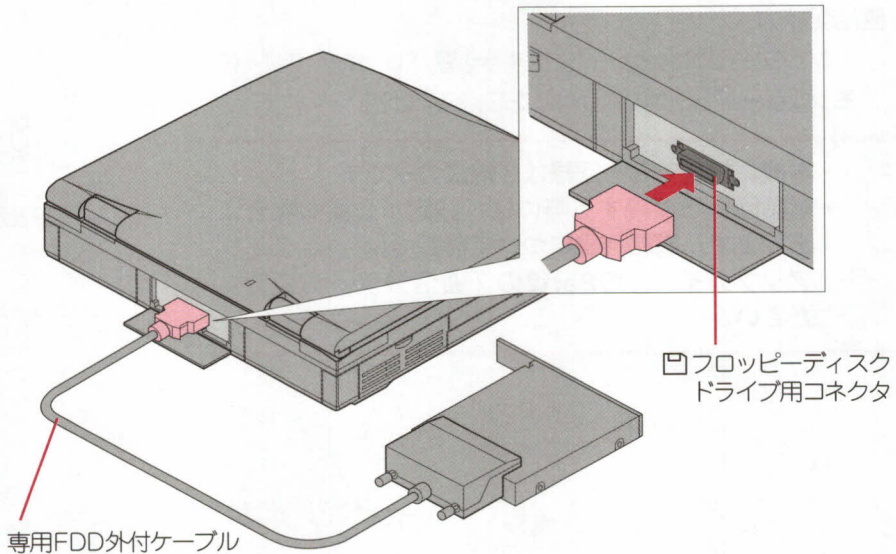
- 1 フロッピーディスクドライブに専用FDD外付ケーブルを接続します。



- 3 本機背面のカバーに指をかけて開けます。



- 4 本機背面のフロッピーディスクドライブ用コネクタ(□)に、専用FDD外付ケーブルを奥までしっかり差し込みます。



電話回線の接続のしかた (PC-9821Nr15/S14Fの場合)

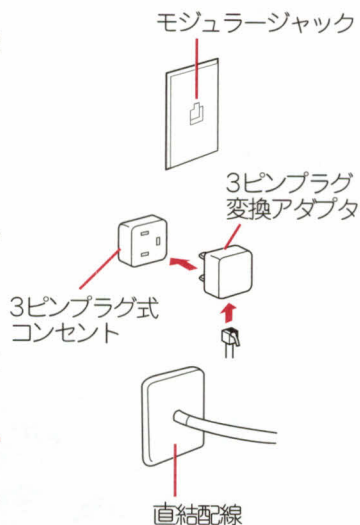
あとから接続することもできます。

パソコン通信やインターネットなどを行う場合は、電話回線を接続します。ここではNr15/S14Fの内蔵のFAXモデムと電話回線の接続の方法について説明しています。PC-9821Nr15/S10でパソコン通信やインターネットをするには、別売のFAXモデムを取り付けてから電話回線を接続する必要があります。FAXモデムの接続のしかたは、『ステップアップガイド』および別売のモデムに添付されているマニュアルをご覧ください。

■電話回線について

電話回線には次の3種類があります。本機を使用する場所の回線の形状を確認してください。

- モジュラージャック式
お客様自身で、電話回線を接続することができます。
- 3ピンプラグ式コンセント
市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。
- 直結配線方式
モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。



- 本機に接続できる回線は2線式のみです。
- 電話回線を接続する際には、設定が必要な場合があります。電話回線について詳しくは、『ステップアップガイド』のPart2の「通信機能」をご覧ください。

■電話回線の接続(モジュラージャック式の場合)

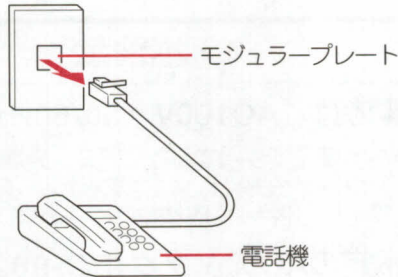
⚠注意



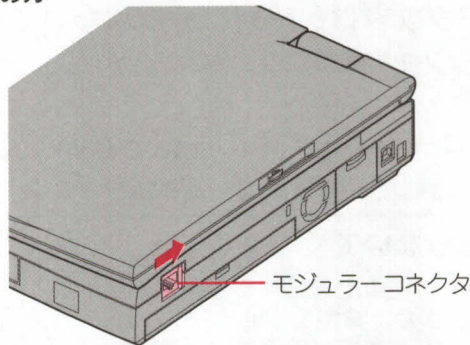
●モジュラージャックの端子に触れないでください。

電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

1 電話機のモジュラーケーブルを、モジュラープレートなどから取り外します。

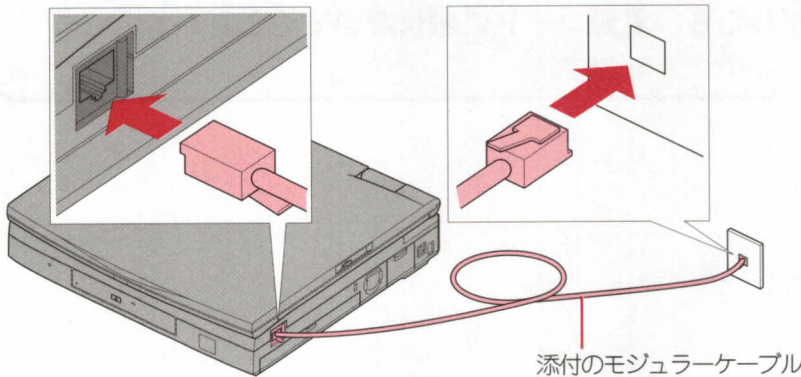


2 本機のモジュラーコネクタのカバーを開けます。



3 添付のモジュラーケーブルの一方を、本機のモジュラーコネクタに接続します。

4 ケーブルのもう一方を、モジュラープレートなどに接続します。



・このあと、ソフトウェアの設定が必要です。ソフトウェアの設定については、それぞれの通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

ACアダプタの接続のしかた

ACアダプタは、ACコンセントから本機に電源を供給する装置です。
ご購入時にはバッテリーが充電されていないので、ACアダプタを接続して使用してください。

■取り扱い上の注意

⚠注意



感電注意



発火注意

●電源は、AC100V (50/60Hz) を使用してください。*

異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。入力電圧は、AC125V以下でご使用ください。

●指定のACアダプタ(PC-9821NR-U01)を使用してください。

指定以外のACアダプタを使用すると、感電、発煙、火災の原因となることがあります。

●ACアダプタは、絶対に分解しないでください。

ACアダプタ内部には電圧の高い部分があり、触れると感電することがあります。

●電源コードの上にものを載せないでください。

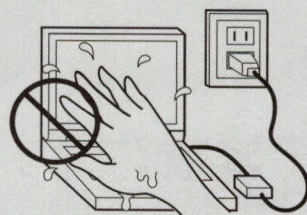
コードが傷つき、感電、火災の原因となります。



感電注意

●濡れた手で触らないでください。

濡れた手で電源コードを抜き差しすると、感電の原因となります。また、電源コードのプラグがACコンセントに接続されているときに、濡れた手で本機やACアダプタに触ると、感電の原因となります。



●雷が鳴りだしたら、電源コードに触れないでください。

落雷による感電のおそれがあります。

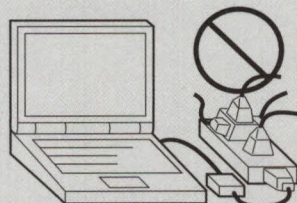
⚠注意



発火注意

- **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。



- **電源コードは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。**

コードをひっぱって抜くと、断線して、火災の原因となります。



- **電源コードやACアダプタのプラグのつけ根部分を無理に曲げないでください。**

壁に押しつけて曲がった状態など、プラグのつけ根部分を圧迫するような使い方をすると、発煙、火災の原因となります。

- **ACアダプタを布などでくるんだりしないでください。**

本機使用時にはACアダプタが発熱するため、布などでくるむとACアダプタが過熱し、火災の原因となります。



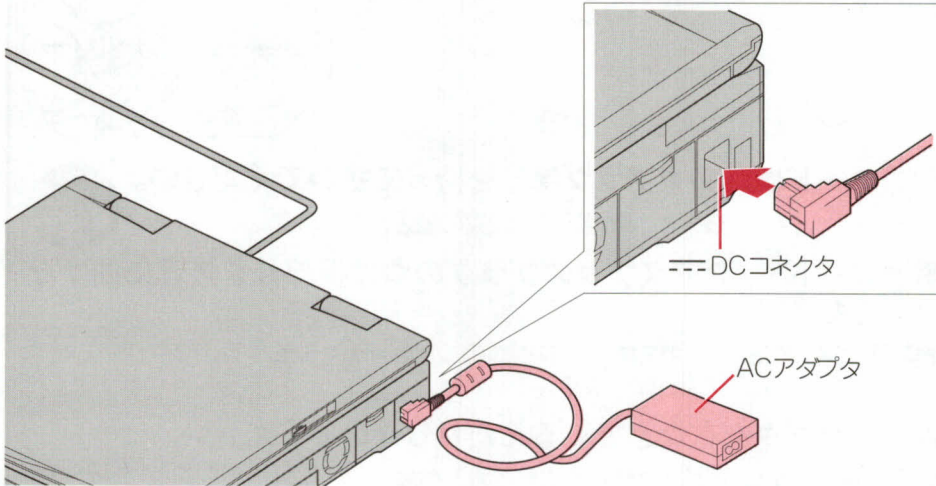
けが注意

- **ケーブル類は整理してください。**

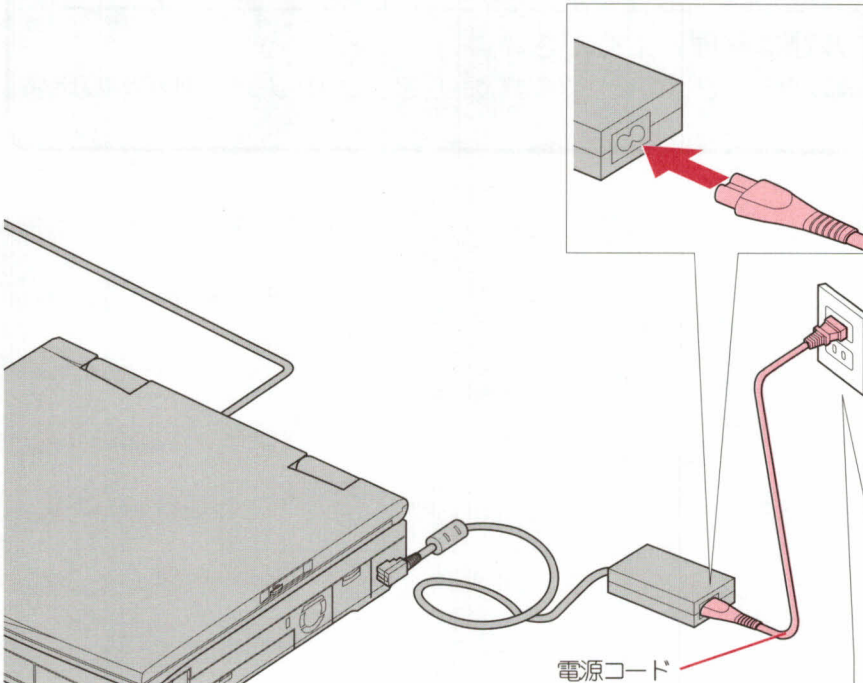
ケーブル類を整理していないと、つまずいたり、引っかいたりして、けがの原因となります。

■ACアダプタを接続する

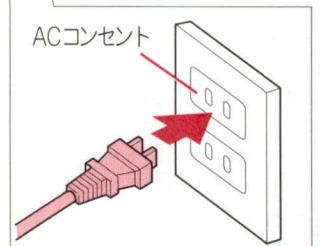
- 1 ACアダプタのピンジャックを、本機右側面のDCコネクタ(=)に奥までしっかりと差し込みます。



- 2 添付の電源コードを、ACアダプタに接続します。

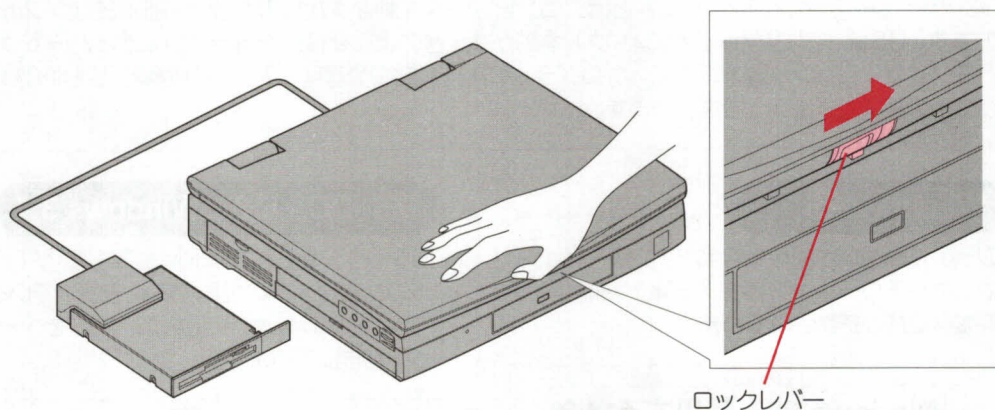


- 3 電源コードのプラグを、ACコンセントに奥までしっかりと差し込みます。

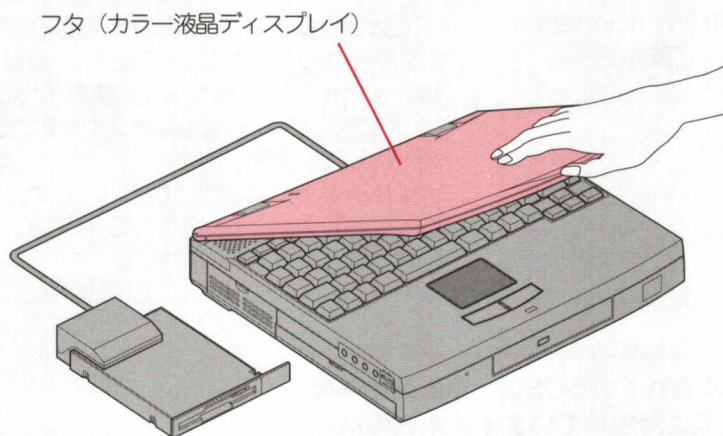


フタ(カラー液晶ディスプレイ)の開けかた

1 ロックレバーを右にスライドさせると、ロックが外れます。



2 フタ(カラー液晶ディスプレイ)を上げます。



フタ(カラー液晶ディスプレイ)の角度は、180度まで自由に変わることができます。見やすい角度に調節してください。

OSの選択

本機の内蔵のハードディスクには、次の2種類のOSがインストールされています。

- Windows 95
- MS-DOS 6.2とWindows 3.1

本機では上記2種類のOSのうち1種類のみをはじめでの電源ONのときに選択して使用します。選択しなかったOSはハードディスクから削除されます。

OSとは

OS（オペレーティングシステム）とは、コンピュータを動かすためのもっとも基本的なソフトウェアです。OSは、アプリケーションソフトを動かす土台のような役割を持っています。ハードウェアとアプリケーションソフトの間で、プログラムの実行、制御や管理、入出力の制御などを仲介して行うためのソフトウェア全般をいいます。

Windows 95

Windows 95はWindowsの最新バージョンで、ネットワークやマルチメディア機能など、高度な機能が搭載されています。

Windows 95を使用する場合

「Part2 セットアップする（Windows 95を使用する場合）」をご覧ください、セットアップをしてください。

詳しい使いかたは、『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』をご覧ください。

MS-DOS 6.2とWindows 3.1

MS-DOS 6.2とWindows 3.1は、パーソナルコンピュータの世界で広く普及しているOSです。Windows 3.1はMS-DOSをベースにして動作しています。

MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合

まず「Part3 セットアップする（MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合）」の手順でセットアップをしてから、別紙の『Microsoft Windows 3.1を使用される方へ』をご覧ください、Windows 3.1のマニュアルを入手してください。

Windows 3.1の詳しい使いかたは、『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS 6.2クイックガイド』をご覧ください。



本機にインストールされているOSは、市販品と異なり、本機固有の機能に対応しています。本機のハードディスクを初期化して市販のWindowsをインストールしても本機固有の機能は使用できません。詳しくは『ステップアップガイド』のPart2の「ハードディスク」をご覧ください。

Part 2

セットアップする (Windows 95を使用する場合)

準備が整ったら、電源をONにしてみましょう。

ここでは、初めて電源をONにしてWindows 95のセットアップをする方法を説明します。セットアップにはおよそ30*分かかります。

※画面の内容を読んだり、確認したり、また画面に文字を入力するのにかかる時間によっては、これより長くなる場合があります。

- 電源をONにする前に
- 電源をONにする
- 電源をOFFにする

MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する方は、Part3をご覧ください。

電源をONにする前に

ここでは、セットアップをする際に注意してほしいことを説明しています。電源をONにする前に必ず読んでください。

■準備してください

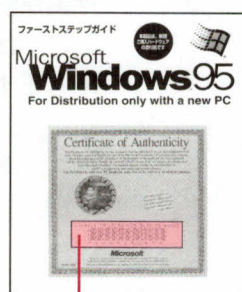
セットアップの際には、次の情報が必要です。電源をONにする前に準備してください。

・ Product IDを用意してください

セットアップの途中でProduct IDを入力します。Product IDは、添付の『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



本機を再セットアップするときにProduct IDが必要になりますので、『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』またはProduct IDの控えをなくさないように保管してください。



Product IDはここに記載されています。

・名前を決めてください

セットアップの途中で「利用者名」を入力します。Windows 95のライセンスを受ける人を決めておいてください。セットアップ完了後は再セットアップしないがぎり変更することはできません。

・会社名を決めてください

個人で使用する場合は必要ありません。

・システムインストールディスク

(添付のフロッピーディスク)

「電源をONにする」の手順に従って、「システムインストールディスク」を作成してください。このディスクは、Windows 95を復元するときに必要です。

システムインストールディスクはライトプロテクト（字P.39）されていないことを確認してください。

また、このディスクは、「電源をONにする」の手順のときにしか作成することができません。このディスクを作成する前に内蔵のハードディスクのフォーマット（初期化）などを行わないでください。



システムインストールディスク

■セットアップの流れ

電源をONにしてからWindows 95が使えるようになるまでの流れは次のようになっています。実際のセットアップの手順はこのあとのページで詳しく説明していますので、ここでは全体の流れをつかんでおきましょう。

電源をONにする



ハードディスクに異常がないか調べます。



OSの選択をします。



自動的に再起動する



一瞬画面が暗くなります



Windowsを使うために必要な情報を入力します。「利用者の名前」「Product ID」が必要になります(☞P.24)。



OSのセットアップをやり直すときに必要なシステムインストールディスクを作成します。



この画面が表示されたらセットアップは完了です。

電源をOFFにする

この間は絶対に電源をOFFにしたり、サスペンドスイッチを押したりしないでください。Windows 95が使えなくなってしまうことがあります。

電源をONにする

セットアップのおおまかな流れはつかめましたか？ 必要な情報はそろっていますか？ それでは、セットアップを始めましょう。

⚠警告



高温注意

●ひざの上で長時間使用しないでください。

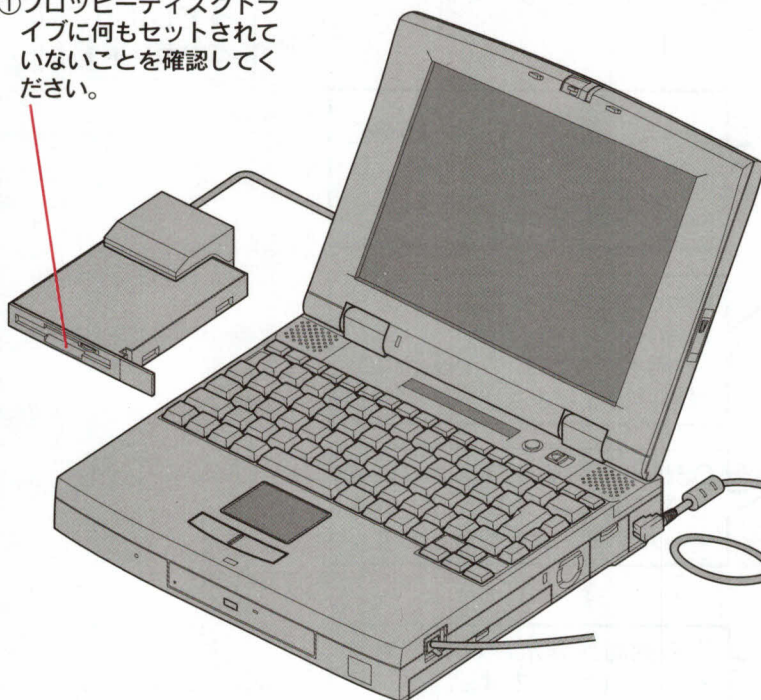
使用中、本機底面が熱くなり、低温やけど※を起す可能性があります。

※低温やけどは、長時間にわたり一定個所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑、水泡などの症状をおこすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。



1 電源をONにする前に次のことを確認します。

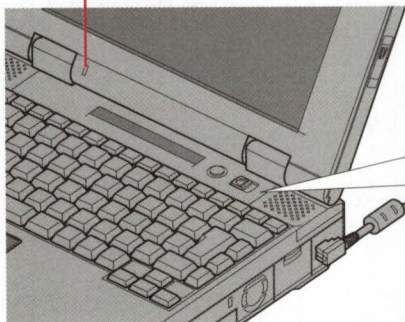
①フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認してください。



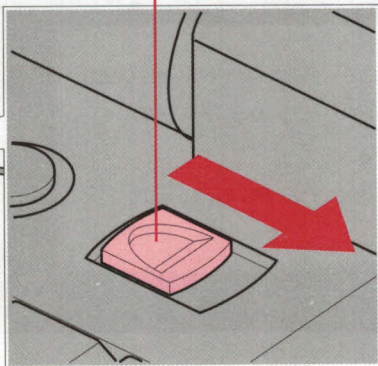
②ACアダプタがきちんと接続されていることを確認してください。

2 本機の電源スイッチを右へスライドさせます。

動作表示用LED



電源スイッチ

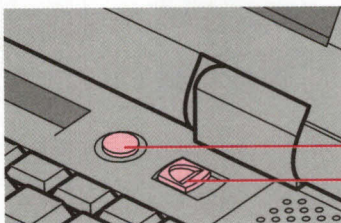


電源スイッチは右端までしっかりスライドさせてください。指をはなすと、電源スイッチは元の位置へ戻ります。

動作表示用LEDが点灯し、「ピポッ」と音がします。これで電源がONになりました。



セットアップが終了するまでの間、絶対に電源スイッチをスライドさせたりサスペンドスイッチを押ししたりしないでください。



サスペンドスイッチ

電源スイッチ

しばらくすると、画面左上にメモリチェックが表示されます。

MEMORY 640KB + 14336KB OK

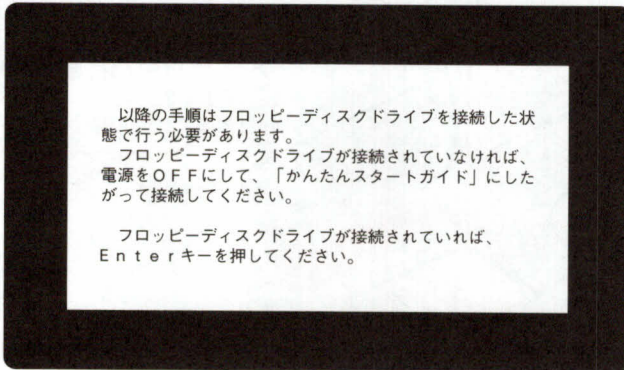


メモリチェックが正しく表示されない場合は、メモリに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。





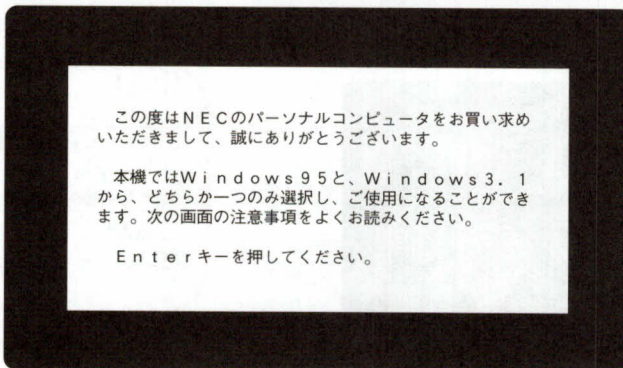
次のようなメッセージが表示されます。




3 キーボードの  (Enterキー) を押します。

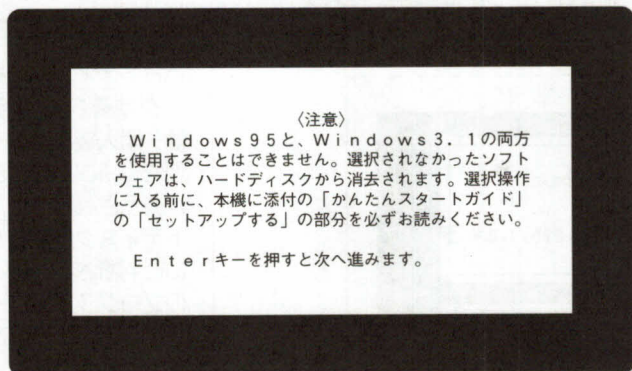


次のような画面が表示されます。

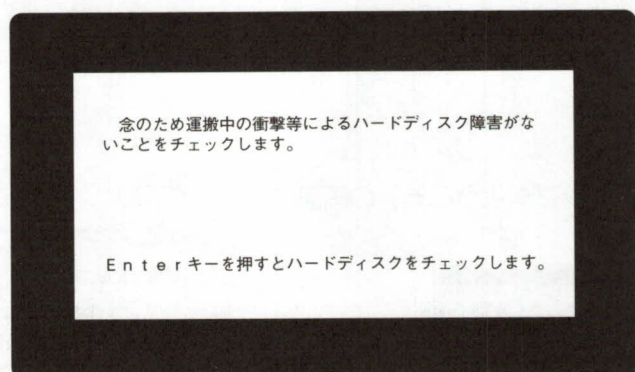


4 キーボードの  (Enterキー) を押します。

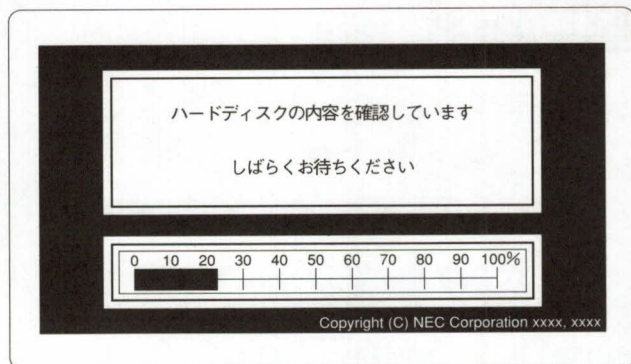
- 5** <注意>のメッセージが表示されます。大切な情報ですので必ずよく読んでください。読み終わったら、キーボードの  (Enterキー) を押します。



- 6** キーボードの  (Enterキー) を押します。



ハードディスクをチェックするプログラムが起動し、自動的にハードディスクがチェックされます。



ハードディスクをチェックするプログラムが表示されないときは、ハードディスクに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。



チェックが終わり、ハードディスクが正常なことが確認されると、次の画面が表示されます。

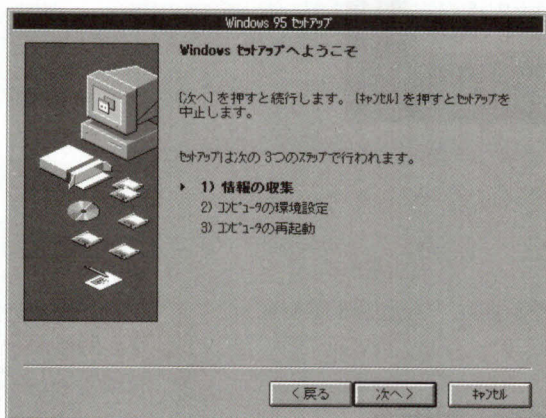


ハードディスクをチェックするプログラムは、購入後、初めて電源をONにしたときだけ表示されます。ハードディスクに異常がないと判断されると、このプログラムはハードディスクから削除されます。

7 キーボードの  (Enterキー) を押します。

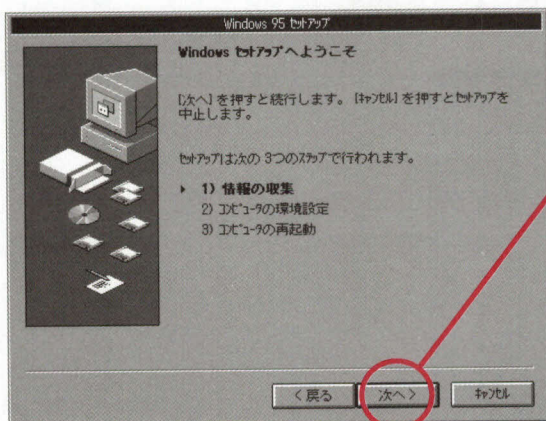


しばらくすると、[Windows セットアップへようこそ] の画面が表示されます。



[Windows 95セットアップ] 画面上には、[戻る] ボタンがあります。まちがって次の画面に進んでしまったときなどは、[戻る] ボタンで前の設定画面に戻ることができます。

8 98スライドパッドを使って、[次へ] ボタンにマウスポインタを合わせます。



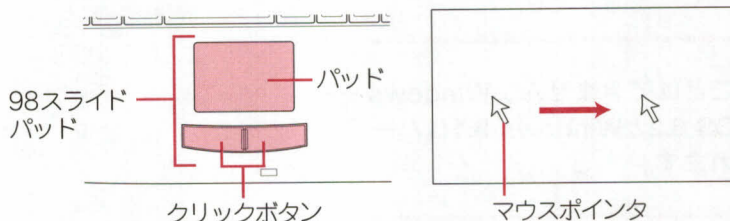
これが [次へ] ボタンです。ここにマウスポインタを合わせます。



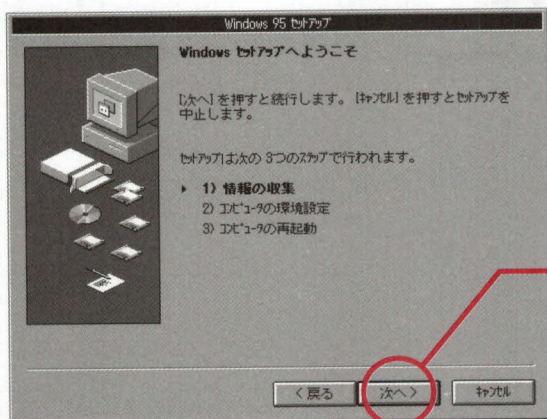
- ・マウスポインタを移動して、マウスポインタの先端をボタンなどに合わせることをポイントといいます。
- ・指がパッドの端まで到達してしまったときは、いったん指をパッドからはなしてから置きなおします。指をはなしている間はマウスポインタは動きません。

マウスポインタの合わせかた

98スライドパッド上で指を動かします。指を動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の矢印が動きます。



9 [次へ] ボタンをクリックします。



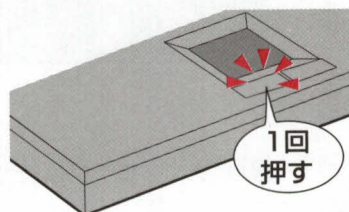
このボタンをクリックします。



このマニュアルでは、「クリック」とだけ書いてある場合は、左ボタンを押すことを示しています。

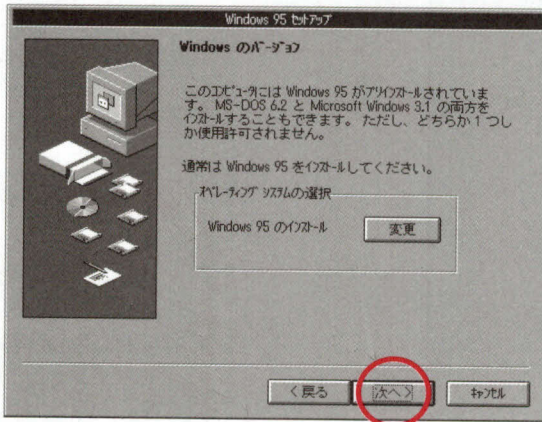
クリックのしかた

98スライドパッドのクリックボタンを1回押すことをクリックといいます。左のボタンを押すことを左クリック、右のボタンを押すことを右クリックといいます。



10 使用するOSを選択します。

Windows 95を使用しますので、そのまま [次へ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

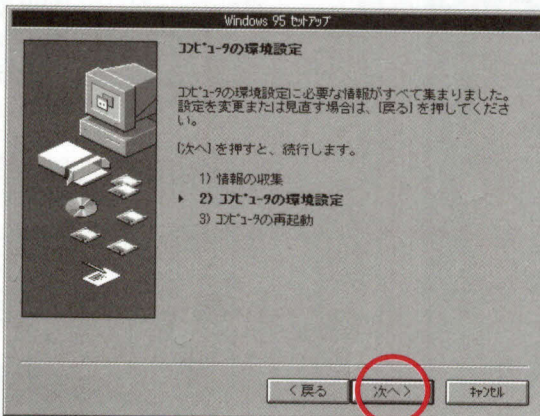


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



両方のOSを使用することはできません。Windows 95を選択するとMS-DOS 6.2とWindows 3.1はハードディスクから削除されます。

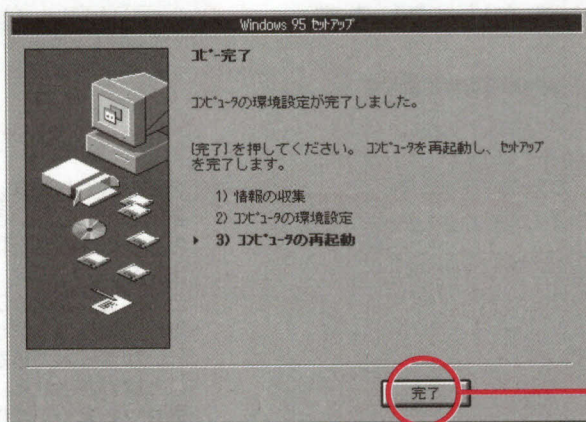
11 次の画面が表示されたら、[次へ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

画面のメッセージに従って約2分間お待ちください。

12 [完了] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

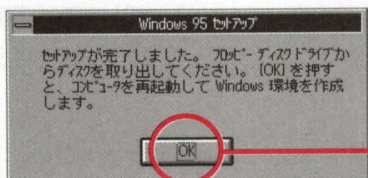


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。ここでは、絶対に電源をOFFにしないでください。

13 [OK] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

自動的に本機が再起動します。



ハードウェアの設定が自動的に行われます。そのまま、しばらくお待ちください。約3分間かかります。



フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、イジェクトボタンを押してフロッピーディスクを取り出してください (P.40)。



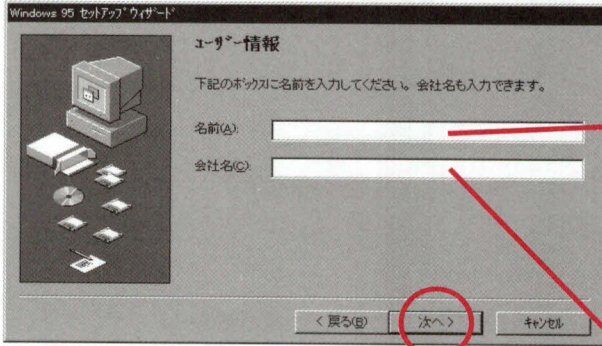
[ピポッ] という音がして画面が一瞬、真っ暗になります。

14

次の画面が表示されますので、キーボードを使って名前と会社名を入力します。
入力が終わったら[次へ]ボタンをクリックします。



名前の入力のしかたについては次のページをご覧ください。



①名前を入力します。
名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。
また、セットアップ完了後は、再セットアップしないかぎり入力しなおすことはできません。
再セットアップには大変時間がかかりますので、間違えないように入力してください。

③ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

②個人で使用する場合は必要ありません。会社名を入力する場合はここにマウスポインタを合わせてクリックすると、入力できるようになります。
入力のしかたは名前と同じです。

名前の入力のしかた

<例：漢字で「別所」と入力する場合>

文字を入力するときには、①読みを入力→②漢字に変換する→③確定するという手順で入力します。ここでは、キーボードに書かれているローマ字を使って読みを入力する「ローマ字入力」のしかたを説明します。

このマニュアルのP.80～P.85にも詳しい説明があります。あわせてご覧ください。

①読みを入力します。

キーボードの **BESSYO** を押します。
「べっしょ」と表示されます。

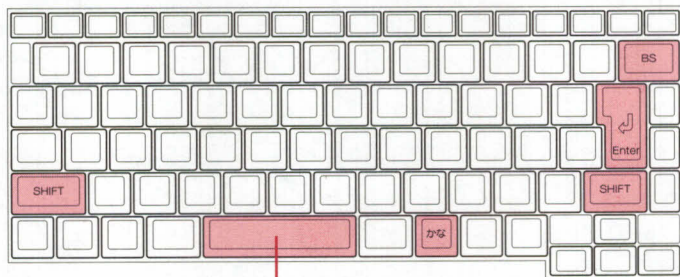
②漢字に変換します。

キーボードの (スペースキー) を押します。
入力した文字が漢字に変換されて、別所 のように表示されます。変換したい漢字が表示されない場合は、キーボードの を押して、目的の漢字を探します。

③確定します。

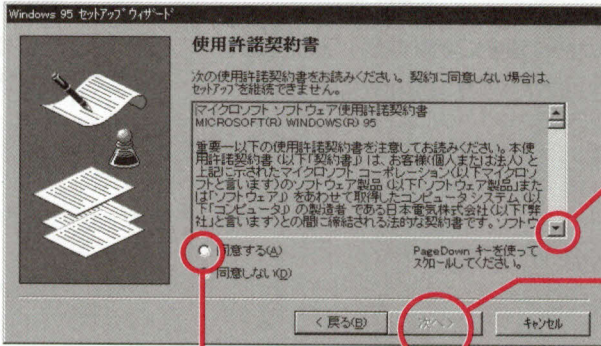
キーボードの (Enterキー) を押します。
変換した漢字が確定されます。


- ・キーボードに書かれているひらがなを使って読みを入力する方法を「かな入力」といいます。かな入力をするには、キーボードの **かな** を押します。
- ・かな入力では、促音 (っ) や拗音 (ゃ、ゅ、ょ) は、**SHIFT** を押しながら入力します。濁音 (゜) と半濁音 (゜) は、それぞれキーに表記してあります。
- ・難しい漢字の読み方などを入力する場合は、漢字一文字ごとに区切って入力してください。例えば、「別所」と入力するときは、まず①～③までの手順で「べつ」を変換し、次にもう一度①～③の手順で「しょ」を入力します。
- ・ひらがなを入力して、キーボードの を押さずに (Enterキー) を押すと、ひらがなのまま確定することができます。
- ・間違えて入力してしまった場合は、**BS** を押すことで一文字ずつ削除することができます。




スペースキー

15 [使用許諾契約書]を確認します。
確認が終わったら、[同意する]ボタンをクリックします。



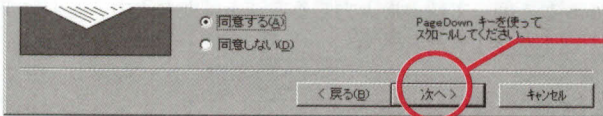
 [使用許諾契約書]は大切な情報ですので、必ずお読みください。

ここをクリックすると続きの画面を見ることができます。

 PageDownキーとは、手前の面に「PgDn」と書かれているキーのことです。

ここにマウスポインタを合わせてクリックします。クリックすると、○が●になります。[同意しない]をクリックした場合は、セットアップが中止されます。

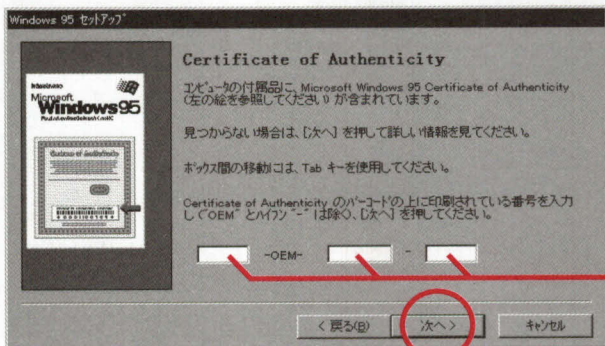
16 [次へ] ボタンをクリックします。



[同意する] または [同意しない] をクリックしないと、このボタンをクリックすることはできません。[同意する] をクリックしてから、ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

17 キーボードを使ってProduct IDを入力します。

入力が終わったら、[次へ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



①Product IDを入力します。

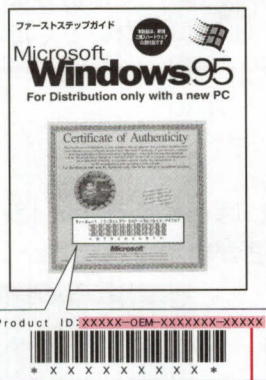
②ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



- ・0 (ゼロ) とO (オー)、1 (イチ) とI (アイ) など、似ている文字を間違えないように注意して入力してください。
- ・入力を間違えると、間違っていることを表すメッセージが表示されるので、画面の指示に従ってもう一度入力しなおしてください。

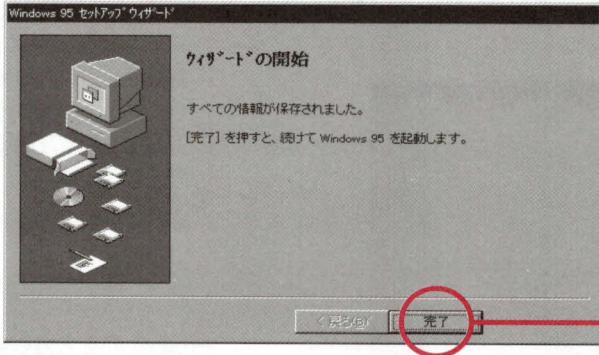


Product IDは、添付の『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



Product IDはここに記載されています。

18 次の画面が表示されたら、[完了] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



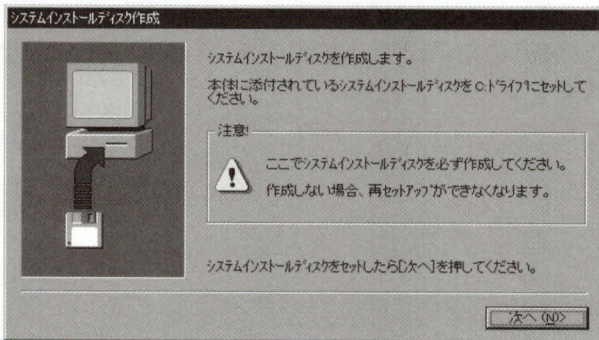
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。ここでは、絶対に電源をOFFにしないでください。

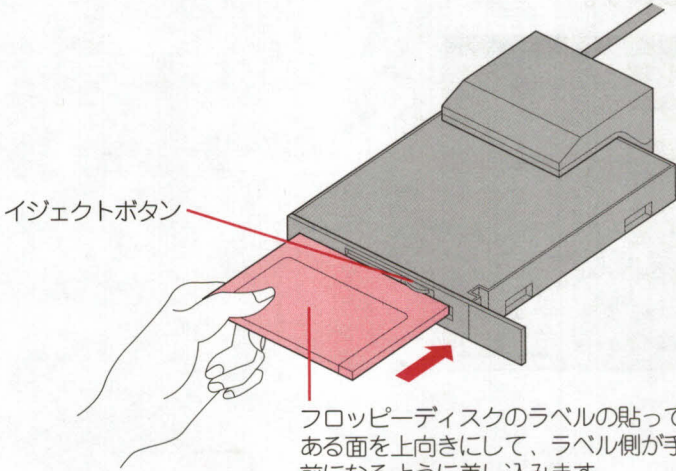


しばらくすると、[システムインストールディスク作成] 画面が表示されます。



ここで必ず「システムインストールディスク」を作成してください。「システムインストールディスク」を作成しないと、次の手順に進むことはできません。システムインストールディスクは再セットアップする（本機をご購入時の状態に戻す）ときに必要になりますので、大切に保管してください。再セットアップについては、『再セットアップガイド』をご覧ください。

19 添付のシステムインストールディスクをフロッピーディスクドライブに差し込みます。



フロッピーディスクのラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベル側が手前になるように差し込みます。イジェクトボタンが少しとび出します。

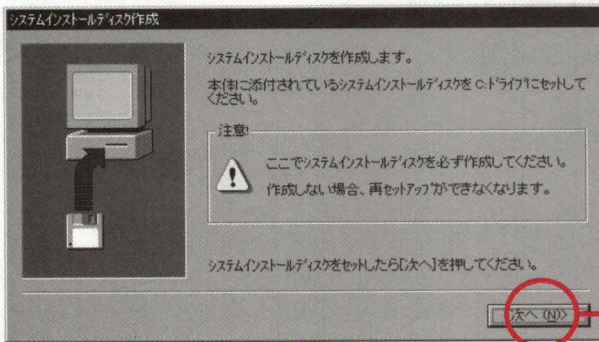


本機に添付されている「システムインストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。他のフロッピーディスクでは「システムインストールディスク」を作成することはできません。



システムインストールディスクはライトプロテクトされていないことを確認してください。

20 [次へ] ボタンをクリックします。

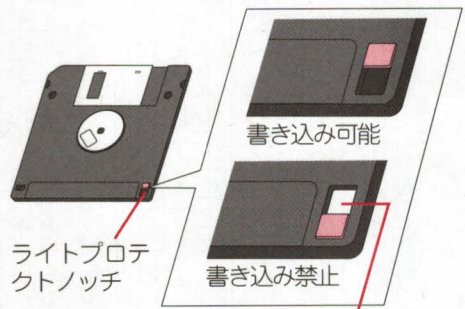


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

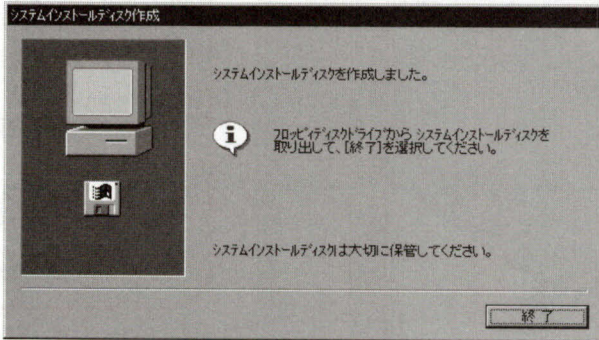
ライトプロテクト

フロッピーディスクに書き込まれている内容を保護するために、フロッピーディスクを書き込み禁止にすることをライトプロテクトといいます。ライトプロテクトするには、ライトプロテクトノッチを右図のようにずらします。ライトプロテクトをすると、新たにデータを書き込んだり、書き込まれているデータを消したりすることができなくなります。

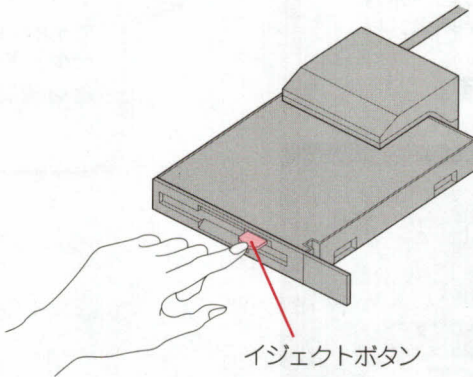


穴の開いた状態

- 21** コピーが終了したら次の画面が表示されますので、「システムインストールディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出します。



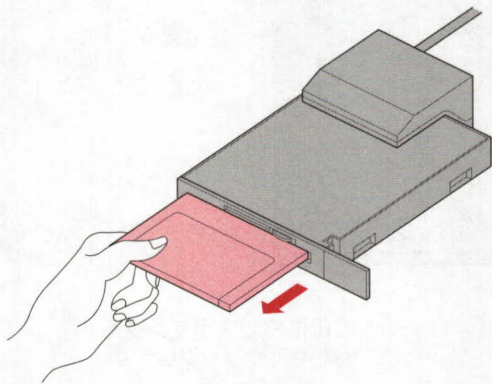
- ① イジェクトボタンを押します。



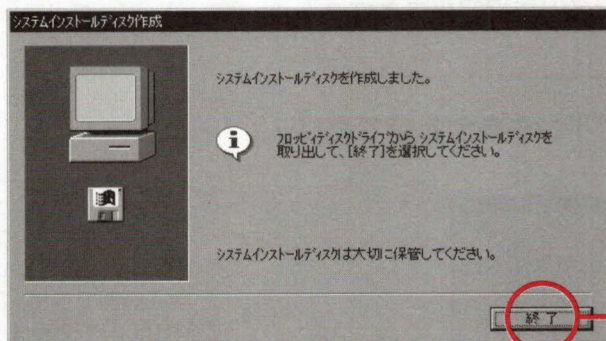
システムインストールディスクはWindows 95を復元するときに必要です。大切に保管しておいてください。



②フロッピーディスクが少し出てきますので、ラベル部分を持って、ゆっくり水平に引き出します。



22 「システムインストールディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出したら、[終了] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

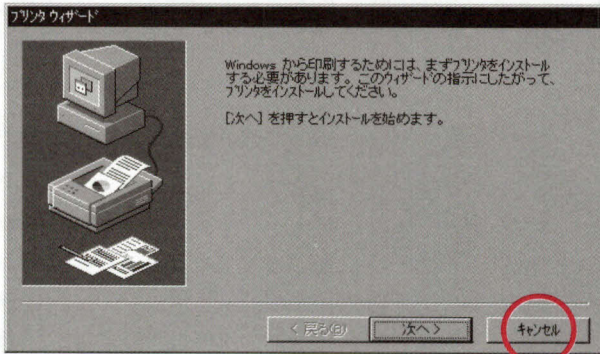


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



しばらくすると、自動的にシステム環境の設定を行います。システム環境の設定の途中で、[プリンタウィザード] の画面が表示されます。

23 [キャンセル] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

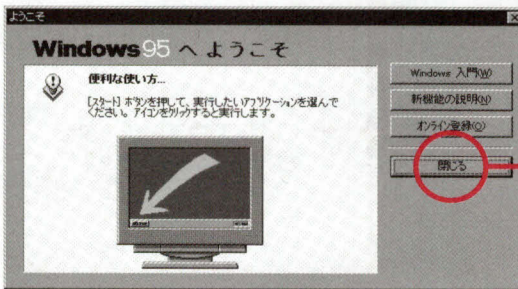


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



プリンタを利用する場合は、このPartの手順に従ってセットアップを完了し、電源をOFFにしたあと、『ステップアップガイド』のPart3の「プリンタを使う」をご覧になり、プリンタの接続や設定を行ってください。

24 [閉じる] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

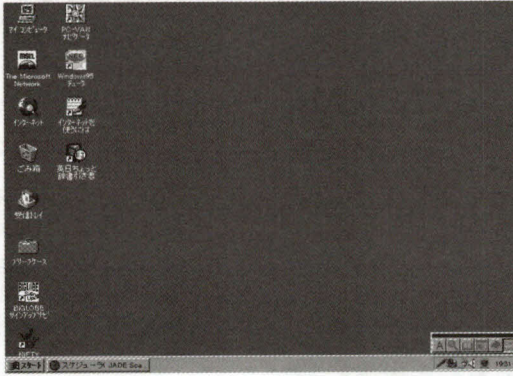


この画面はWindows 95の使い方について学ぶ画面ですが、ここでは次に進みます。「Windows 95へようこそ」はあとからでも起動できます。





次のような画面が表示されます。この画面をWindows 95のデスクトップといいます。



これでセットアップが完了し、Windows 95が使えるようになりました。
次に、本機の電源をOFFにする手順を説明しますので、続けて操作してください。

電源をOFFにする

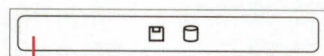
すぐに本機を使ってみたいところですが、ここでは、その前に正しい電源のOFFのしかたを覚えましょう。

きちんと手順を守ってOFFにしないと、本機が正常に動かなくなってしまうこともあります。

1 電源をOFFにする前に次のことを確認してください。

- ①フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認してください。

イジェクトボタン



- ②ステータスインジケータのフロッピーディスクドライブ表示とハードディスク表示が点滅していないことを確認してください。



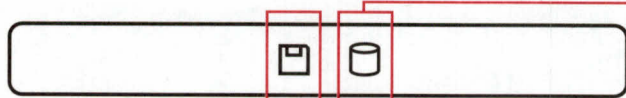
電源をOFFにするときは必ずフロッピーディスクがセットされたままになっていないか確認するようにしましょう。

もし、フロッピーディスクがセットされていた場合には、イジェクトボタンを押して取り出してください(P.40)。



ステータスインジケータ

ステータスインジケータは、本機の動作状態を示すためのものです。フロッピーディスクやハードディスクのデータを読み書きしているときには、それぞれのマークが点滅します。



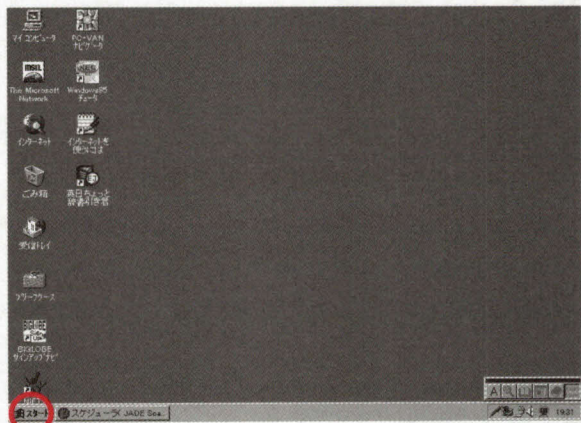
フロッピーディスクドライブ表示

このマークが点滅しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。データが壊れることがあります。また、フロッピーディスクやフロッピーディスクドライブのヘッドを傷める原因となります。

ハードディスク表示

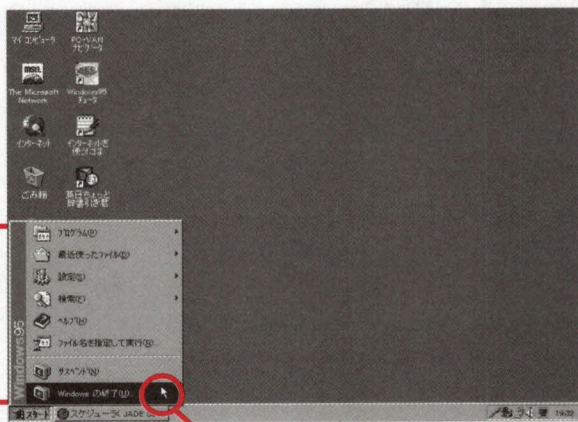
このマークが点滅しているときは、絶対に電源をOFFにしないでください。データが壊れることがあります。

2 [スタート] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

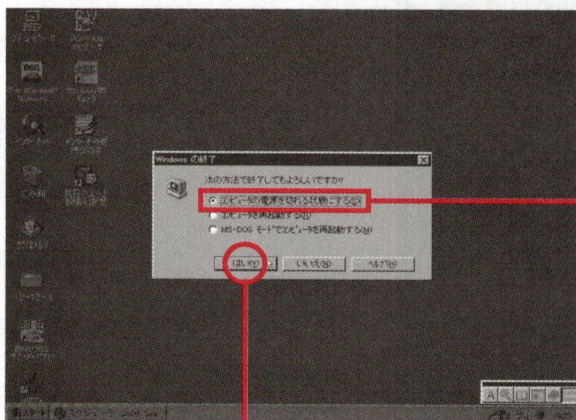
3 表示されたスタートメニューから、[Windowsの終了]にマウスポインタを合わせてクリックします。



これがスタートメニューです

ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

4 [コンピュータの電源を切れる状態にする] がチェックされている状態で、[はい] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

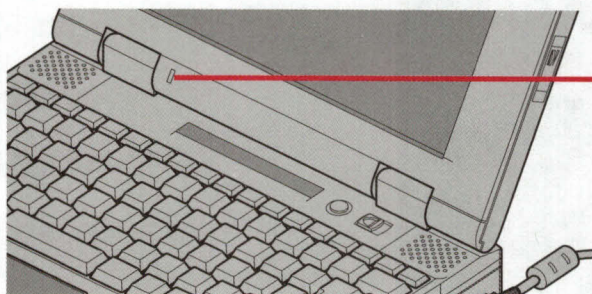


ここが選択されていることを確認します。

ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



しばらくお待ちください、というメッセージが表示されたあと、動作表示用LEDが消え、自動的に本機の電源がOFFになります。



動作表示用LED



- ・電源がきちんとOFFになったかどうかは、必ず動作表示用LEDの消灯により確認してください。電源がONのまま本機を持ち運ぶと、振動により本機内部のハードディスクが故障する原因となります。
- ・旅行などで長期間本機を使用しないときは、安全のため、電源コードをACコンセントから抜いてください。

Part 3

セットアップする

(MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する場合)

準備が整ったら、電源をONにしてみましょう。

ここでは、初めて電源をONにしてMS-DOS 6.2とWindows 3.1のセットアップをする方法を説明します。セットアップにはおよそ30*分かかります。

※画面の内容を読んだり、確認したり、また画面に文字を入力するのにかかる時間によっては、これより長くなることがあります。

- 電源をONにする前に
- 電源をONにする
- 電源をOFFにする

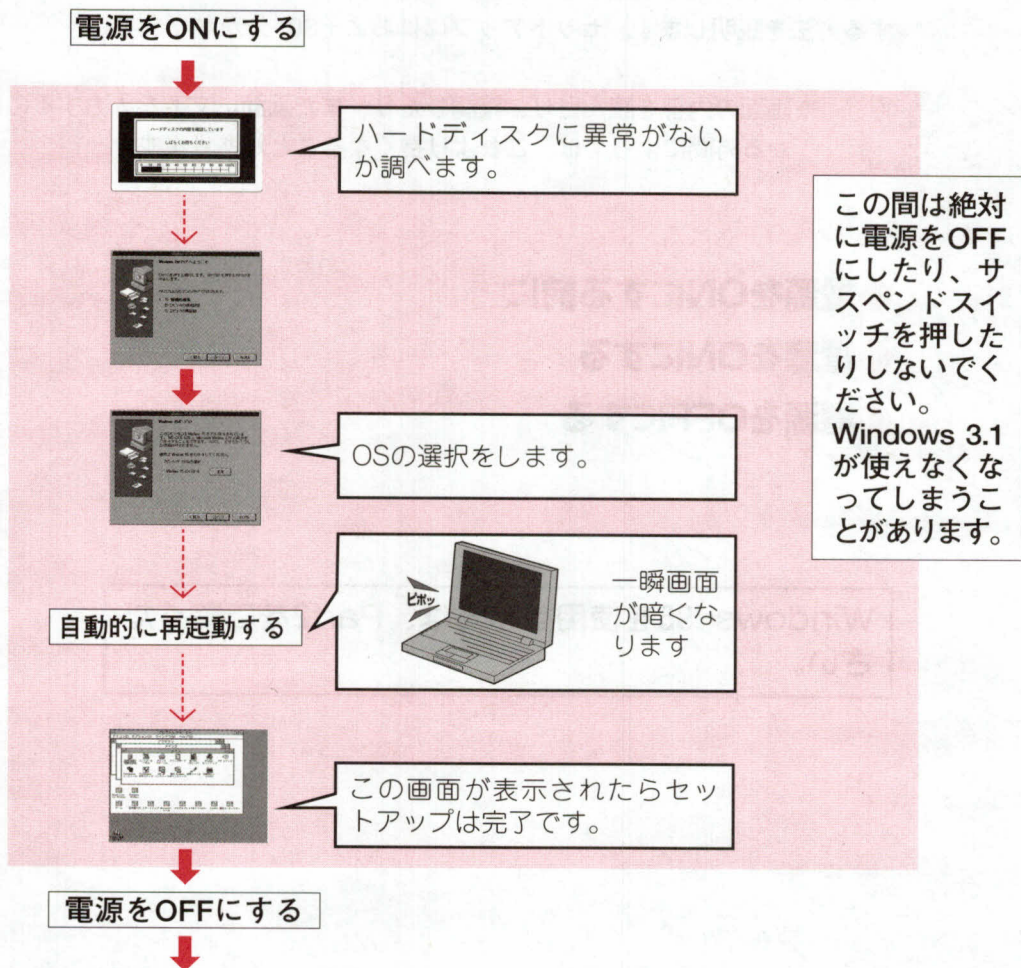
Windows 95を使用する方は、Part2をご覧ください。

電源をONにする前に

ここでは、セットアップをする際に注意してほしいことを説明しています。電源をONにする前に必ず読んでください。

■セットアップの流れ

電源をONにしてからWindows 3.1が使えるようになるまでの流れは次のようになっています。実際のセットアップの手順はこのあとのページで詳しく説明していますので、ここでは全体の流れをつかんでおきましょう。



別紙の『Microsoft Windows 3.1を使用される方へ』をご覧ください、MS-DOS 6.2とWindows 3.1のマニュアルを入手してください。

電源をONにする

セットアップのおおまかな流れはつかめましたか？ 必要な情報はそろっていますか？ それでは、セットアップを始めましょう。

⚠警告



高温注意

●ひざの上で長時間使用しないでください。

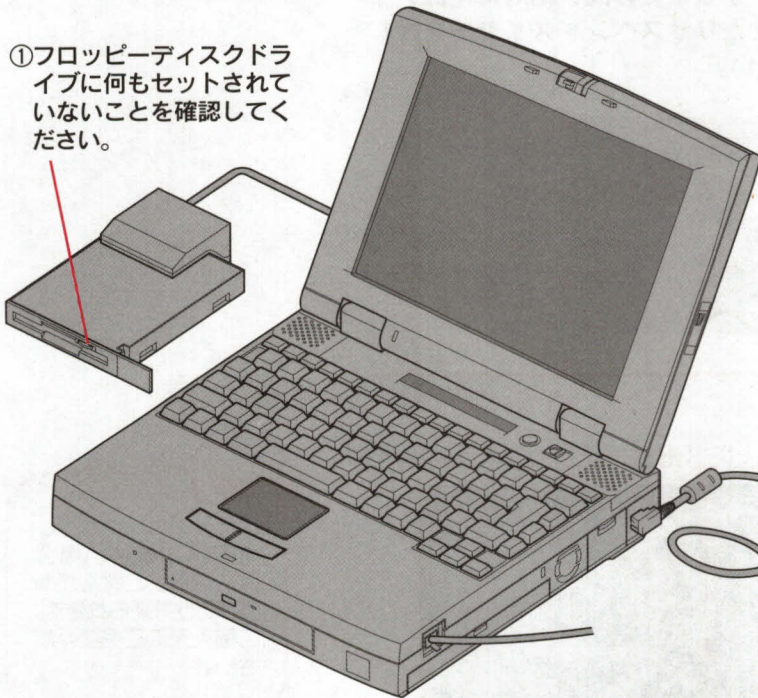
使用中、本機底面が熱くなり、低温やけど※を起す可能性があります。

※低温やけどは、長時間にわたり一定個所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑、水泡などの症状をおこすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

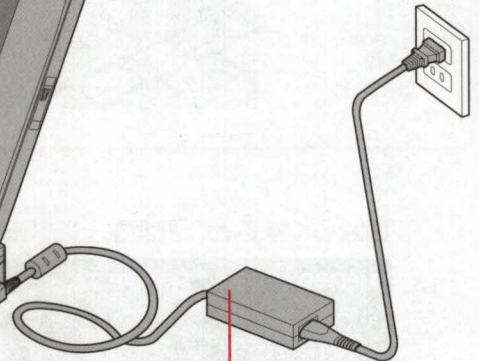


1 電源をONにする前に次のことを確認します。

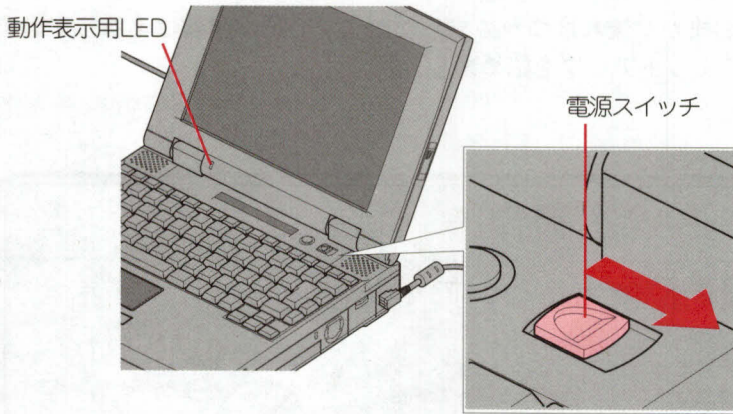
①フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認してください。



②ACアダプタがきちんと接続されていることを確認してください。



2 本機の電源スイッチを右へスライドさせます。

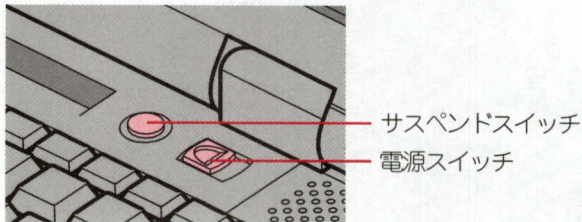


電源スイッチは右端までしっかりスライドさせてください。指をはなすと、電源スイッチは元の位置へ戻ります。

動作表示用LEDが点灯し、「ピポッ」と音がします。これで電源がONになりました。



セットアップが終了するまでの間、絶対に電源スイッチをスライドさせたりサスペンドスイッチを押したりしないでください。



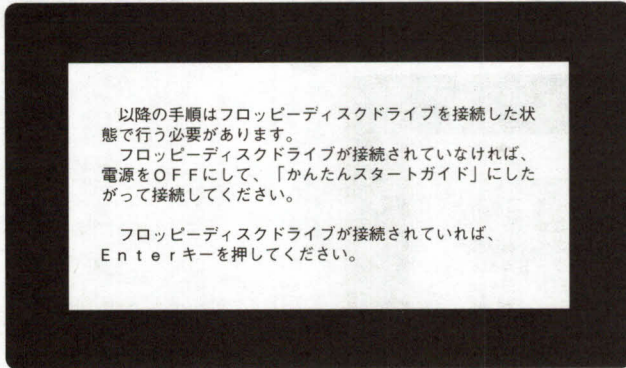
しばらくすると、画面左上にメモリチェックが表示されます。

MEMORY 640KB + 14336KB OK

メモリチェックが正しく表示されない場合は、メモリに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。



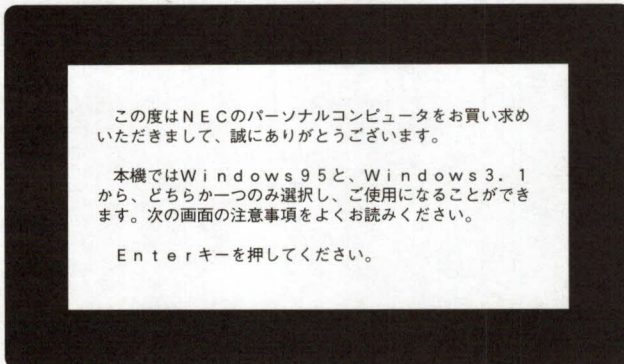
次のようなメッセージが表示されます。




3 キーボードの  (Enterキー) を押します。

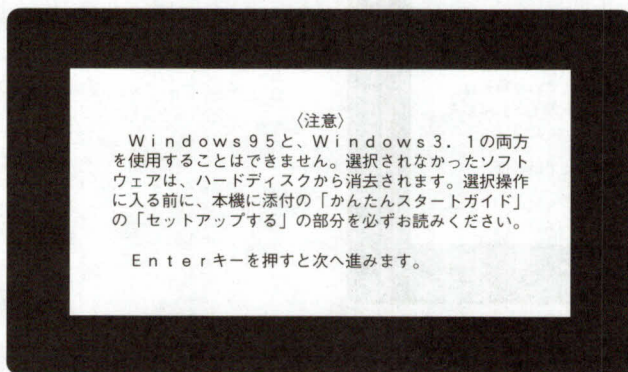


次のような画面が表示されます。

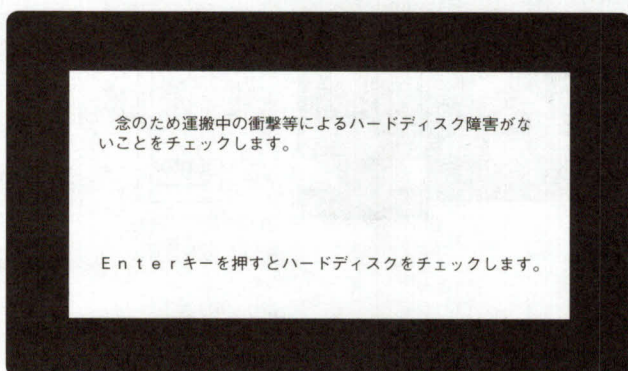


4 キーボードの  (Enterキー) を押します。

5 <注意>のメッセージが表示されます。大切な情報ですので必ずよく読んでください。読み終わったら、キーボードの  (Enterキー) を押します。

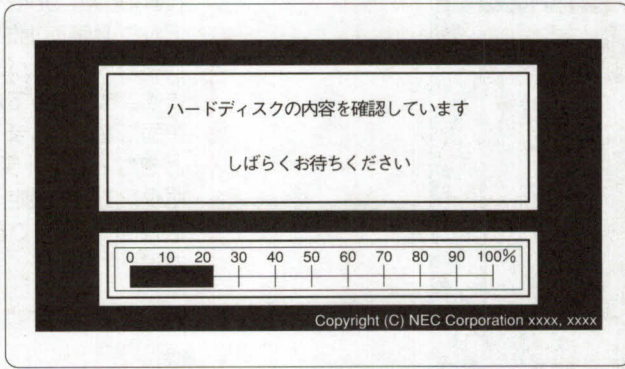


6 キーボードの  (Enterキー) を押します。





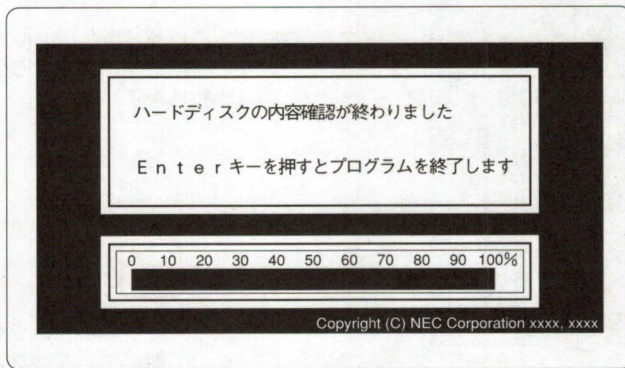
ハードディスクをチェックするプログラムが起動し、自動的にハードディスクがチェックされます。



ハードディスクをチェックするプログラムが表示されないときは、ハードディスクに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。



チェックが終わり、ハードディスクが正常なことが確認されると、次の画面が表示されます。



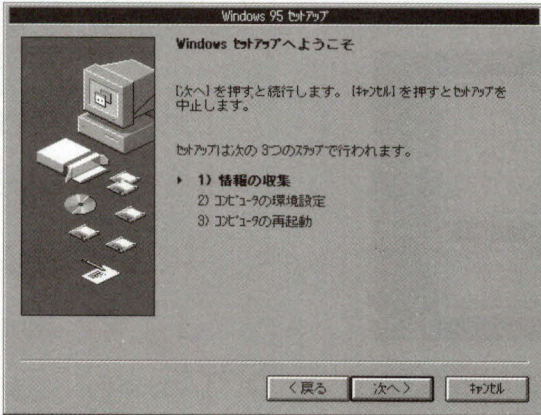
ハードディスクをチェックするプログラムは、購入後、初めて電源をONにしたときだけ表示されます。ハードディスクに異常がないと判断されると、このプログラムはハードディスクから削除されます。

7 キーボードの  (Enterキー) を押します。



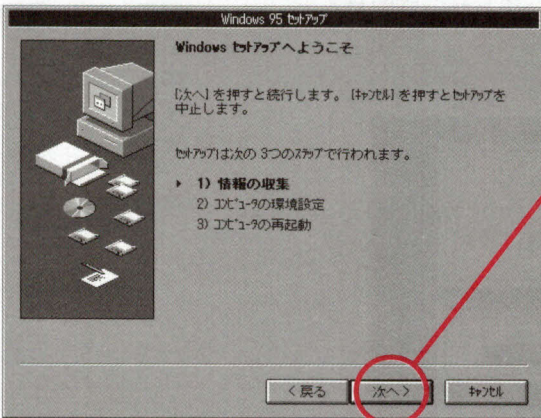


しばらくすると、[Windows セットアップへようこそ] の画面が表示されます。



[Windows 95セットアップ] 画面上には、[戻る] ボタンがあります。まちがって次の画面に進んでしまったときなどは、[戻る] ボタンで前の設定画面に戻ることができます。

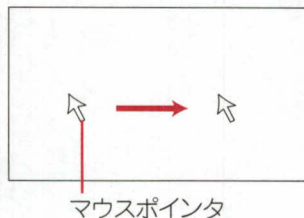
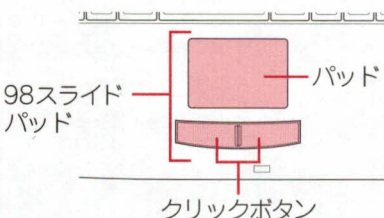
8 98スライドパッドを使って、[次へ] ボタンにマウスポインタを合わせます。



これが [次へ] ボタンです。ここにマウスポインタを合わせます。

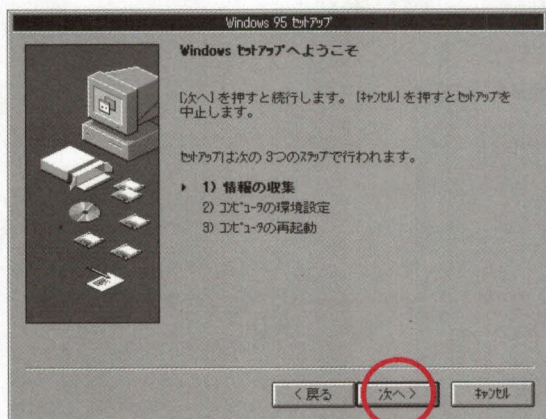
マウスポインタの合わせかた

98スライドパッド上で指を動かします。指を動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の矢印が動きます。



・マウスポインタを移動して、マウスポインタの先端をボタンなどに合わせることをポイントといいます。
・指がパッドの端まで到達してしまったときは、いったん指をパッドからはなしてから置きなおします。指をはなしている間はマウスポインタは動きません。

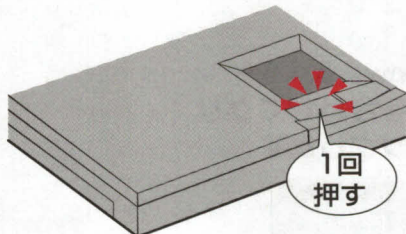
9 [次へ] ボタンをクリックします。



このボタンをクリックします。

クリックのしかた

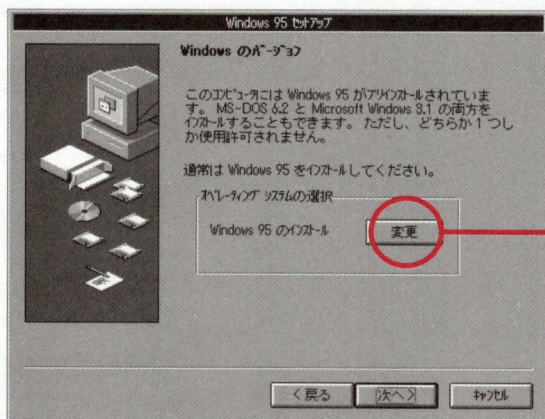
98スライドパッドのクリックボタンを1回押すことをクリックといいます。左のボタンを押すことを左クリック、右のボタンを押すことを右クリックといいます。



このマニュアルでは、「クリック」とだけ書いてある場合は、左ボタンを押すことを示しています。

10 使用するOSを選択します。

Windows 95ではなく、MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用しますので、[変更]ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

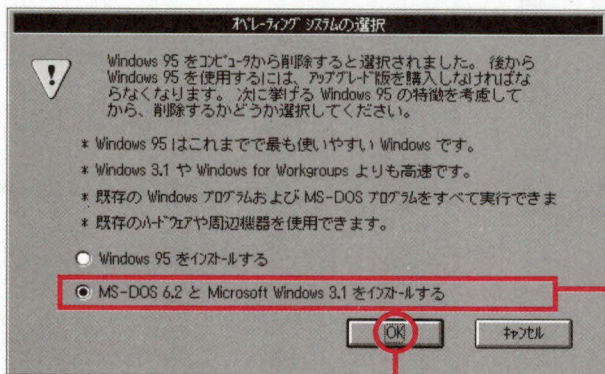


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



両方のOSを使用することはできません。MS-DOS 6.2とWindows 3.1を選択するとWindows 95はハードディスクから削除されます。

11 [MS-DOS 6.2とMicrosoft Windows 3.1をインストールする] にマウスポインタを合わせてクリックしてから [OK] ボタンをクリックします。



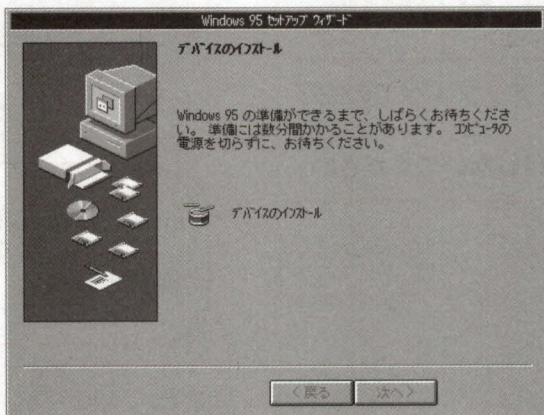
①ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

②ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

12 [オンライン使用許諾契約書] の画面が表示されます。内容をよくお読みになり、[同意する] ボタンをクリックします。

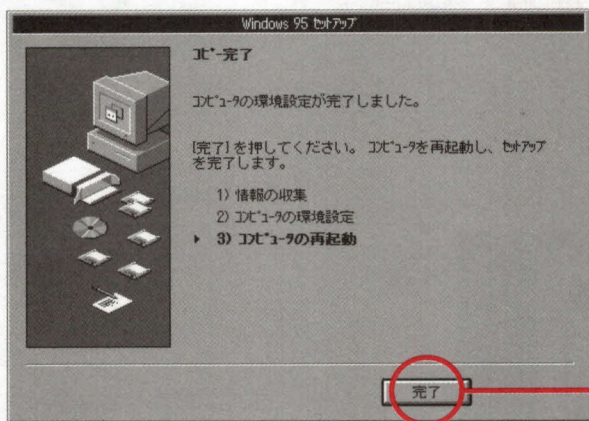


[デバイスのインストール] の画面が表示されます。



画面のメッセージに従って約7分間お待ちください。

13 [完了] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

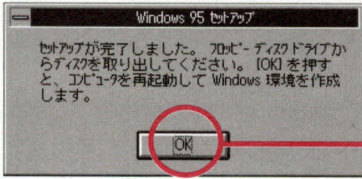


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。ここでは、絶対に電源をOFFにしないでください。

14 [OK] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合はフロッピーディスクを取り出してください。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。
ここでは、絶対に電源をOFFにはしないでください。



「ピポッ」という音がして画面が一瞬、真っ暗になります。



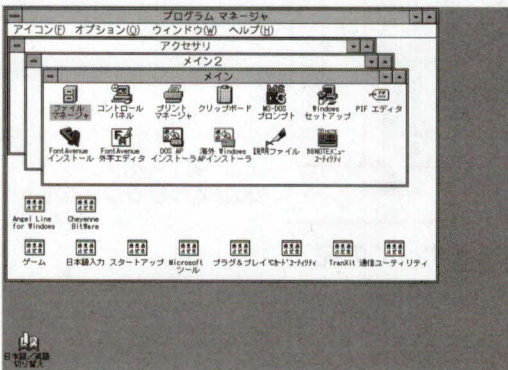
自動的に本機が再起動します。



本機が自動的に再起動してWindows 3.1が起動するまでの間、時間がかかる場合がありますが、絶対に電源をOFFにしないでください。



Windows 3.1が起動します。



これでセットアップが完了し、MS-DOS 6.2とWindows 3.1が使えるようになりました。次に、本機の電源をOFFにする手順を説明しますので、続けて操作してください。

電源をOFFにする

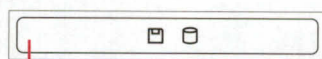
すぐに本機を使ってみたいところですが、ここでは、その前に正しい電源のOFFのしかたを覚えましょう。

きちんと手順を守ってOFFにしないと、本機が正常に動かなくなってしまうこともあります。

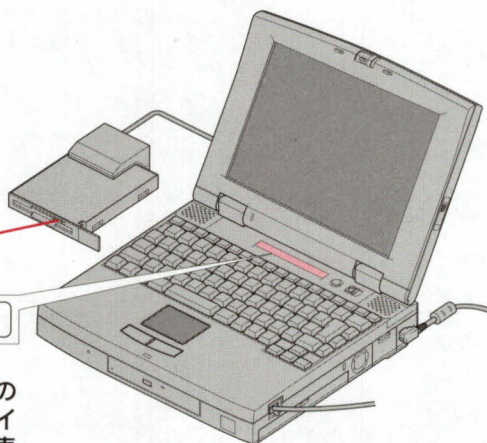
1 電源をOFFにする前に次のことを確認してください。

- ①フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認してください。

イジェクトボタン



- ②ステータスインジケータのフロッピーディスクドライブ表示とハードディスク表示が点滅していないことを確認してください。



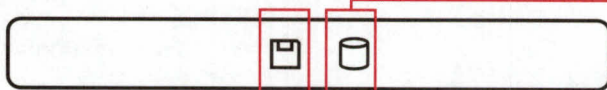
これまでの手順では、フロッピーディスクは使用していませんが、電源をOFFにするときは必ずフロッピーディスクがセットされたままになっていないか確認するようにしましょう。

もし、フロッピーディスクがセットされていた場合には、イジェクトボタンを押して取り出してください(P.40)。



ステータスインジケータ

ステータスインジケータは、本機の動作状態を示すためのものです。フロッピーディスクやハードディスクのデータを読み書きしているときには、それぞれのマークが点滅します。



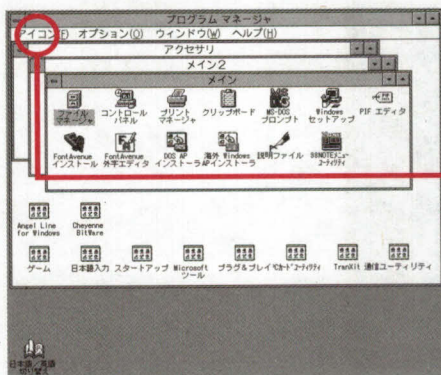
フロッピーディスクドライブ表示

このマークが点滅しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。データが壊れることがあります。また、フロッピーディスクやフロッピーディスクドライブのヘッドを傷める原因となります。

ハードディスク表示

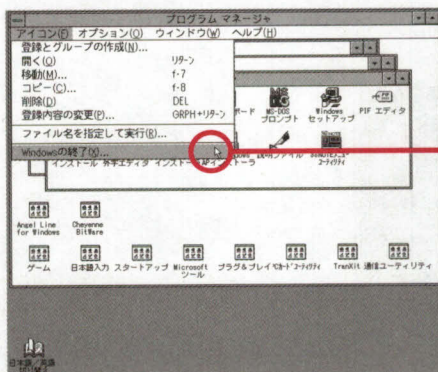
このマークが点滅しているときは、絶対に電源をOFFにしないでください。データが壊れることがあります。

2 プログラムマネージャの [アイコン] メニューにマウスポインタを合わせてクリックします。



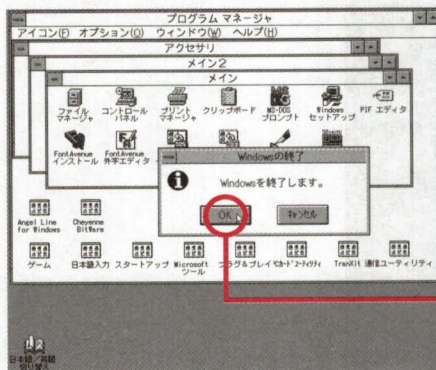
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

3 プルダウンメニューの [Windowsの終了] にマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

4 [Windowsの終了] ダイアログボックスが表示されるので、[OK] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

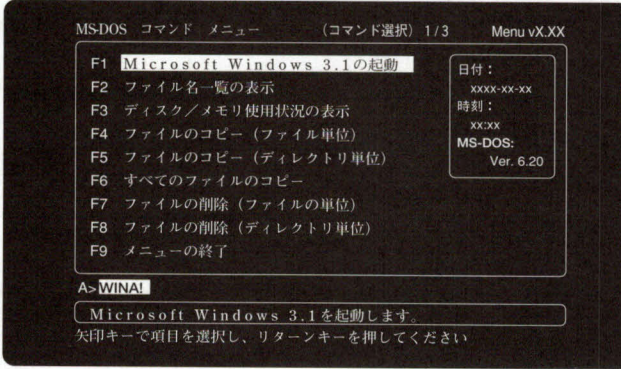


ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

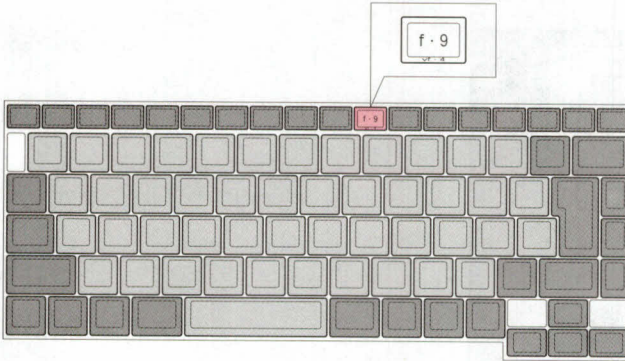




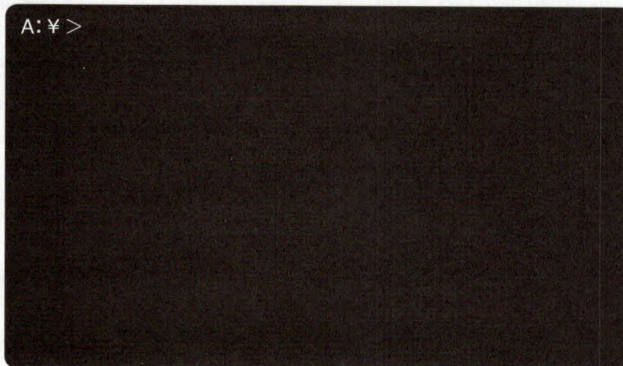
[MS-DOSコマンドメニュー] 画面が表示されます。



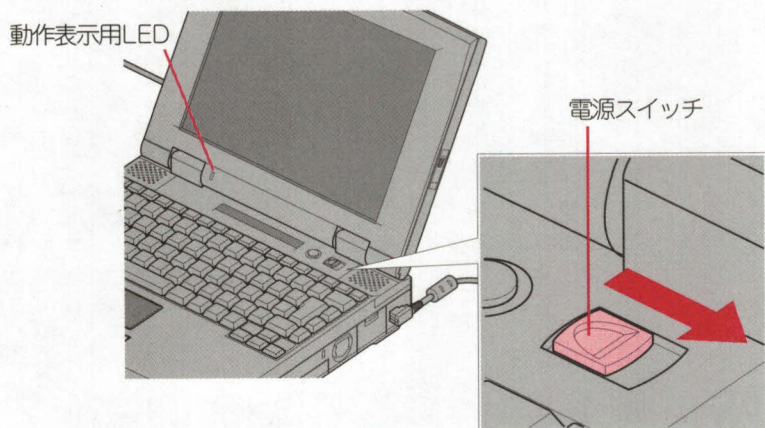
5 キーボードの **f・9** を押します。



次のような画面が表示されます。



6 本機の電源スイッチを右へスライドさせます。



本機の動作表示用LEDが消えます。
これで電源がOFFになりました。



- 電源がきちんとOFFになったかどうかは、必ず動作表示用LEDの消灯により確認してください。電源がONのまま本機を持ち運ぶと、振動により、本機内部のハードディスクが故障する原因となります。
- 旅行などで長期間本機を使用しないときは、安全のため、電源コードをACコンセントから抜いてください。

Part 4

基本操作を覚える (Windows 95をお使いの場合)

ここでは、本機を使う上で必要な基本操作について説明しています。
文字を入力したり、絵を描いたりしながら、基本的な操作を身につけましょう。

- 2回目からの電源のON/OFFのしかた
- アプリケーションソフトを起動する
- ウィンドウを操作する
- 文字を入力する
- 絵を描く

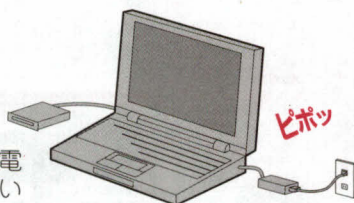
MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する方は、別紙の『Microsoft Windows 3.1を使用される方へ』をご覧ください。MS-DOS 6.2とWindows 3.1のマニュアルを入手してください。MS-DOS 6.2とWindows 3.1の操作については、それぞれのマニュアルをご覧ください。

最初から順に読んで基本的な操作を身につけましょう

まず、電源のON/OFFとアプリケーションソフトの基本操作を覚えよう

- ・電源のON/OFFのしかた
- ・アプリケーションソフトを起動する
- ・ウィンドウを操作する

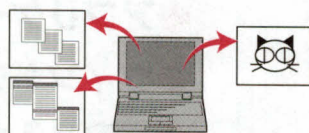
デスクトップからアプリケーションソフトを起動してみます。電源のON/OFFができるようになったら、デスクトップの使いかたとアプリケーションソフトの起動のしかたを覚えましょう。



次に、アプリケーションソフトを使って基本操作を練習しよう

- ・文字を入力する
- ・絵を描く

実際にアプリケーションソフトを使いながら各アプリケーションソフトに共通の操作を練習しましょう。ワープロソフトを使ったり、絵を描いたりしてパソコンを自由に使ってみましょう。



ここまで来れば、もう一安心。どんどん使って操作を覚えましょう。

2回目からの電源のON/OFFのしかた

では、電源をONにして、練習を始めましょう。また、練習を途中でやめなくなったときのために、電源のOFFのしかたも説明しているので、はじめに読んでおいてください。

電源をONにする

1 電源をONにする前に、次のことを確認してください。

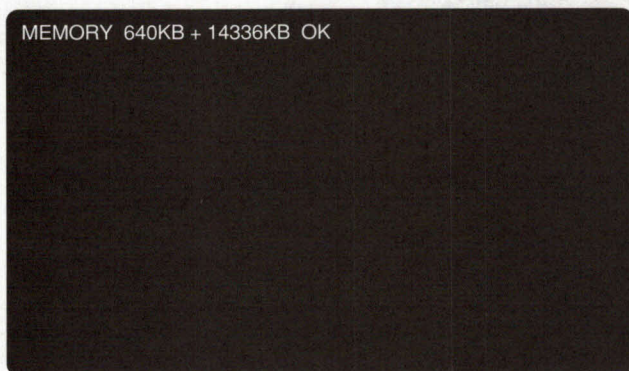
- ・フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと
- ・ACアダプタが正しく接続されていること

2 本機の電源スイッチを右にスライドさせます。

動作表示用LEDが点灯し、「ピポッ」と音がします。
これで電源がONになりました。



しばらくすると、画面左上にメモリチェックが表示されます。



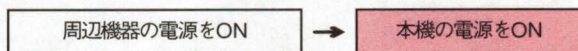
電源をONにする順序

本機に添付品以外の機器を接続したときには、次の順序で電源をONにしてください。

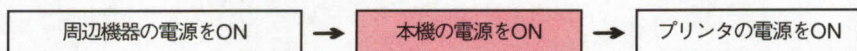
- ・プリンタを接続しているとき



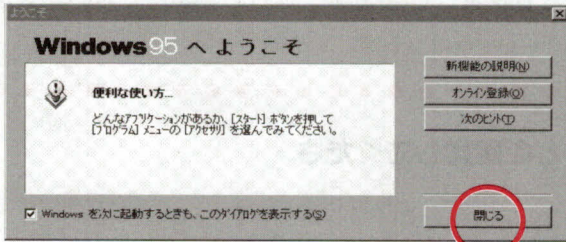
- ・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき



- ・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき



3 しばらくすると、[Windows 95へようこそ] の画面が表示されます。[閉じる] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



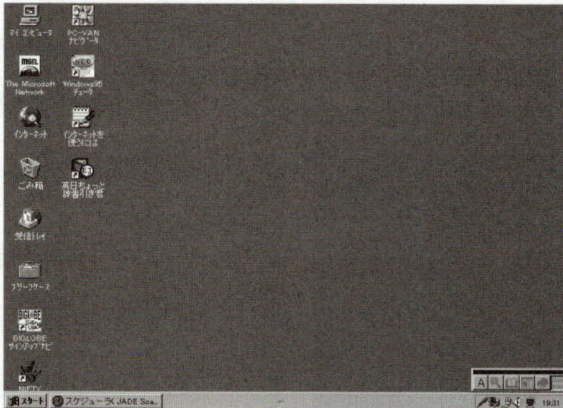
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



この画面を表示させないようにするには、「 Windows を次に起動するときも、このダイアログを表示する(S)」の の部分をクリックして、 にしてください。次回 Windows を起動したときには、この画面は表示されなくなります。



Windows 95のデスクトップの画面が表示されます。

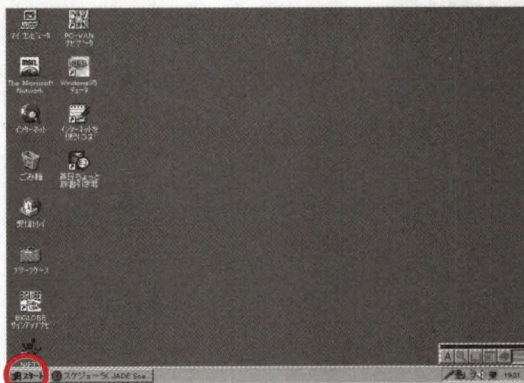


電源をOFFにする

1 電源をOFFにする前に次のことを確認してください。

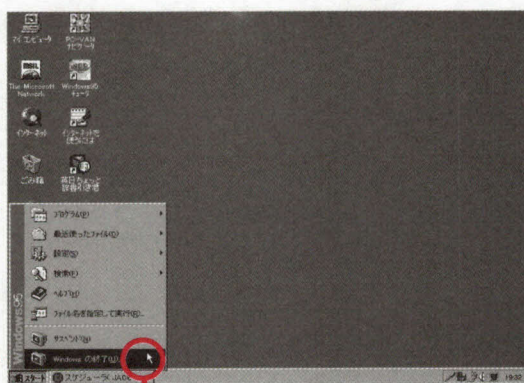
- ・フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと
- ・ステータスインジケータのフロッピーディスクドライブ表示とハードディスク表示が点滅していないこと

2 [スタート] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

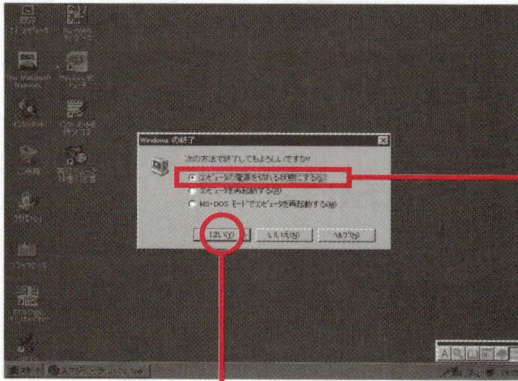
3 表示されたスタートメニューから、[Windowsの終了] にマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

これがスタートメニューです。

- 4** [コンピュータの電源を切れる状態にする] がチェックされている状態で、[はい] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



①ここが選択されていることを確認します。

②ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

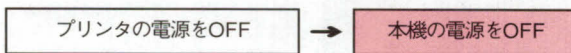
「しばらくお待ちください」と表示されたあと、動作表示用LEDが消え、自動的に本機の電源がOFFになります。



電源をOFFにする順序

本機に添付品以外の機器を接続したときには、次の順序で電源をOFFにしてください。

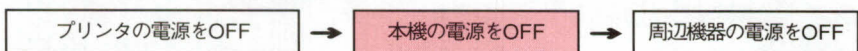
- ・プリンタを接続しているとき



- ・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき



- ・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき



アプリケーションソフトを起動する

電源のON/OFFのしかたを覚えたら、アプリケーションソフトの起動と終了のしかたを練習しましょう。

デスクトップの画面

本機の電源をONにすると、このデスクトップが表示されます。

マイコンピュータ
本機を表しています。このアイコンをダブルクリックすると、本機の内容を見ることができます。

ごみ箱
不要になったファイルを捨てる場所です。

スタートボタン
アプリケーションソフトを起動するためのボタンです。

デスクトップ
Windowsでいろいろな作業をするところです。アプリケーションソフトのウィンドウが開かれます。

タスクバー
ここでは、現在起動中のアプリケーションソフトの名前が表示されます。タスクバーに表示されているアプリケーションソフト名をクリックすると、アプリケーションソフトを切り替えることができます。



用語解説

アプリケーションソフト

文書を作る、絵を描く、ゲームをするといった、特定の目的のために作られたプログラムのことです。

アイコン

機能や命令を表した絵文字です。アイコンにマウスポインタを合わせてクリックすると、機能が実行されます。

起動する

OSやアプリケーションソフトなどのプログラムを実行させることです。

ダブルクリック

98スライドパッドのクリックボタンをすばやく2回押すことです。2回押すときの速度は、使いやすいように調整することができます。このマニュアルで「ダブルクリック」と書いてあるときは、左のクリックボタンをダブルクリックすることを示しています。

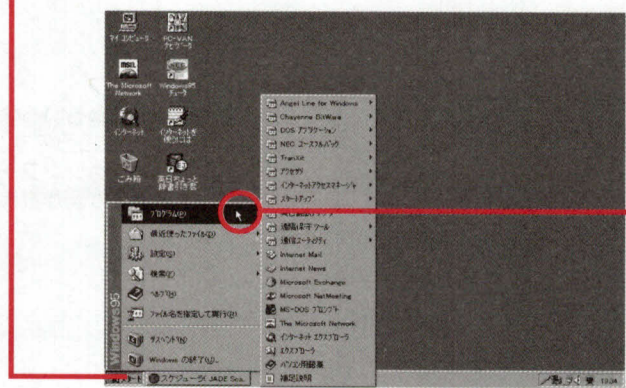


アプリケーションソフトを起動する ●●●●●●●●●●

では、アプリケーションソフトを起動してみましょう。ここでは、「ワードパッド」を起動してみます。「ワードパッド」は、ワープロの機能を持ったアプリケーションソフトです。

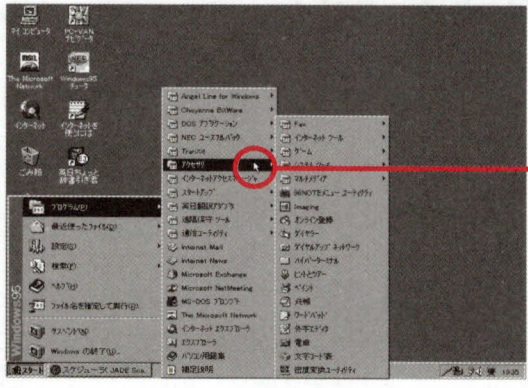
1 スタートメニューの中から「プログラム」にマウスポインタを合わせます。

①[スタート]ボタンをクリックします。



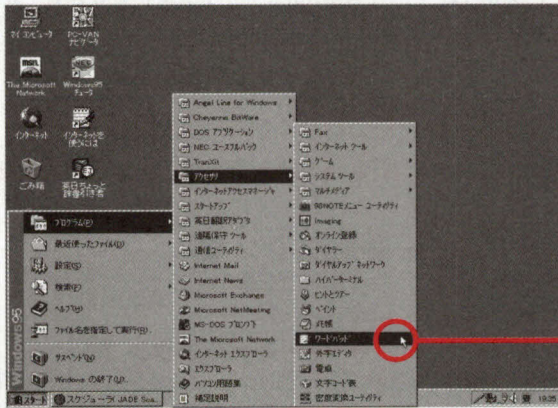
②スタートメニューにある「プログラム」に、マウスポインタを合わせます。

2 「プログラム」のメニューの中から「アクセサリ」にマウスポインタを合わせます。



「プログラム」の一覧にある「アクセサリ」に、マウスポインタを合わせます。

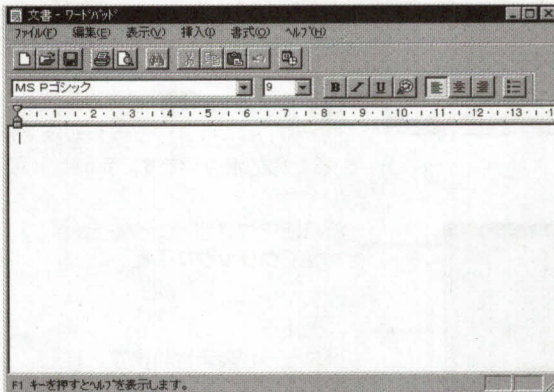
3 「アクセサリ」のメニューの中から「ワードパッド」をクリックします。



「ワードパッド」をクリックします。



ワードパッドが起動します。



ウィンドウを操作する

アプリケーションソフトのウィンドウは、どれも基本的に同じ要素で構成されています。ウィンドウの各部分の役割を覚えて、ウィンドウを自由自在に操作できるようにしましょう。では、先ほど起動したワードパッドのウィンドウを使って操作を練習してみましょう。

ウィンドウ各部の説明

タイトルバー

アプリケーションソフトの名前やファイル名などが表示されています。

最小化ボタン

ウィンドウを最小化して、タスクバーに表示します。

最大化ボタン

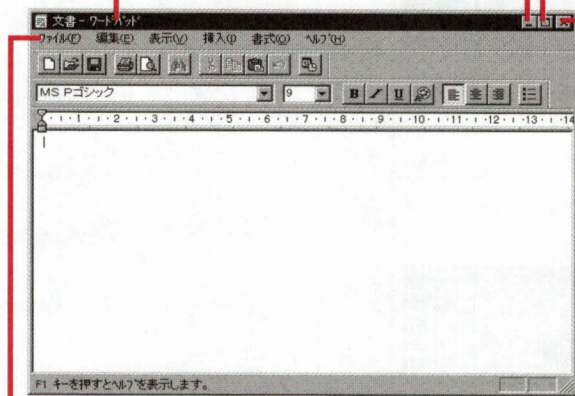
ウィンドウを画面いっぱいに表示します。すでに画面いっぱいに表示されているときは、このボタンは、もとのサイズに戻すボタンになっています。

もとのサイズに戻すボタン

ウィンドウをもとのサイズに戻すためのボタンです。もとのサイズとは、ウィンドウを画面いっぱいの表示にする直前のウィンドウのサイズのことです。

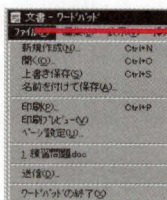
終了ボタン

アプリケーションソフトを終了するためのボタンです。



メニューバー

各アプリケーションソフトでできる操作が表示されています。文字の部分をクリックすると、さらに詳しいメニューが表示されます。



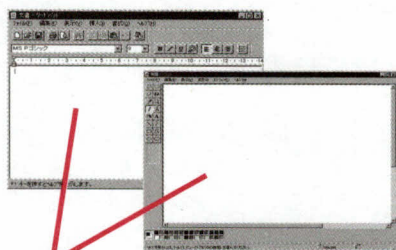
ここにマウスポインタを合わせてクリックすると

このようにメニューが表示されます。



ウィンドウとは

ウィンドウは作業を行う仕事場のようなものです。アプリケーションソフトを起動すると、そのアプリケーションソフトのウィンドウが開かれ、作業ができるようになります。ウィンドウは、同時にいくつも開くことができるので、複数の作業を同時進行で行うことができます。ワードパッドだけでなく、いろいろなアプリケーションソフトを起動してウィンドウを開いてみましょう。



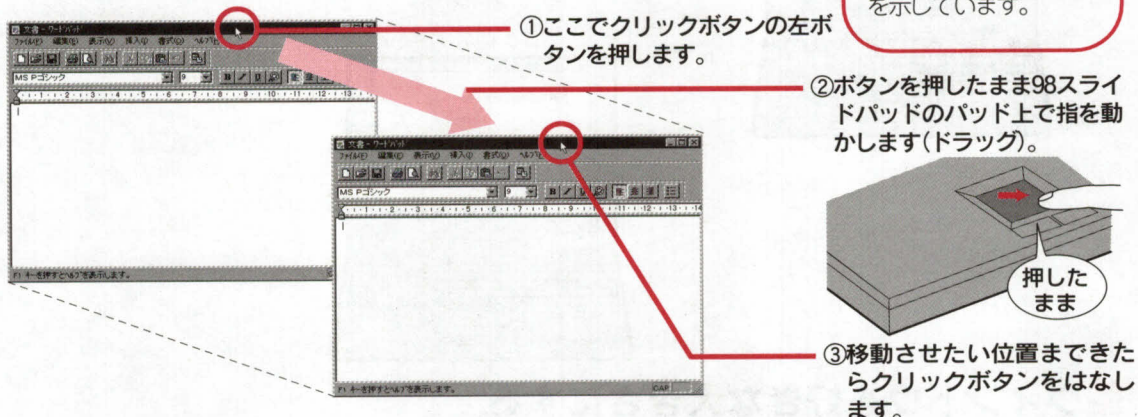
これらそれぞれがウィンドウです。

ウィンドウを移動する

ウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。
ウィンドウを移動させても大きさは変わりません。

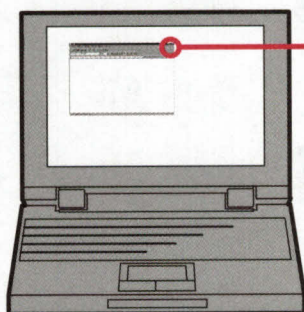


ドラッグとは、クリックボタンを押したままパッド上で指を動かすことです。ここでは左のクリックボタンを押してドラッグすることを示しています。



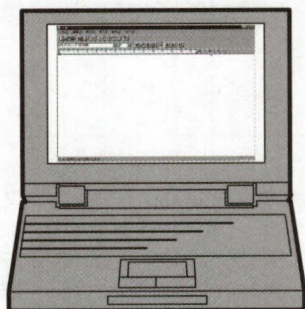
ウィンドウのサイズを変更する

■ウィンドウを画面いっぱいに表示させる



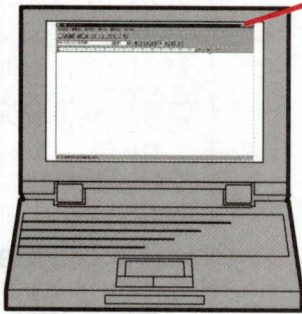
ウィンドウの右上にある最大化ボタン(■)をクリックします。

ウィンドウが画面いっぱいに表示されます。



最大化ボタン(■)は一度クリックすると、もとのサイズに戻すボタン(□)に変わります。また、すでにウィンドウが画面いっぱいに表示されているときも、もとのサイズに戻すボタンになっています。

■ ウィンドウをもとのサイズに戻す

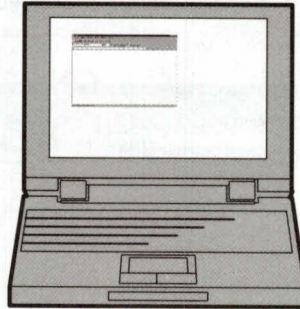


ウィンドウの右上にあるもとのサイズに戻すボタン(☐)をクリックします。

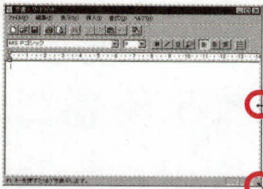


もとのサイズとは、ウィンドウを画面いっぱいに表示する直前のウィンドウのサイズのことです。

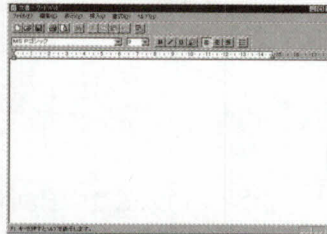
ウィンドウがもとの大きさに戻ります。



■ ウィンドウを好きな大きさにする



ウィンドウの枠の部分にマウスポインタを合わせると、マウスポインタの形が、(位置によっては↑、←など)に変わります。この状態のときにドラッグするとウィンドウの大きさが変わります。好きな大きさになったところでクリックボタンをはなしてください。

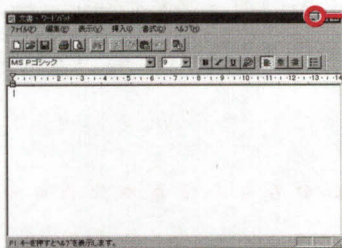


こんなときは？

ウィンドウをたくさん開きすぎて、使いたいアプリケーションソフトのウィンドウがなくなってしまった(隠れてしまった)。

起動しているアプリケーションソフトはタスクバーにすべて表示されています。使いたいアプリケーションソフトの名前をクリックすると、隠れていたウィンドウが一番前に表示されます。

■ウィンドウを最小化する



ウィンドウの右上にある最小化ボタン(—)をクリックします。



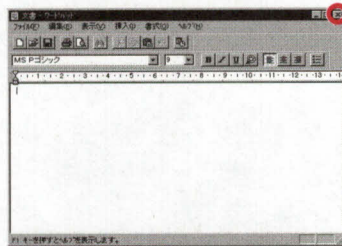
ウィンドウが最小化され、タスクバーにのみ表示されます。しかし、この状態では、アプリケーションソフトは終了していません。タスクバーに表示されているアプリケーションソフト名を左クリックすると、すぐにウィンドウを開くことができます。



ウィンドウはいくつでも開くことができますが、たくさん開きすぎると画面が見にくくなります。そこで、作業をしていないアプリケーションソフトはウィンドウを最小化しておき、作業するときだけ、ウィンドウを開くようにすると、画面がすっきりします。

アプリケーションソフトを終了する

作業が終わったら、アプリケーションソフトを終了します。アプリケーションソフトでの作業に入る前に、ここで終了のしかたを覚えておきましょう。



ウィンドウの右上にある終了ボタン(X)をクリックします。



ワードパッドの画面が消えます。今回は、ウィンドウを最小化しただけではないので、タスクバーの表示も消えています。これで、ワードパッドは終了しました。



こんなときは？

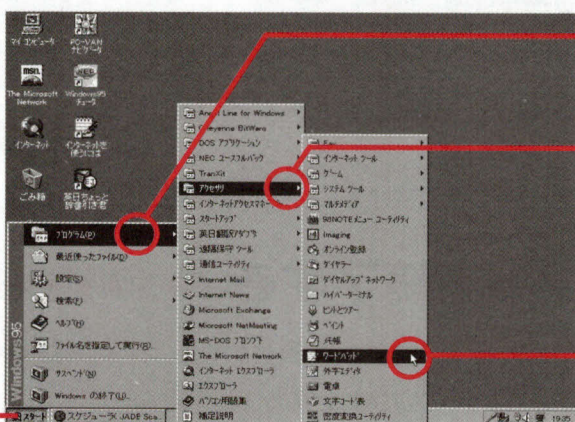
アプリケーションソフトを終了しようとしたときに、「保存してください」というようなメッセージが表示されることがあります。これは、そのアプリケーションソフトで作業した内容が、パソコンの中に保存されていないためです。作業内容を保存しておきたい場合は、作業した内容をファイルに保存してください。保存のしかたについては、P.90で説明しています。

文字を入力する

ウィンドウの基本操作がわかったところで、実際にアプリケーションソフトを使ってみましょう。まずは、文字の入力をしてみましょう。ここでは、「ワードパッド」を使ってみます。

ワードパッドを起動する

① [スタート] ボタンをクリックします。



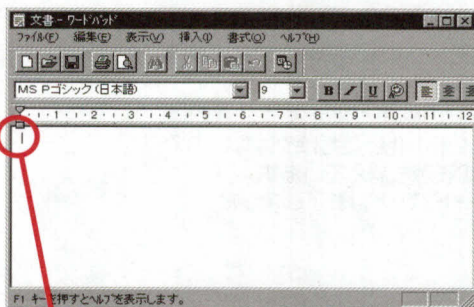
② スタートメニューにある [プログラム] に、マウスポインタを合わせます。

③ [プログラム] の一覧にある [アクセサリ] に、マウスポインタを合わせます。

④ [アクセサリ] の一覧から [ワードパッド] をクリックします。



ワードパッドが起動します。




画面にこのようなマークが点滅しています。これを「カーソル」といいます。文字を入力するとカーソルのある位置に表示されます。

日本語入力システム

漢字やひらがなを入力するには、日本語入力システムが必要です。日本語入力システムには、いくつかの種類があります。本機では、MS-IME95、NECAIIME95という日本語入力システムを使うことができます。



NECAIIME95を使うには、タスクバーのをクリックします。使用できる日本語入力システムが一覧表示されるので、その中から[NECAIIME95 2.0]をクリックします。

日本語入力をONにする

電源をONにした直後は、日本語入力システムが使えるようになっていません。そこでまず、日本語入力をONにして、日本語入力システムが使えるようにします。

①タスクバーの日本語入力インジケータをクリックします。



② [日本語入力-オン] をクリックします。

(モデルによって、位置が異なることがあります。)

[日本語入力インジケータ]の形が変わります。また、日本語入力システムのツールバーが表示され、日本語が入力できる状態になります。

日本語入力OFF




日本語入力ON



- ・MS-IME95は、日本語入力がOFFのときでも、ツールバーが薄く表示されています。
- ・ツールバーが表示されないときは、日本語入力インジケータをクリックして、表示されるメニューの中の「ツールバーを表示」をクリックしてください。



日本語入力がOFFのとき

日本語入力がOFFのときには、半角の英数字が入力できます。**かな**を押すと、ステータスインジケータにかなキーロック表示()が表示されて、半角のカタカナが入力できます。半角の文字とは、日本語入力がONのときに入力できる漢字やひらがなと比べて、文字幅が半分になっている文字のことです。

文字入力の基本

漢字やひらがななどを入力するときは、次の手順で入力していきます。

①読みを入力する→②変換する→③確定する

読みの入力のしかた

読みの入力のしかたには、「ローマ字入力」と「かな入力」があります。

入力のしかた

(例)「しっぽ」と入力する場合

・ローマ字入力

ローマ字入力は、キーに書かれているアルファベットを使って、ローマ字で読みを入力する方法です。

S I P P O と押します。

・かな入力

かな入力は、キーに書かれているひらがなを使って、読みを入力する方法です。

シ SHIFT + シippo と押します。

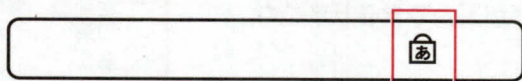


SHIFT + シ のように「+」でつないでいるキーは、「SHIFT」を押しながら「シ」を押すということを表しています。

●ローマ字入力とかな入力の切り替えかた

ご購入時には、ローマ字入力ができる状態になっています。

かな入力にしたい場合は、キーボードの「かな」を押してください。かな入力を選択されているときは、ステータスインジケータのかなキーロック表示が表示されています。



かなキーロック表示

ローマ字入力に戻したいときは、もう一度「かな」を押します。かなキーロック表示が消えます。



ローマ字入力とかな入力の違い

かな入力は、50音全部のキーの位置を覚えなくてはなりませんが、入力するときに押すキーの数は少なくてすみます。一方、ローマ字入力は、5つの母音(a i u e o)と10数個の子音の組み合わせで入力するので、覚えるキーの数が少なくてすみます。しかし、入力するときに押すキーの数は、かな入力よりも多くなります。ローマ字入力は、アルファベットで読みを入力するため、英字の多い文章を入力するときに適しています。

■漢字を入力する

漢字を入力してみます。「子猫」と入力してみましょう。

1 読みを入力します。

ローマ字入力： **K O N E K O** と押してください。

かな入力： **こねこ** と押してください。

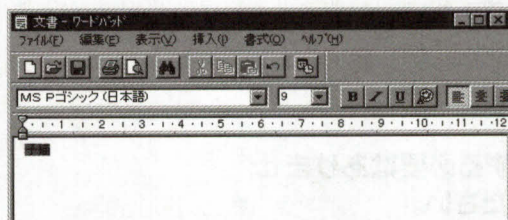
画面表示が次のように変わります。



2 漢字に変換します。

(スペースキー) を押してください。

画面表示が次のように変わります。



☕ 文字入力のヒント①

・入力間違えたときは？

- ・読みを入力しているときに間違いに気づいたときは、**[BS]** を押すと、カーソルの左側にある文字が1文字ずつ消えていきます。間違えたところから入力し直してください。
- ・確定したあとで間違いに気づいたときは、**[BS]** を押すと、カーソルの左側にある文字が1文字ずつ消えていきます。もう一度読みから入力し直してください。

・正しい漢字に変換されないときは？

- ・ (スペースキー) を1回押すと、次の変換候補が表示されます。また、正しい漢字でない場合は、もう一度 を押すと、変換候補の一覧が表示されます。 を押すたびに、反転表示が移動していきます。反転表示が正しい漢字のところに合ったら、 (Enterキー) を押してください。

- 3** 確定します。
⏏ (Enterキー) を押してください。



■ ひらがなを入力する

ひらがなを入力してみます。「しっぽ」と入力してみましょう。

- 1** 読みを入力します。

ローマ字入力: **S I P P O** と押してください。

かな入力 : **し SHIFT + つ ほ** と押してください。



- 2** 確定します。
ひらがなのままでよいので、変換する必要はありません。
⏏ (Enterキー) を押してください。



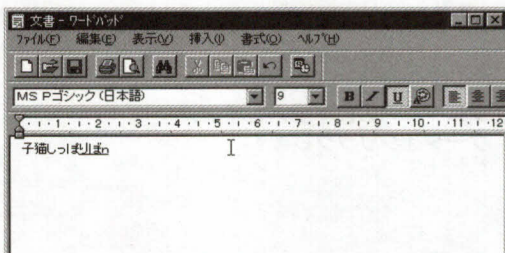
■カタカナを入力する

カタカナを入力してみます。「リボン」と入力してみましよう。

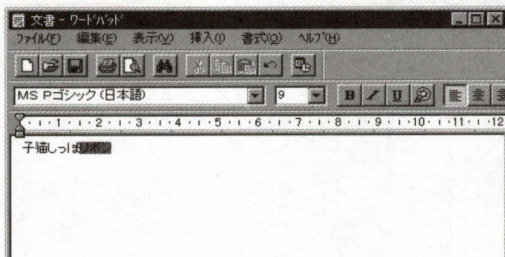
1 読みを入力します。

ローマ字入力： **R I B O N** と押してください。

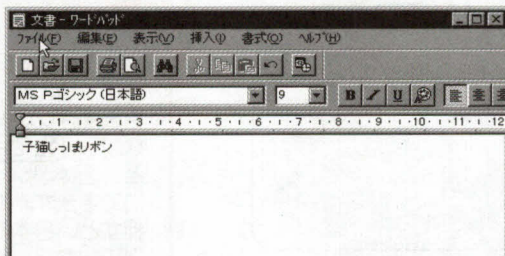
かな入力 : **りほ ん** と押してください。



2 カタカナに変換します。 キーボード上部にある **f・7** を押してください。



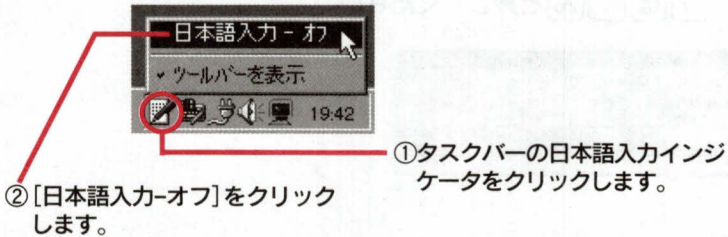
3 確定します。 **Enter** (Enterキー) を押してください。



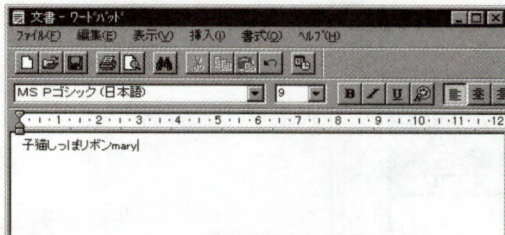
■英字を入力する

英字を入力してみます。「mary」と入力してみましょう。英字は
いったん日本語入力をOFFにしてから入力します。

1 日本語入力をOFFにします。



2 英字を入力します。 M A R Y と押してください。



大文字にしたい場合は、「mary」と入力する前に、**[CAPS]**を押しておきます。

次に日本語を入力するときのために、日本語入力をONしておきます。

文字入力は、たくさん入力して慣れていくことが大切です。基本を理解したら、次の例文を入力してみましょう。**[BS]**を押して、これまで入力した文字を消してください。

例題

うちの子猫maryを紹介します！
耳は茶色、しっぽに赤いリボンがついています。
血統書付きのベルシャ猫です。



キーボードを使って、日本語入力のON/OFFを切り替えることもできます。**[CTRL]**を押しながら、**[XFER]**を押すと、日本語入力をONにできます。もう一度押すと、日本語入力がOFFになります。

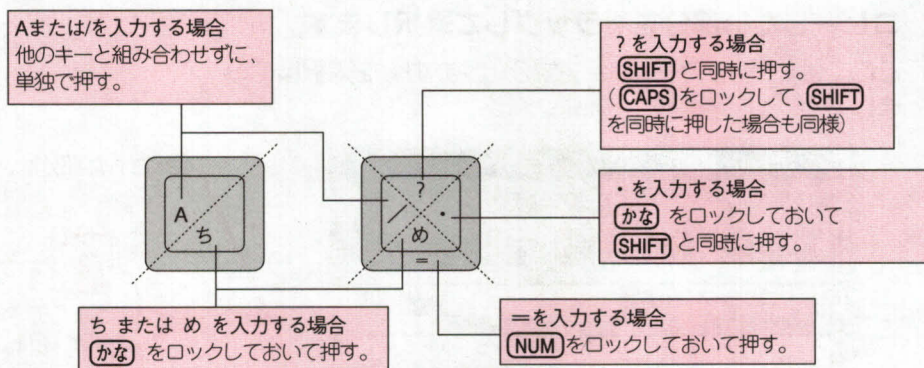


文字入力のヒント②

「」や「?」を入力するには?

キーには、一つのキーにいくつかの文字や記号が書かれています。これは、キーの数が多すぎて使いにくくならないように、一つのキーに何種類かの文字や記号が割り当ててあるため、**SHIFT**、**CAPS**、**かな**と組み合わせることで、入力したい文字や記号が入力できるようになっています。

(例) **A** **?** の場合



改行をするときは?

(Enterキー) を押すと、改行できます。

「,」や「。」を入力するときは?

「,」は を押すと入力できます。

「。」は を押すと入力できます。

かな入力の場合は、**SHIFT** を押しながら、 または を押します。

ファンクションキーを使ってみよう

キーボードの上部にある **f・6** ~ **f・10** のキーをファンクションキーといいます。ファンクションキーには、次のような役割があります。文字の入力に慣れてきたら、ファンクションキーを使って入力すると便利です。

f・6	ひらがなに変換します
f・7	カタカナに変換します
f・8	半角の文字に変換します
f・9	全角の英数字に変換します
f・10	半角の英数字に変換します

日本語入力について、詳しいことが知りたいときは?

各日本語入力システムについているヘルプをご覧ください。日本語入力システムのヘルプの使いかたは、『ステップアップガイド』のPart1の「キーボード」をご覧ください。

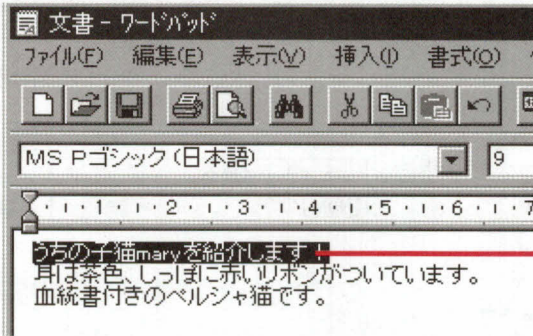
文章を編集する

Windowsのアプリケーションソフトの多くは、文章をコピーして同じ文を作ったり、文字を移動したりする機能を持っています。先ほど入力した例題を使って、コピーや移動の練習をしてみましょう。

■入力した文章のコピー（複製）を作る

1 コピーしたい部分をドラッグして選択します。

ここでは、「うちの子猫maryを紹介します」を選択してみましょう。

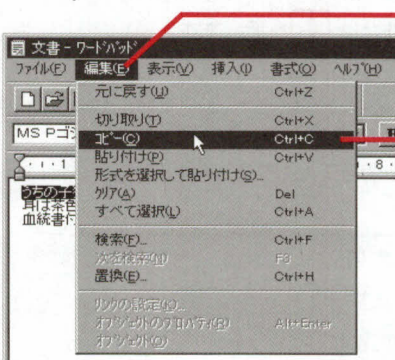


選択された部分は、反転表示されます。



うまくできなかった場合は、反転表示されていない部分を一度クリックしてから、もう一度やり直してください。

2 選択した部分をコピーします。



① [編集]メニューをクリックします。

② 表示されたメニューの中から [コピー] コマンドをクリックします。

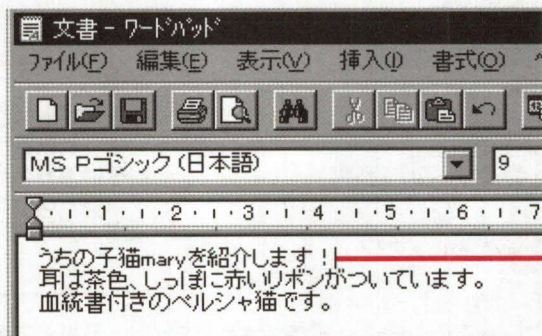
画面上は何も変わっていませんが、選択された部分はクリップボードにコピーされています。

🍵 クリップボードとは？

クリップボードは、コピーしたり、切り取ったりした文字などのデータを一時的に置いておくところです。

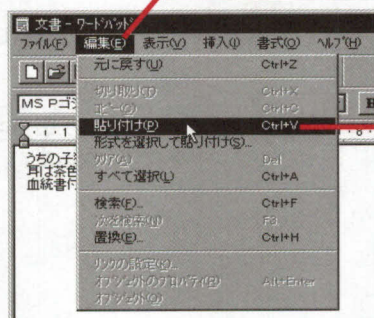
3 コピーした文章を貼り付けたい位置に、マウスポインタを移動してクリックします。

ここでは、「うちの子猫maryを紹介します!」のすぐ後に貼り付けてみましょう。



このあたりをクリックすると、カーソルが点滅します。

4 コピーした文字を貼り付けます。

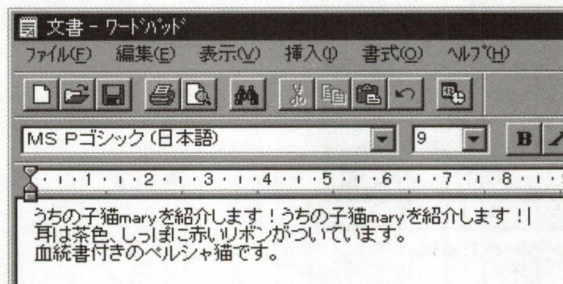


① [編集]メニューをクリックします。

②表示されたメニューの中から[貼り付け]コマンドをクリックします。



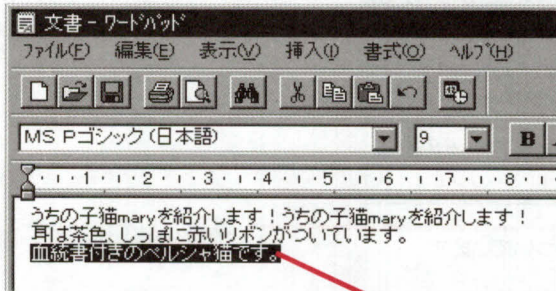
コピーした部分がクリップボードから貼り付けられます。



■ 入力した文章を移動する

1 移動したい部分をドラッグして選択します。

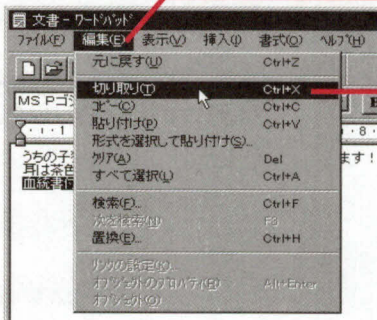
ここでは、「血統書付きのペルシャ猫です。」を選択してみましょう。



うまくできなかった場合は、反転表示されていない部分を一度クリックしてから、もう一度やり直してください。

選択された部分は、反転表示されます。

2 選択した部分を切り取ります。

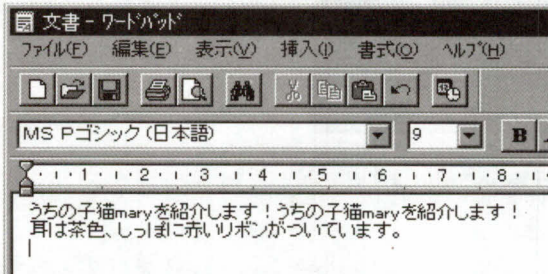


① [編集]メニューをクリックします。

② 表示されたメニューの中から [切り取り] コマンドをクリックします。

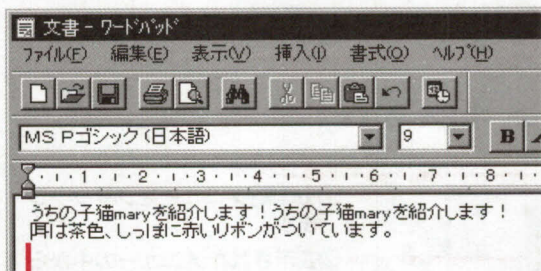


反転表示されていた部分がクリップボードに切り取られ、画面上から消えています。



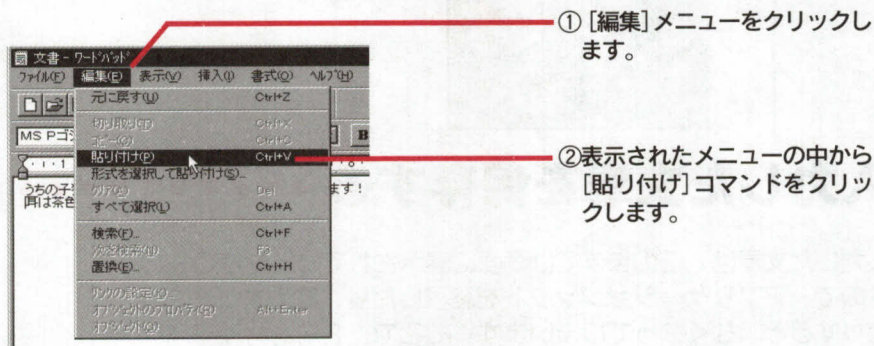
3 切り取った文章を貼り付けたい位置に、マウスポインタを移動してクリックします。

ここでは、「耳は茶色、」の前に貼り付けてみましょう。

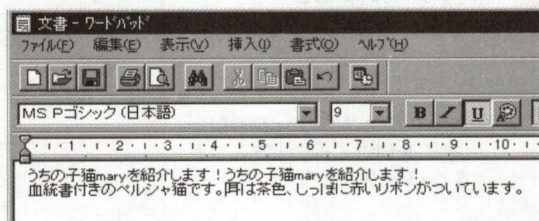


クリックすると、カーソルが点滅します。

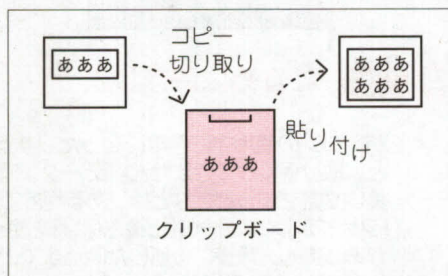
4 切り取った文字を貼り付けます。



切り取った文字がクリップボードから貼り付けられます。



このように、Windowsのほとんどのアプリケーションソフトでは、コピーや移動はクリップボードを使って行われています。次に「コピー」や「切り取り」をするまでは、クリップボードには前のデータが残っているので、電源をOFFにしないかぎり何回でも貼り付けることができます。

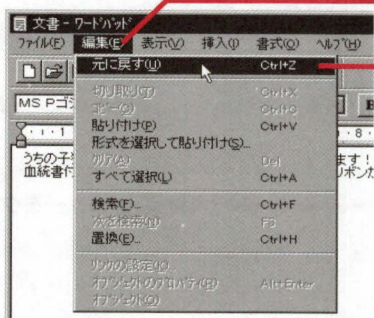


■操作を間違えたときは

コピーする部分をまちがえたり、貼り付ける位置を間違えたりしたときなど、操作を間違えてしまったときは、その操作をする直前の状態に戻すことができます。



操作内容によっては元に戻せない場合もあります。



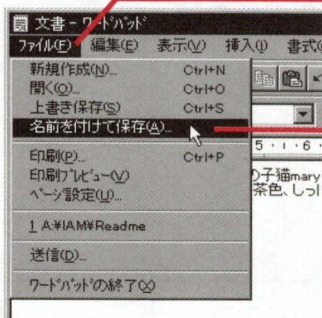
① [編集] メニューをクリックします。

②表示されたメニューの中から [元に戻す] コマンドをクリックします。

入力した文章を保存する

入力した文章は、このままでは画面に表示されているだけのものなので、アプリケーションソフトを終了したり、電源をOFFにしたりすると、なくなってしまいます。そこで、名前を付けてパソコン内に保存します。この保存されたものをファイルといいます。

1 文章を保存するためのダイアログボックスを開きます。



① [ファイル] メニューをクリックします。

②表示されたメニューの中から [名前を付けて保存] コマンドをクリックします。



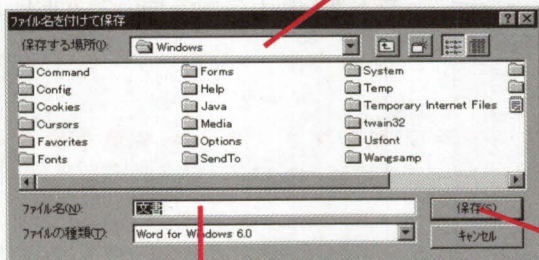
ダイアログボックスとは、項目の設定や確認情報の入力などをするときに、一時的に表示されるウィンドウのことです。



こまめに保存しよう

パソコンの使用中に停電になったりすると、保存していないデータは消えてしまいます。そうなってしまうと、取り返しがつきません。データが消えてしまうのを防ぐには、こまめに保存することが大切です。長い文書を作るときなどは、ある程度できあがったら [名前を付けて保存] でファイルに保存します。次からは、[ファイル] メニューの [上書き保存] を使って、変更した内容を更新していきます。そうすれば、何かトラブルがあっても、最後に更新した時点までの内容が残ることになります。

2 保存する場所とファイル名を入力します。



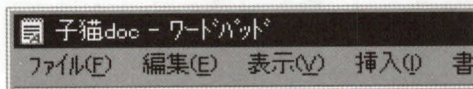
①保存する場所を選びます。
ここでは、[Windows] にし
ます。[Windows] が表示さ
れていることを確認してくだ
さい。

②ファイル名を入力します。
ここでは、「子猫」と入力しまし
ょう。漢字が入力でき
ない場合は、日本語入力OFFに
なっています。ONに
してください (P.79)。

③保存する場所とファイル名を
確認して、[保存] ボタンをク
リックします。



保存が終わると、タイトルバーのところにファイル名が
表示されます。



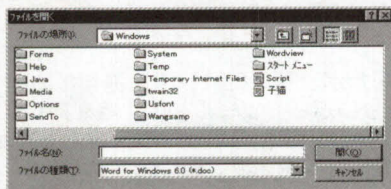
保存する場所は、あと
で変更することもできま
す (P.109)。

これで、「ワードパッド」での作業は終わりです。「ワードパッド」
を終了しましょう (P.77)。



保存したファイルを開くには

保存したファイルを開くときには、[ファイル]メ
ニューの[開く]コマンドを使って開きます。保存したとき
と同じように、[ファイルを開く]ダイアログボックス
が表示されたら、ファイルを保存した場所とファイル
名を選んで[開く]をクリックしてください。

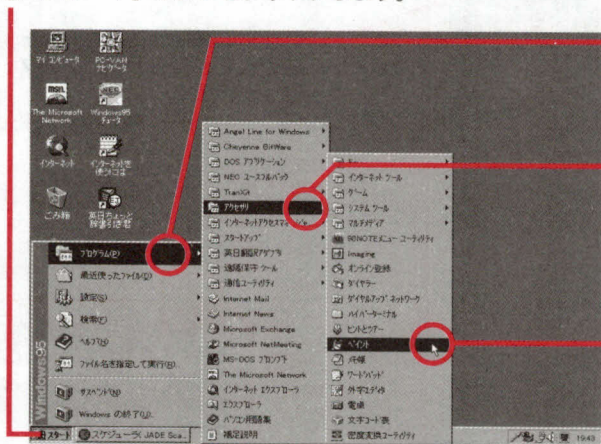


絵を描く

ここでは、絵を描くアプリケーションソフトを起動して絵を描いてみましょう。ここでは、「ペイント」を使ってみます。

ペイントを起動する

① [スタート] ボタンをクリックします。



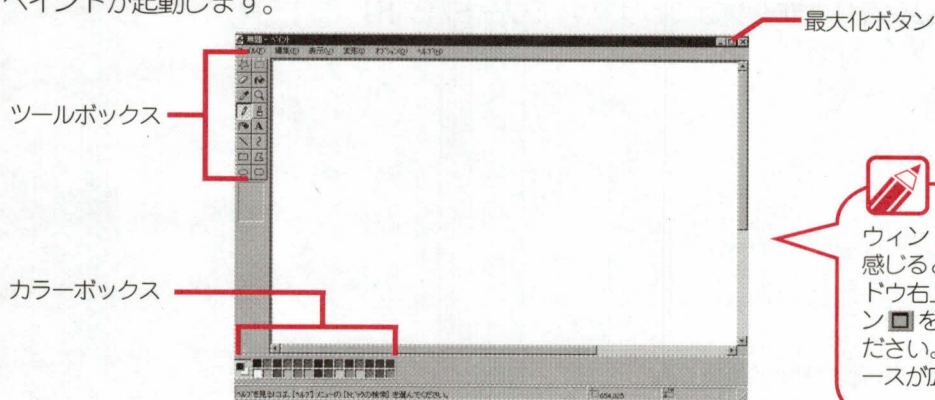
② スタートメニューにある [プログラム] に、マウスポインタを合わせます。


③ [プログラム] の一覧にある [アクセサリ] に、マウスポインタを合わせます。

④ [アクセサリ] の一覧から [ペイント] をクリックします。



ペイントが起動します。



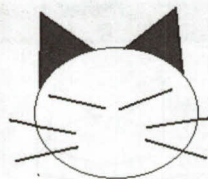
ウィンドウが小さいと感じるときは、ウィンドウ右上の最大化ボタン  をクリックしてください。絵を描くスペースが広くとれます。

ツールボックスとカラーボックス

ツールボックスには、円を描くための「楕円ツール」、直線を引く「直線ツール」、色を塗るための「塗りつぶし」ツールなど、絵を描くための道具が入っています。各ツールにマウスポインタを合わせると、そのツールの機能が表示されます。カラーボックスは、線の色や塗りつぶしの色を選ぶためのボックスです。

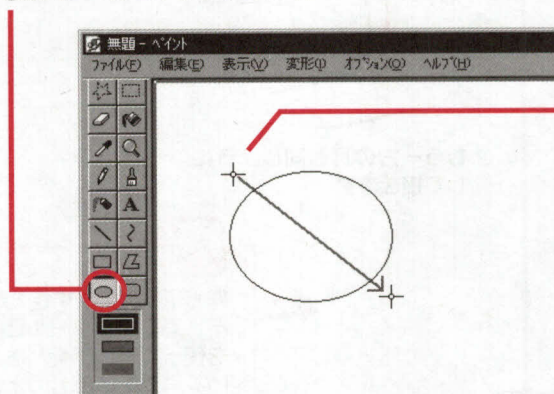
ペイントで絵を描く

では、「ネコ」の絵を描いてみましょう。



1 まず、ネコの顔の輪郭を描きます。

①楕円ツールをクリックします。

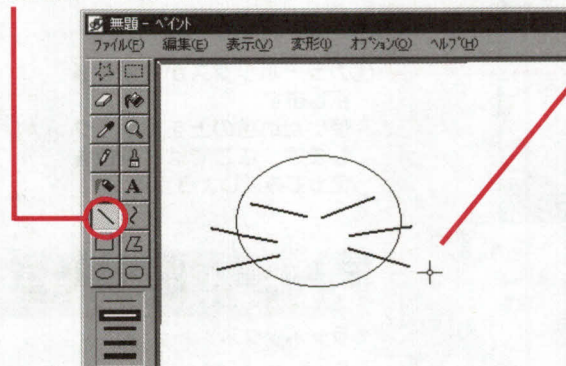


②図のように左上から右下に向かってドラッグします。マウスポインタは、作業スペースでは+に変わります。

③適当な楕円が描けたら、クリックボタンから指をはなします。

2 ネコの目とヒゲを描きます。

①直線ツールをクリックします。



②始点から適当な位置までドラッグします。



③同様にして、目の下に直線で2本ずつヒゲを描きます。

描き直したい場合は、[編集]メニューの[元に戻す]をクリックします。

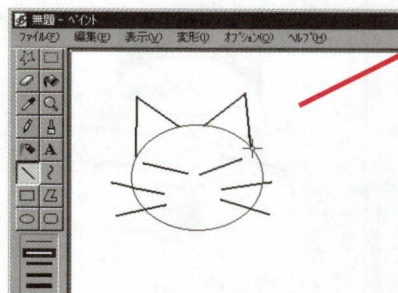
「元に戻す」と「やり直し」

[編集]メニューの中には「元に戻す」と「やり直し」があります。この2つには、次のような違いがあります。

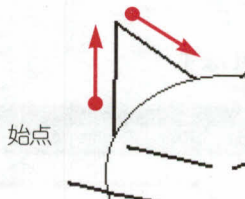
「元に戻す」……表示されている状態の一つ前の段階の状態に戻します。「元に戻す」は続けて3回まで使えるので、3つ前の段階の状態まで戻せます。

「やり直し」……直前に行った操作を取り消します。

3 耳を描きます。

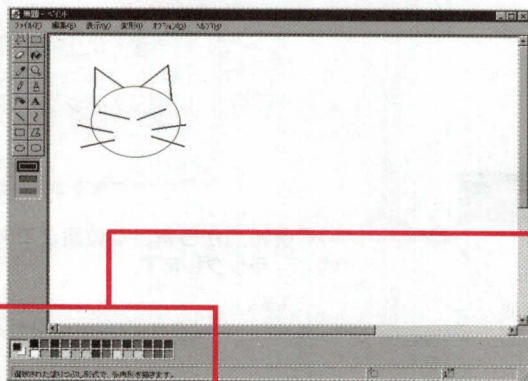


①ネコの顔の輪郭の上に直線で山のかたちを描きます。顔の輪郭を始点に、上向きにドラッグしてクリックボタンを一度はなします。続けて下向きにドラッグしてから顔の輪郭まできたらクリックボタンをはなします。




②もう一方の耳も同じようにして描きます。

4 耳に色をつけます。



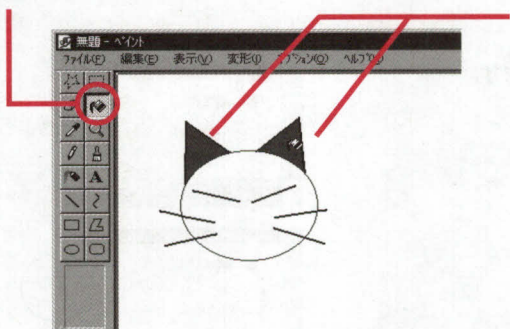
①カラーボックスから色を選択します。使いたい色の上をクリックします。ここでは、茶色を使ってみましょう。

線が長くなりすぎたら、消しゴムツールを使って消してください。消したい部分の上でドラッグすると、線が消えます。



カラーボックス

②塗りつぶしツールをクリックします。



③耳の部分の三角形の中にマウスポインタを合わせてクリックします。耳の内側が茶色に塗りつぶされます。



耳と一緒に背景まで塗りつぶされてしまった場合は、耳と顔との輪郭の間にすきまがあることが考えられます。下のコラムを参考にして修正してください。

これで、ネコが完成しました。

「ワードパッド」の場合と同じようにして、描いた絵を保存しておきましょう（P.90）。

ファイル名を「ネコ」にしておきます。

これで、「ペイント」での作業は終わりです。「ペイント」を終了しましょう（P.77）。

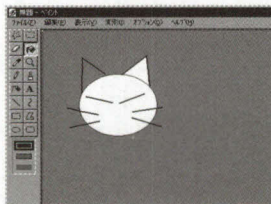


ペイントには、今回使用した機能以外にもさまざまな機能があります。より詳しい情報についてはメニューバーからヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。

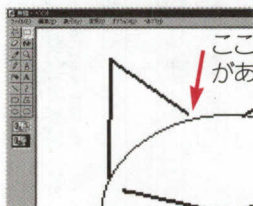


塗りつぶし

塗りつぶしは線で閉じられた空間を塗りつぶすツールです。閉じられていない箇所をクリックすると、右のようにその空間以外の場所まで塗りつぶされてしまいます。このようなときには、[編集] - [元に戻す] で元に戻してから塗りつぶしたい範囲が閉じられた空間になるように修正します。修正は、直線ツールや鉛筆ツールを使います。



閉じられた空間になっているかどうかわかりにくい場合は、[表示] メニューの [拡大] - [拡大する] をクリックしましょう。画面が拡大表示になります。もとの表示に戻すには、[表示] メニューの [拡大] - [標準に戻す] をクリックします。

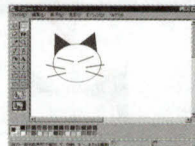




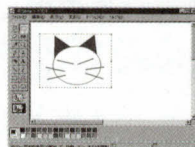
文章に絵を貼り付ける

「ワードパッド」や「ペイント」で使った「コピー」や「貼り付け」のコマンドは、複数のアプリケーションソフト間でも同じようにして使うことができます。先ほど作成した「子猫」の文章に「ネコ」の絵をコピーして貼り付けてみましょう。

①ペイントを起動して、「ネコ」のファイルを開きます。

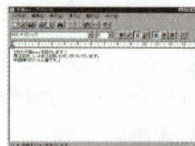


②ネコのイラスト部分を選択してコピーします。



選択するには、ペイントの選択ツールを使います。選択ツールをクリックしたあと、イラストの左上から右下に向けてドラッグします。イラスト部分が点線で囲まれたら選択は完了です。そのまま[編集]メニューの中から[コピー]をクリックします。

③ワードパッドを起動して、「子猫」のファイルを開きます。



④「ネコ」の絵を貼り付けたい位置をクリックして、[編集]メニューの中から[貼り付け]をクリックします。



これで、「ネコ」の絵が入った文書ができました。

このようにすると、報告書に表計算ソフトで作った表やグラフを入れたり、案内状に地図を入れたり、年賀状に自分で描いた絵を入れたりすることも簡単にできます。

使いこなすために (Windows 95をお使いの場合)

ここでは、本機を使いこなすために知っておいてほしいことを説明しています。
基本操作を身につけたら、ぜひ読んでください。

- ヘルプを使う
- デスクトップを使う
- ファイルを整理する
- フロッピーディスクにデータのバックアップをとる
- こんなことがしたい!

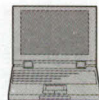
MS-DOS 6.2とWindows 3.1を使用する方は、別紙の『Microsoft Windows 3.1を使用される方へ』をご覧ください。MS-DOS 6.2とWindows 3.1のマニュアルを入手してください。MS-DOS 6.2とWindows 3.1の操作については、それぞれのマニュアルをご覧ください。

使いこなせるようになるために、 必要に応じて読んでいきましょう。

操作に困ったときにはヘルプを使ってみよう

- ・ヘルプを使う

操作に困ったときにはヘルプが力強い味方になってくれます。ヘルプの操作を覚えて、より高度な使いかたができるようになります。



Windowsのデスクトップを使ってみよう

- ・デスクトップを使う

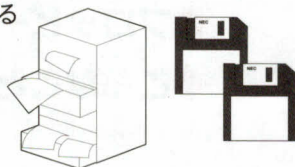
添付の「Windows 95チュータ」を使って、Windows 95やデスクトップの操作について覚えましょう。また、CD-ROMを使って、本機をより使いこなせるようになります。



ファイル操作を覚えよう

- ・ファイルを整理する
- ・フロッピーディスクにデータのバックアップをとる

自分が作成したファイルを上手に管理することは、Windowsを使いこなすために重要なことです。ファイルの整理のしかたやバックアップのとりかたを覚えて、ファイルを上手に管理できるようになりましょう。



こんなことがしたい！

このマニュアルで基本的な操作を覚えたら、さて次に何をしましょうか？ 目的がはっきりしている方も、また次に何をしたら良いのかわからない方もぜひこのページを読んでみてください。あなたの目的を達成するためにどのマニュアルを読んだらよいのかを載せてあります。次の段階へ進むための参考にしてください。



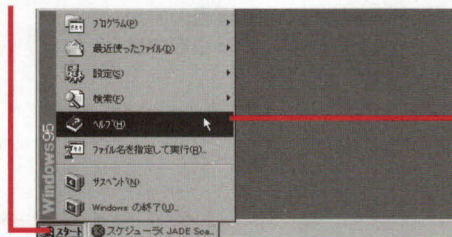
ヘルプを使う

Windowsには、さまざまな操作の助けになるように「ヘルプ」が用意されています。ヘルプには、Windowsの操作方法、便利に使うためのヒントやテクニック、トラブルシューティングといったものがまとめられています。

ヘルプを表示させる

1 [スタート] ボタンをクリックして、表示されたスタートメニューの中から[ヘルプ]をクリックします。

① [スタート] ボタンをクリックします。

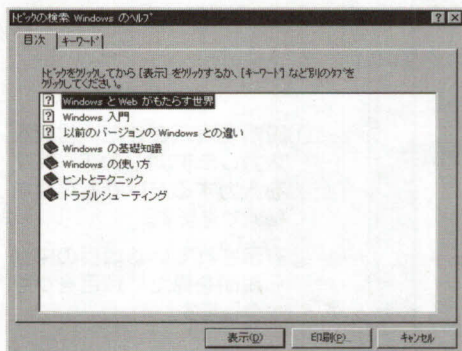


② [ヘルプ] をクリックします。



キーボードの[F・H]を押してヘルプを表示させることもできます。

ヘルプの画面が表示されます。



ヘルプを終了するときには、ウィンドウの右上にある終了ボタン(×)をクリックするか、[キャンセル] ボタンをクリックします。

パソコン用語集

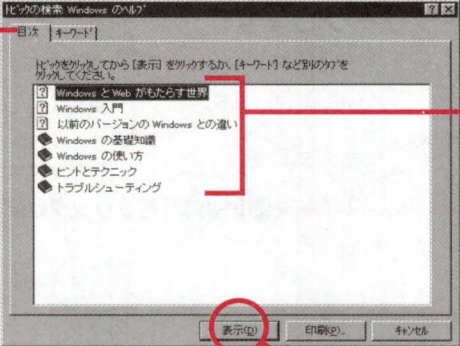
[パソコン用語集] を使ってパソコン用語の説明を見ることができます。画面上で用語の説明を見る場合は、スタートメニューの [プログラム] - [パソコン用語集] をクリックします。パソコン用語は、『ステップアップガイド』の付録の「パソコン用語集」にも一部記載されています。

ヘルプの内容を見る

ヘルプの内容を見るには、[目次]画面から調べる方法と[キーワード]画面からキーワードを入力して調べる方法があります。
[目次]画面と[キーワード]画面は、タブをクリックして切り替えます。

目次画面から調べるには

[目次]タブ

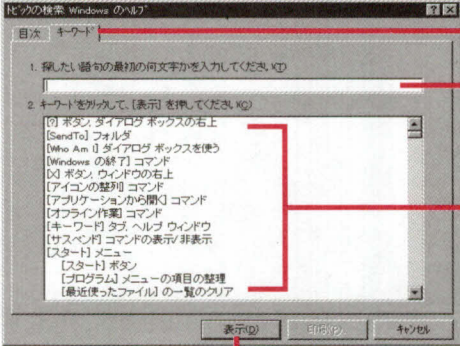


①表示されている項目の中から説明を見たい項目をクリックします。

②[表示]ボタンをクリックします。このボタンが[開く]になっているときは、その項目の下に詳細な項目があるという意味です。

[開く]ボタンをクリックすると、さらに詳細な項目が表示されます。

キーワード画面から調べるには



[キーワード]タブ

①説明を表示させたい言葉を入力します。はじめの一文字を入力するだけでも項目を検索できます。

②表示されている項目の中から説明を見たい項目をクリックします。

③[表示]ボタンをクリックします。



アプリケーションソフトのヘルプ

Windows上で使えるアプリケーションソフトには、操作方法などを説明してくれるヘルプがあります。メニューバーに[ヘルプ]コマンドがあったり、?のついたボタンがあります。アプリケーションソフトによって多少の違いはありますが、基本的な操作方法は同じです。アプリケーションソフトを操作してわからないことがあったときには、まずヘルプを見てみましょう。

デスクトップを使う

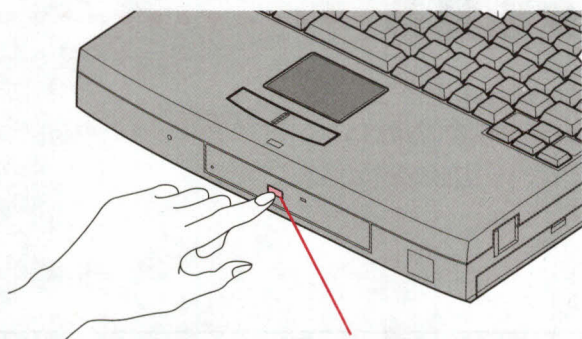
Windows 95チュータを見る

添付の「チュートリアルCD-ROM」には、[Windows 95チュータ]というチュートリアルソフトウェアが入っています。Windows 95チュータでは、Windows 95の基本操作や利用方法をわかりやすく説明しています。

●CD-ROMの取り扱いについて

<p>信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。</p> 	<p>ケースの中央を押しながら取り出してください。</p> 	<p>文字の書かれている面を上にして、CDトレイに正しく置いてください。</p> 	<p>CD-ROMの上にものをせたり曲げたりしないでください。</p> 
<p>ラベルなどを貼らないでください。</p> 	<p>キズをつけたり字などを書いたりしないでください。</p> 	<p>落として強い衝撃を与えないでください。</p> 	<p>指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。</p> 
<p>清掃の際は、CD専用のクリーナーをお使いください。レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。</p> 	<p>ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。</p> 	<p>直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。</p> 	<p>使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。</p> 

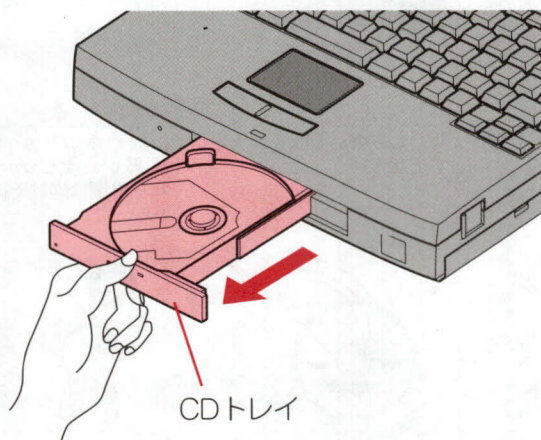
1 CDトレイジェクトボタンを押します。



CDトレイジェクトボタン

CDトレイが少し出てきます。

2 CDトレイの前面部分を持って、本機から引き出せなくなるまで水平にゆっくり引き出します。



CDトレイ

△注意

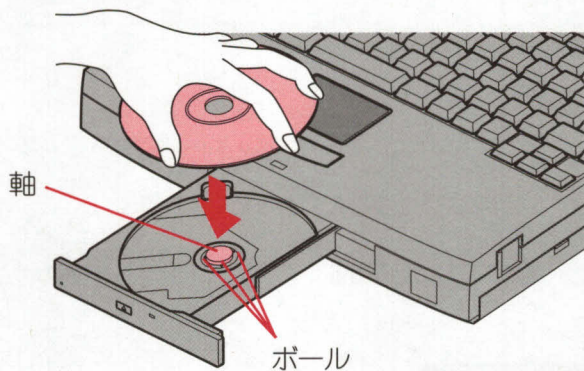
●CD-ROMドライブのレンズを真上から見ないでください。

レーザー光線を真上から見ると、視覚に悪影響を及ぼす可能性があります。



- CD-ROMドライブのレンズには触れないでください。
- CDトレイにCD-ROM以外のものを置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

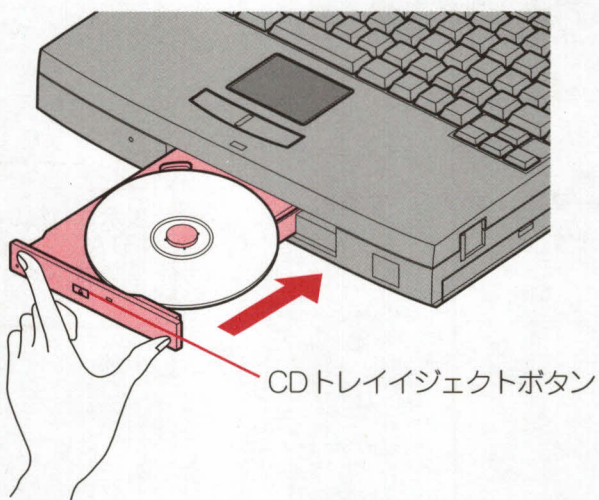
3 添付の [チュートリアルCD-ROM] を文字の書いてある面を上にしてCDトレイの中心にある軸にはめ込みます。



このとき、軸についている3つのボールがディスクより上側になっていることを確認してください。

4 CDトレイを本機に収納します。

CDトレイイジェクトボタンに触れないようにして、CDトレイ前面を押し、本機に収納します。



これでセットは完了です。



文字などが印刷されていない面に触れないようにCD-ROMを持ちましょう。



CDトレイから手をはなしてもCDトレイが出てこないことを確認してください。

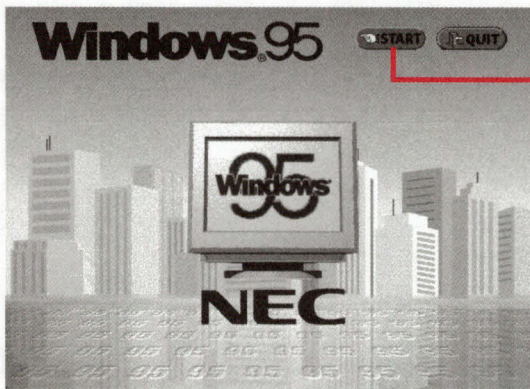


CDトレイを出した状態のまま、本機を放置したり移動したりしないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

- 5** デスクトップにある [Windows 95チュータ] アイコンをダブルクリックします。



Windows 95チュータの画面が表示されます。自動的にオープニングが始まります。



[START] ボタン



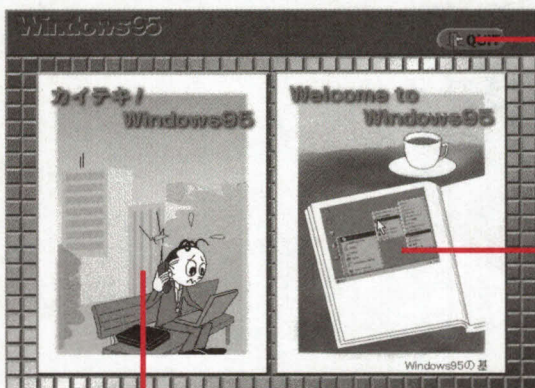
Windows 95チュータのオープニングが終了すると、メインメニュー画面が表示されます。



表示されない場合は [START] ボタンをクリックしてください。

6 イラスト部分をクリックすると、それぞれの説明が始まります。

メインメニュー画面



[QUIT] ボタン

Windows 95チュータを終了するときには、[QUIT]ボタンをクリックします。

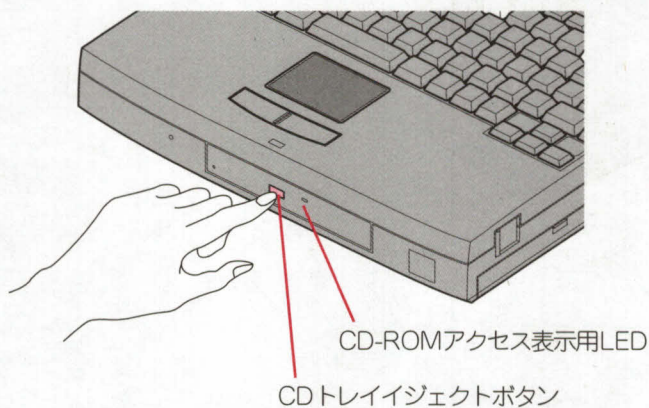
Welcome to Windows 95

Windows 95の基本操作を音声やアニメーションで説明してくれます。

カイトキWindows 95

オフィスでのさまざまなシーンでのWindows 95の具体的な活用方法を見ることができます。

7 Windows 95チュータが終了したら、CDトレイジェクトボタンを押します。

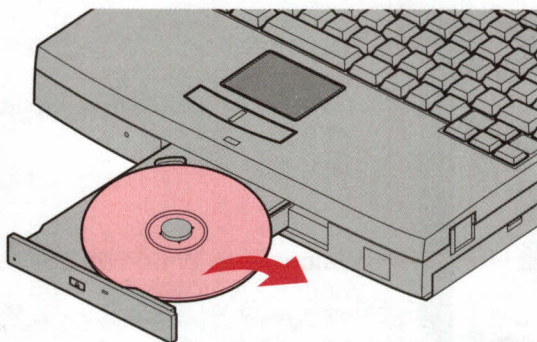


CDトレイが少し出てきます。CDトレイの前面を持って本機から引き出せなくなるまでゆっくり引き出します。



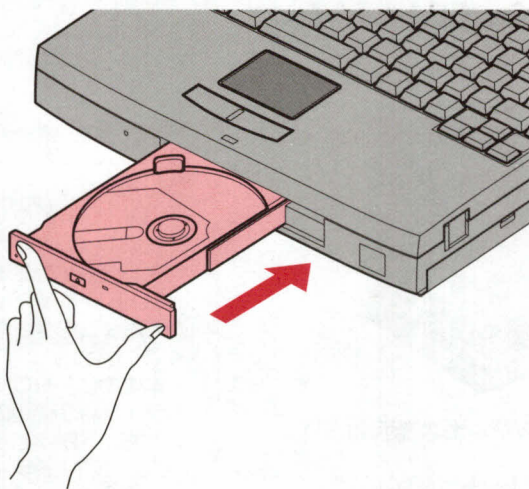
- ・ CD-ROMアクセス表示用LEDが点灯しているときには、CDトレイジェクトボタンを押さないでください。
- ・ 本機のCD-ROMドライブは3種類のかたちがあります。CD-ROMドライブの種類によってはCD-ROMアクセス表示用LEDの位置が異なります。

8 CD-ROMを取り出します。



9 CDトレイを本機に収納します。

CDトレイ eject ボタンに触れないようにして、CDトレイ前面を押し、本機に収納します。



CDトレイが本機に収納されます。



CDトレイから手をはなしてもCDトレイが出てこないことを確認してください。



CDトレイを出した状態のままで、本機を放置したり移動したりしないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

マイコンピュータで本機の内容を見る

デスクトップでマイコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、本機の内容を見ることができます。

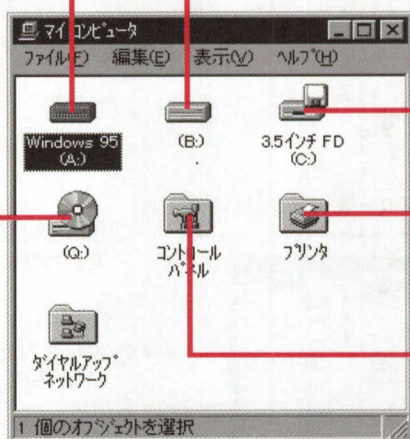
- 1 デスクトップにある [マイコンピュータ] をダブルクリックします。



次のようなウィンドウが表示されます。ウィンドウの中のアイコンをダブルクリックすると、それぞれの内容を見ることができます。

内蔵のハードディスクを表しています。ハードディスクは、二つのドライブに分けられているので、アイコンが二つ表示されています。

CD-ROMドライブを表しています。



3.5インチFD
フロッピーディスクドライブを表しています。

プリンタ
本機に接続されているプリンタのアイコンが入っています。

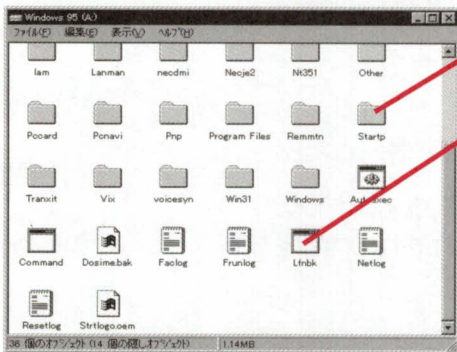
コントロールパネル
画面やキーボード、98スライドパッドなど、コンピュータの設定を変えるためのアイコンが入っています。

ファイルを整理する

文書を作ったり、絵を描いたりしたときには、ファイルに保存しました。作成したファイルは、本やCDを分類して本棚やケースに整理できるように、コンピュータの中の「フォルダ」に整理することができます。

フォルダとは

マイコンピュータの中から、A:をダブルクリックすると、次のような画面が表示されます。



この黄色のバインダーのようなかたちをしたものが「フォルダ」です。

フォルダ以外のさまざまなアイコンは「ファイル」です。ファイルは種類によって違ったアイコンで表示されます。

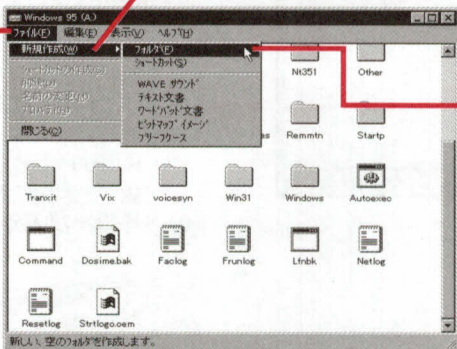


表示されているフォルダをダブルクリックすると、そのフォルダの中に何のファイルが入っているかを見ることができます。

フォルダを作る

1 新しいフォルダを作成します。

①メニューバーの[ファイル]メニューをクリックします。



②[新規作成]にマウスポインタを合わせます。

③表示されたメニューの中から[フォルダ]をクリックします。



右クリックして表示されるメニューの中から[新規作成]-[フォルダ]をクリックしても同じように作成することができます。

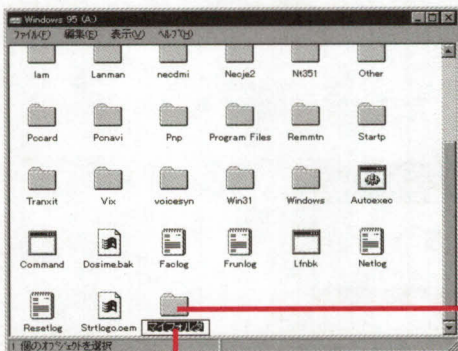




2 フォルダに名前を付けます。

ここでは、「マイフォルダ」と入力して (Enterキー) を押します。

日本語入力ができないときは、日本語入力がOFFになっています。ONにしてください。(P.79)



ウィンドウの中に新しいフォルダが作成されました。

入力された文字は、ここに表示されます。



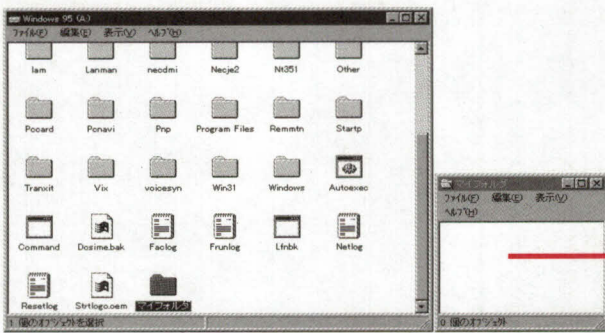
これで自分のオリジナルのフォルダができました。

ファイルを移動する

作成したフォルダに、自分のつくったファイルを移動してみましょう。

1 移動先の[フォルダ]アイコンをダブルクリックして、ウィンドウを表示させます。

ここでは、先ほど作成した[マイフォルダ]をダブルクリックしてみます。



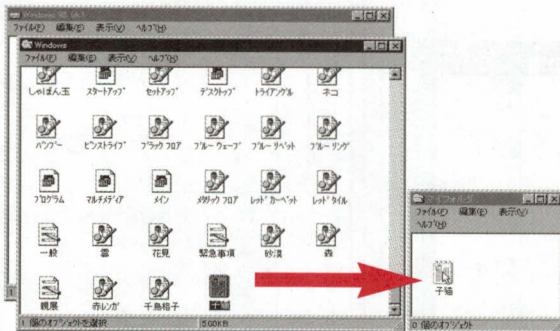
[マイフォルダ]ウィンドウが表示されます。まだ中身は何も入っていません。

2 移動したいファイルのアイコンを移動先のフォルダのウィンドウまでドラッグします。

ここでは、Part4で作って保存した「子猫」を移動してみます。
[A:]をダブルクリックし、表示されたフォルダの中から
[Windows] をダブルクリックします。



移動ではなくコピーしたい場合は、ドラッグするときに**CTRL**を押しながら行います。



3 移動先のフォルダの中までドラッグしたら、クリックボタンをはなします。

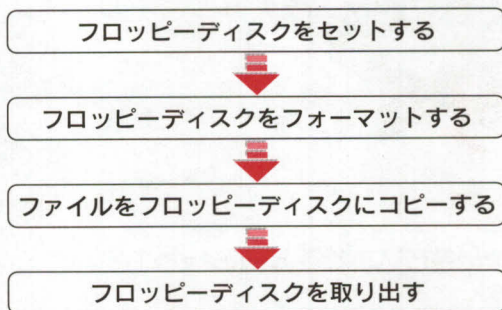
[マイフォルダ]ウィンドウの中に「子猫」のファイルが移動しました。

フロッピーディスクにデータのバックアップをとる

パソコンは精密機械なので、何らかの事情でファイルが壊れたりすることがあります。そのような場合に備えて、大事なデータはフロッピーディスクにコピーしてバックアップ(予備のデータ)を作っておきましょう。

ここでは、さきほど「A:」の「マイフォルダ」に移動したファイル「子猫」をフロッピーディスクにコピーします。3.5インチのフロッピーディスクを1枚用意してください。

■バックアップをとる作業の手順



すでにフォーマット済みのフロッピーディスクを使用する場合は、この作業は必要ありません。

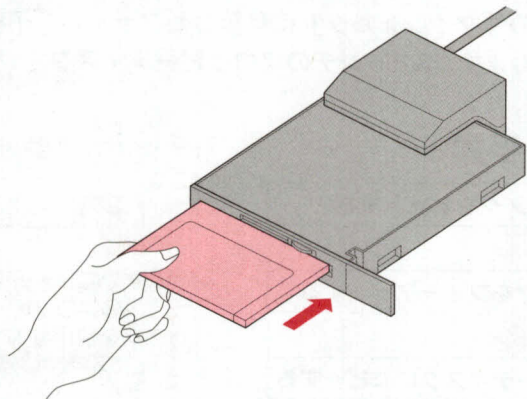
フロッピーディスクをセットする

●フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクドライブには、ていねいに奥まで静かに挿入してください。	ラベルは正しい位置に貼ってください。	使用後は収納箱へ。	ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
鉛筆での記入や消しゴムの使用は避けてください。	シャッターは開けないでください。	フロッピーディスクの上にもものをせないでください。	直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。
飲食、喫煙しながらの使用は避けてください。	溶剤類、飲み物等はフロッピーディスクにつけないでください。	フロッピーディスクに磁石などを近づけないでください。	クリップ等ではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。

1 フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに奥までしっかり差し込みます。

フロッピーディスクのラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベル側が手前になるように差し込みます。



フロッピーディスクが完全に差し込まれると、イジェクトボタンが飛び出します。

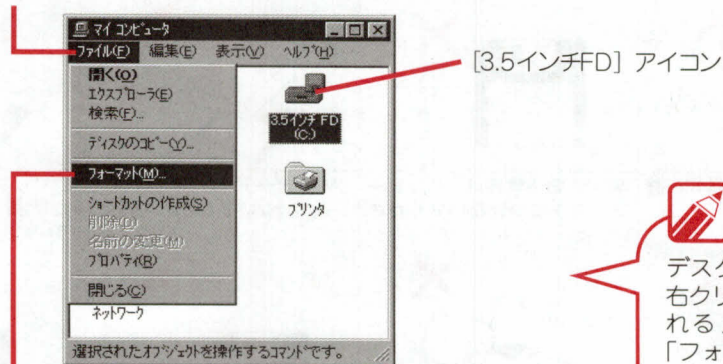
フロッピーディスクをフォーマット(初期化)する.....

買って来たばかりのフロッピーディスクは、そのままでは使えません。データを書き込むためには、「フォーマット」という作業が必要です。フォーマットのことを初期化ともいいます。

1 [マイコンピュータ] のウィンドウの中の [3.5インチFD] アイコンをクリックします。

2 フォーマットを行います。

① [ファイル] メニューをクリックします。



② [フォーマット] をクリックします。



デスクトップ上では、右クリックして表示されるメニューから、「フォーマット」することもできます。

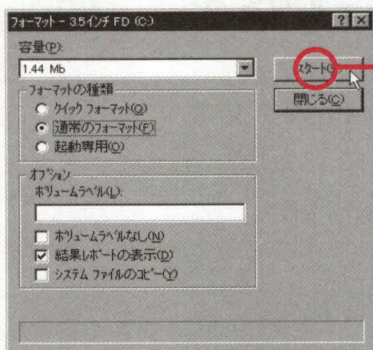
3 フォーマットの方法、容量などを選択します。

ここでは、容量 [1.44Mb] を、フォーマットの種類は [通常のフォーマット] を選択しましょう。



すでにデータを書き込んであるフロッピーディスクをフォーマットすると、それまで書かれていたデータが消えてしまいます。

4 [スタート] ボタンをクリックすると、フロッピーディスクのフォーマットが始まります。



[スタート] ボタン

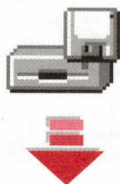
5 「フォーマット結果」が表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

続けて別のフロッピーディスクをフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えてから [スタート] ボタンをクリックします。

フォーマットを終了する場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。

フロッピーディスクにファイルをコピーする.....

- 1** [マイコンピュータ] のウィンドウの中から、[3.5インチFD] アイコンをダブルクリックします。



[3.5インチFD]のウィンドウが表示されます。

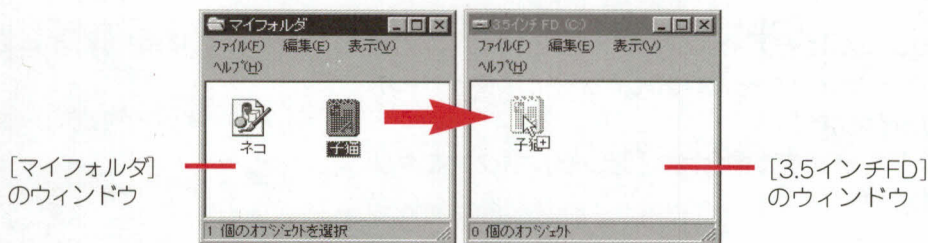
- 2** コピーするファイルが入っているフォルダをダブルクリックします。

ここでは、[子猫]が入っている[マイフォルダ]をダブルクリックします。



[マイフォルダ] のウィンドウが表示されます。

- 3** コピーしたいファイルのアイコンを[3.5インチFD]のウィンドウまでドラッグします。



クリックボタンをはなすと、フロッピーディスクへのファイルのコピーが始まります。フロッピーディスクへのファイルのコピーが終了すると、[3.5インチFD]ウィンドウの中にファイルのアイコンが表示されます。



「**にアクセスできません。デバイスの準備ができていません。」というメッセージが表示された場合は、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないことが考えられます。フロッピーディスクをセットしてから[再試行] ボタンをクリックしてください。

フロッピーディスクを取り出す

- 1** ステータスインジケータのフロッピーディスクドライブ表示が点滅していないことを確認します。

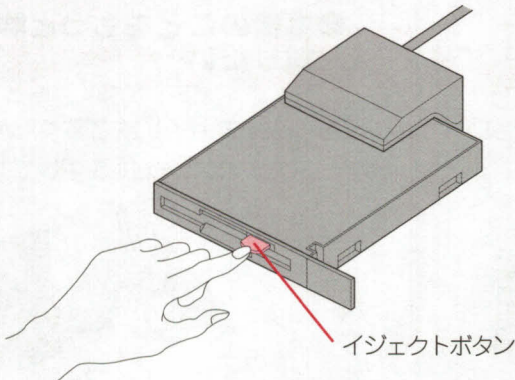


フロッピーディスクドライブ表示



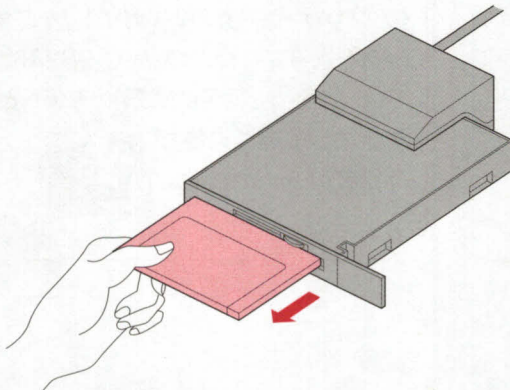
ステータスインジケータのフロッピーディスクドライブ表示が点滅しているときにフロッピーディスクを取り出すと、データが壊れることがあります。また、フロッピーディスクやフロッピーディスクドライブのヘッドを傷める原因となります。

- 2** イジェクトボタンを押します。



フロッピーディスクが出てきます。

- 3** 出てきたフロッピーディスクを引き出します。



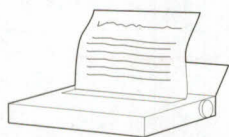
こんなことがしたい！

本機には様々なアプリケーションソフトが添付されています。ひと通りの操作を身につけたら、どんどんアプリケーションソフトを使ってみましょう。また、いろいろな機器を取り付けて本機の機能を広げてください。

本機には、目的にあわせていろいろなマニュアルが添付されています。十分に活用してください。

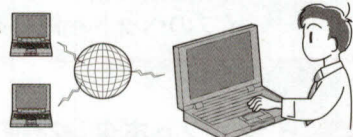
●プリンタで印刷したい…

『ステップアップガイド』をご覧になり、プリンタの接続と設定を行ってください。各アプリケーションソフトからの印刷のしかたは、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。



●インターネットをしたい…

PC-9821Nr15/S14Fでは『インターネットスタートガイド』、PC-9821Nr15/S10では『アプリケーション操作ガイド』をご覧になり、接続してください。



●添付されているアプリケーションソフトを使いたい…

『アプリケーション操作ガイド』をご覧ください。



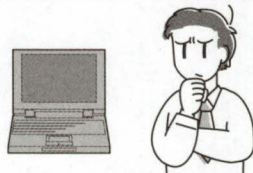
●本機のことをもっと詳しく知りたい…

『ステップアップガイド』をご覧ください。本機の機能を広げるための方法も説明してあります。



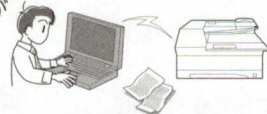
●分からないことや困ったときには…

『困ったときにお読みください』をご覧ください。トラブルを解決するためのヒントが記載されています。



●FAXを送りたい…

『アプリケーション操作ガイド』をご覧になり、FAXを送ってください（PC-9821Nr15/S10では、あらかじめ別売のFAXモデムと電話回線を接続しておく必要があります）。



●購入直後の状態に戻したい

●Windows 95以外のOSを使いたい

『再セットアップガイド』をご覧ください。

索引

英数

3.5インチFD	107
98スライドパッド	31,54
ACアダプタ	20
ACコンセント	20
CD-ROM	101
CD-ROMドライブ	102,107
CDトレイジェクトボタン	102
DCコネクタ	20
FAX	116
MS-IME95	79
MS-DOS 6.2	22
NECAIIME95	79
OS	22
Product ID	24,37
Windows 3.1	22
Windows 95	22
Windows 95チュータ	101,105

あ

アイコン	71
アフターケア	7
アプリケーションソフト	71,72
ジェクトボタン	40,115
移動	75
インターネット	116
ウィンドウ	74
お客様登録カード	7
お手入れ	6

か

カーソル	78
かなキーロック表示	80
かな入力	80

カラー液晶ディスプレイ	21
カラーボックス	92
起動	71,72
輝度調節つまみ	2
キーボード	2,28
切り取り	88
クリック	31,55
クリックボタン	31,54
クリップボード	86,89
結露	12
コピー	86,114
ごみ箱	71
コントロールパネル	107
コンピュータウイルス	6

さ

最小化ボタン	74
最大化ボタン	74
サスペンドスイッチ	27,50
システムインストールディスク	24,38
終了ボタン	74
初期化	112
スタートボタン	45,71
ステータスインジケータ	44,60
製造番号	7
静電気	6
セットアップ	25,48

た

ダイアログボックス	90
タイトルバー	74,91
タスクバー	71,77
ダブルクリック	71
ツールボックス	92
ツメ	2

デスクトップ	43,71
電源コード	20
電源スイッチ	27,50
電源のOFF	44,60
電源のON	26,49
電源のON/OFF (2回目以降)	67
動作表示用LED	27,50
ドラッグ	75

な

名前の入力	35
日本語入力インジケータ	79
日本語入力システム	79
塗りつぶし	95

は

廃棄方法	10
パソコン用語集	99
バックアップ	111
ハードディスク	29,107
ハードディスク表示	44,60
貼り付け	89,96
ファイル	108
ファイルを開く	91
ファンクションキー	85
フォーマット	112
フォルダ	108
プリンタ	107,116
フロッピーディスク	111
フロッピーディスクドライブ	26,49
フロッピーディスクドライブ表示	44,60
ペイント	92
ヘルプ	99
保証書	7
保存	90

ま

マイコンピュータ	71,107
マウスポインタ	31
右クリック	31
メニューバー	74
メモリチェック	27,50
文字入力	80
モジュラーコネクタ	17
モジュラージャック式	16
元に戻す	93
もとのサイズに戻すボタン	74

や

やり直し	93
------	----

ら

ライトプロテクト	39
ロックレバー	21
ローマ字入力	80

わ

ワードパッド	72
--------	----



98 NOTE

さあはじめよう
かんたんスタートガイド
PC-9821Nr15
1996年11月 初版
NEC

P

808-875488-015-A